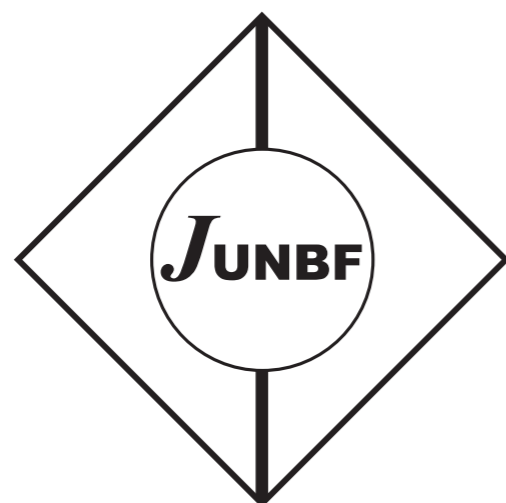


# 熱戦譜

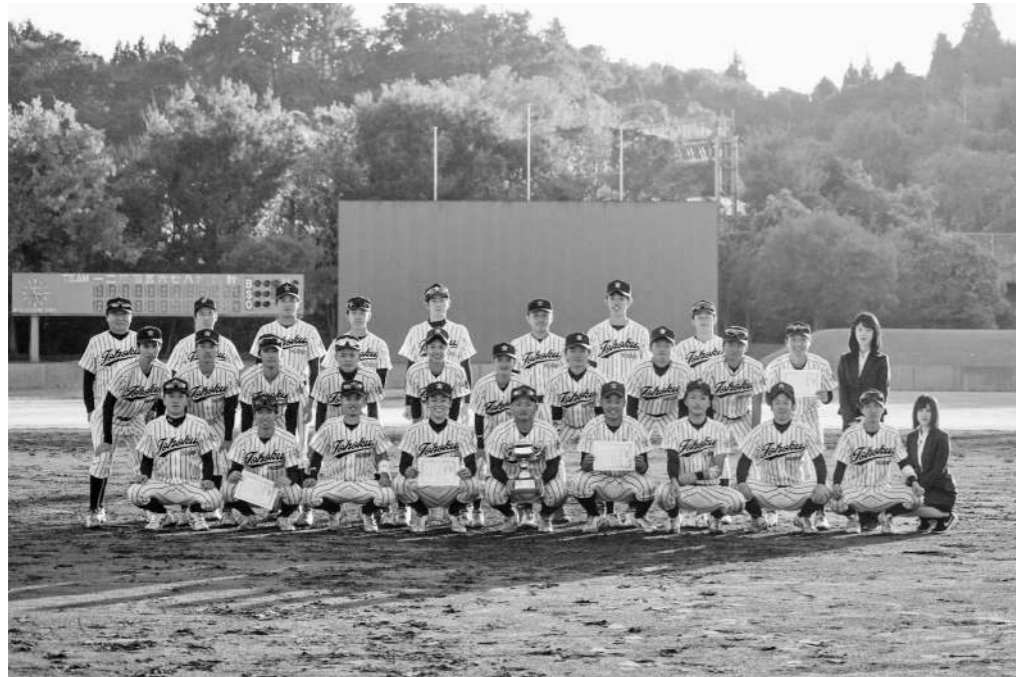
第20号



2020(令和2年)

全日本大学軟式野球連盟

第1回 ゼット杯大学軟式野球東北王座決定戦



優勝 東北学院大学



準優勝 岩手大学

# 西日本大学軟式野球選手権独自大会



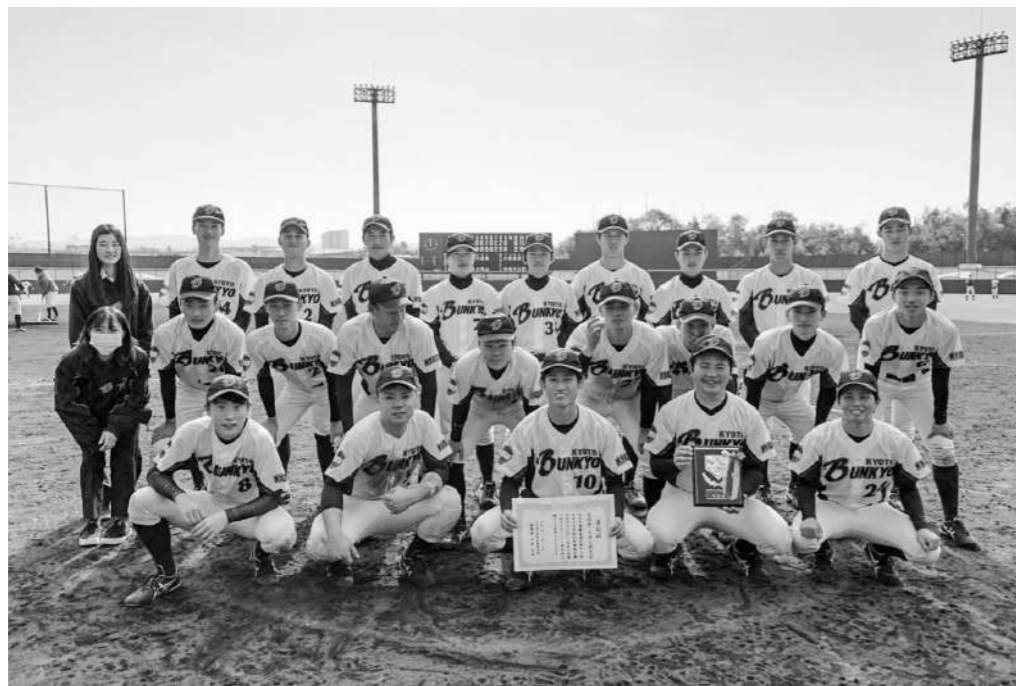
優勝 立命館大学

# 第1回 ゼット杯大学軟式野球東北王座決定戦

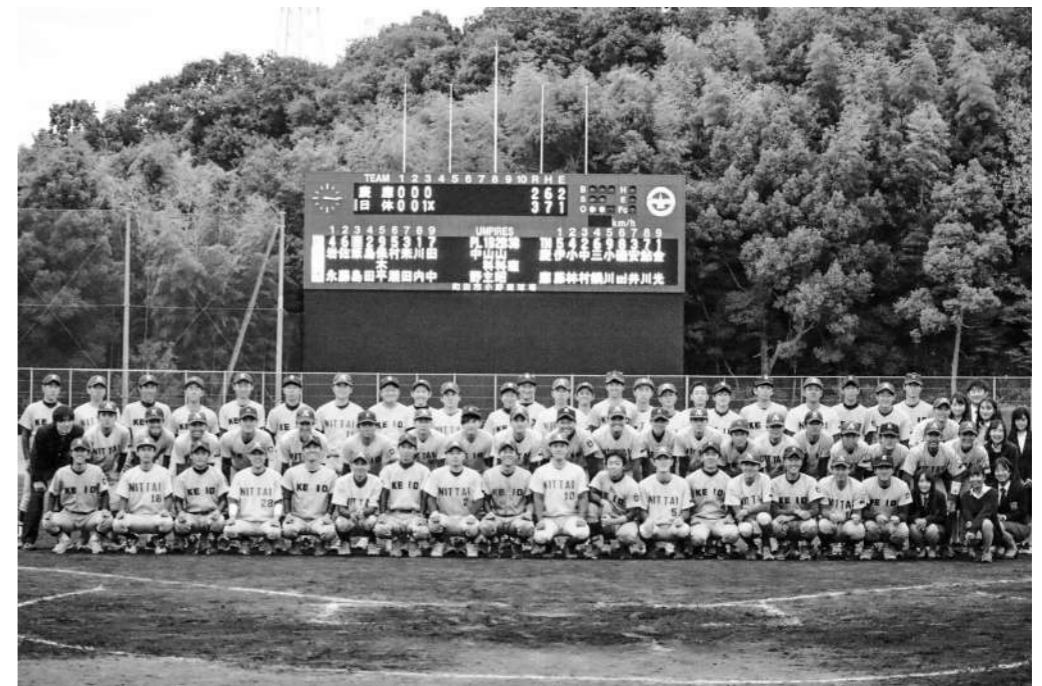


出場選手 集合写真

# 関東地区大学軟式野球大会



準優勝 京都文教大学



優勝 日本体育大学  
準優勝 慶應義塾大学

目次

連盟役員挨拶  
全日本大学軟式野球連盟理事長 中村充治……………1  
令和2年度大会成績  
第1回ゼット杯大学軟式野球東北王座決定戦……………3  
関東地区大学軟式野球大会……………9  
西日本大学軟式野球選手権独自大会……………11  
全日本大学軟式野球連盟交流事業……………14  
北海道地区大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………18  
東京六大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………20  
首都大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………23  
東都大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………25  
北関東大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………27  
東関東大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………29  
南関東大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………30  
東京新大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………31  
関東新大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………32  
新潟地区大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………32  
長野県大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………33  
北陸地区大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………35  
東海学生軟式野球連盟令和2年度大会成績……………36  
近畿学生軟式野球連盟令和2年度大会成績……………38  
関西六大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………40  
西都大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………43  
京滋大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………45  
中国地区大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………48  
四国地区大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………50  
九州地区大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………52  
沖縄県大学軟式野球連盟令和2年度大会成績……………54

過去の成績  
全日本大学軟式野球選手権大会 戦績表……………56  
東日本大学軟式野球選手権大会 戦績表……………59  
西日本大学軟式野球選手権大会 戦績表……………62  
全日本大学軟式野球選手権大会 歴代出場校一覧……………65  
東日本大学軟式野球選手権大会 歴代出場校一覧……………70  
西日本大学軟式野球選手権大会 歴代出場校一覧……………75  
全日本大学軟式野球連盟役員・連盟委員名簿……………79  
編集後記……………80



## ご挨拶

全日本大学軟式野球連盟

理事長 中村 充治

全日本大学軟式野球連盟の記録広報誌であります「熱戦譜」の二〇二〇年度版発刊にあたり、連盟を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

この「熱戦譜」も、今回を持ちまして二十号発刊の運びとなりました。これまで、一年間の選手たちの活動の記録として、多くの方々のご協力を得て刊行してまいりましたが、二〇二〇年度はまさに未曾有の事態で、残す記録の活動すらできていないという状況でした。新型コロナウイルスの感染拡大は、選手たちのプレーの場を奪うどころではなく、日常の学校生活すらままならない、さらには全世界の人々の生活を脅かし、命の存続すら危ぶまれる不安に陥れられた、そんな一年ではなかったかと思えます。

年度当初は、各大会の開催の目途も立たず、何をしていたのかも分からない状況が続いておりましたが、少しずつ状況にも慣れ様々な情報を得る中で、野球をできる環境を取り戻す知恵と工夫を積み重ねている状態です。それでも結果的には、二〇二〇年度におきましては全日本・東西選手権の三つの大会の開催は見送るという判断をせざるを得ませんでした。昨年度が最終学年となっていました選手たちの無念さを計り知ることは到底できません。しかしながら、そのような状況の中でも多くの選手たちが、知恵を絞り、工夫を凝らし、感染対策を徹底的に施して、各地区でリーグ戦を行い、独自の大会の開催を実現してきました。今回の熱戦譜は、確かに残した記録は少ないかもしれませんが、選手たちの苦勞が数多く込められたものとなっており、必ずや今後の糧として残すことができたのではないかと思っております。

結びにあたり、例年のことですが、発刊に際しましてご尽力賜りました関係各位に心より御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

# 第一回ゼット杯大学軟式野球東北王座決定戦

会期 令和2年10月24日(土)～10月31日(土)

会場 岩崎野球場(岩手県北上市)

### 第一回ゼット杯大学軟式野球東北王座決定戦

奥羽地区予選

一回戦

◎ 9月19日 生保内公園野球場

八戸学院大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手大学	2	1	0	2	1	0	0	1	x
	7								0

(八学)橋本・細川

(岩)佐川・畑山・西館・竹村

☆本塁打 佐川(岩)

☆三塁打 佐川(岩)

☆二塁打 川崎・佐々木(太)・杉澤(岩)

(八戸学院大学)打安点振球	(中)屋形場	3	0	0	2	1
(一)滝田	3	0	0	0	1	
(遊)藤本	3	0	0	1	0	
(左)日影	3	1	0	0	0	
(捕)細川	3	0	0	2	0	
(三)飯田	3	0	0	0	0	
(右)中野	2	1	0	0	1	
(二)下米	2	0	0	0	1	
(投)橋本	3	0	0	1	0	
	25	2	0	6	4	

(岩手大学)打安点振球	(中)大池	4	1	1	0	0
打左	大坊	1	0	0	0	0
(左)中川	4	1	2	0	1	
(投)佐川	3	2	2	0	0	
打右	浅野	2	0	0	0	0
(三)杉澤	5	1	0	0	0	
(一)佐々木(太)	5	3	0	0	0	
(二)遠藤	2	0	1	0	1	
打二	佐々木(海)	1	0	0	0	0
(遊)工藤	4	2	0	0	0	
(捕)西竹	2	1	1	0	1	
捕	村	1	1	0	0	0
(右)村	3	1	0	0	0	
投	山	1	0	0	1	0
	38	13	7	1	3	

#### 【戦評】

岩手大学の打線の力を見せつけられた試合だった。特に輝いていたのは、岩手大学の佐川である。三塁打とランニングホームランの長打二本を放つ活躍だった。負けてしまった八戸学院大学もキャプテンの藤本を中心に、最後まで戦い抜きたい試合だった。

秋田大学	0	2	0	0	0	1	5
八戸工業大学	0	0	0	0	0	1	0
	0	0	0	0	0	1	8

(秋)串田・伊藤(圭吾)・遠藤

(八工)宮澤・青木・渡

☆本塁打 伊藤(圭祐)(秋)

☆三塁打 高橋・柳原(秋)

☆二塁打 串田(秋)

(秋田大学)打安点振球	(投)三串	4	1	0	0	1
(中)佐々木	3	1	0	0	1	
(左)伊藤圭祐	3	1	1	1	1	
(右)高橋	4	1	1	0	0	
(遊)田	4	0	1	0	0	
(一)左福	0	0	0	0	0	
(投)伊藤圭吾	3	1	1	0	1	
(二)遊柳	4	2	2	0	0	
(捕)遠藤	1	1	2	0	3	
(遊)矢部	0	0	0	0	0	
走一	4	2	0	0	0	
(三)赤坂	3	0	10	8	1	
	30	10	8	1	7	

(八戸工業大学)打安点振球	(中)村井	4	0	0	2	0
(三)石川	3	0	0	2	0	
(投)遊宮	1	1	1	0	2	
(右)赤木	3	0	0	3	0	
(遊)投青木	2	0	0	1	1	
(捕)渡	3	2	0	0	0	
(左)谷崎	3	0	0	2	0	
(二)部	3	0	0	2	0	
(一)川	3	0	0	0	0	
	25	3	1	12	3	

#### 【戦評】

秋田大学が自慢の打力を見せつけた試合だった。終始ヒットを放ち、三番の伊藤圭祐にはソロホームランが飛び出して、これに続き串田、高橋、柳原も長打を放ち八戸工業大学との点差を離した。負けてしまった八戸工業大学もキャプテンの宮澤や渡を中心に最後まで粘り強く戦い抜いた。

### 準決勝

◎ 9月20日 生保内公園野球場

弘前大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手大学	0	0	2	0	1	0	0	0	x
	3								0

(弘)高橋・嶋崎・佐々木

(岩)緑川・佐々木(荘)・西館・竹村

(弘前大学)打安点振球	(二)永島	3	0	0	0	0
(遊)山見	4	1	0	0	0	
(三)石田	3	1	0	0	1	
(一)齋藤	4	1	0	1	0	
(右)中武	4	0	0	1	0	
(左)尾形	1	0	0	1	1	
(投)嶋崎	1	0	0	0	0	
(捕)利木	3	1	0	0	0	
(遊)高橋	2	0	0	0	1	
(中)菊地	2	0	0	0	0	
打	1	0	0	0	0	
左	0	0	0	0	0	
	30	4	0	4	3	

(岩手大学)打安点振球	(中)大池	3	1	2	0	1
(左)川崎	4	1	1	0	0	0
(右)川	3	1	0	0	1	
(三)杉澤	3	0	0	0	1	
(一)佐々木(太)	4	0	0	0	0	
(二)遠藤	0	0	0	0	3	
(遊)工藤	3	0	0	0	0	
(捕)西竹	2	0	0	1	0	
打	田	1	0	0	0	0
捕	村	0	0	0	0	0
(投)緑川	2	0	0	0	0	
打	山	0	0	0	1	
投	佐々木(荘)	0	0	0	0	
	25	3	3	1	7	

#### 【戦評】

岩手大学の堅い守りとチャンスを得点に結びつける決定力が光った試合だった。岩手大学は投手の緑川のテンポの良い投球と、キャプテンの杉澤をはじめとした守備陣で弘前大学の攻撃を封じた。また、チャンスをものにする決定力も光った。負けた弘前大学はチームとしては若かったが、そのプレーの随所に光るものが見られた。今後に期待したい、そう思わせてくれる試合だった。

秋田大学	003200002
盛岡大学	000310000
(秋)佐々木・串田―遠藤	4

(盛)大場・佐藤―古郡  
 ☆三塁打 伊藤(圭祐)・串田・福田(秋)  
 ☆二塁打 川口・佐々木(秋)

球振	10010
点安	21021
打点	00001
学)	41210
大)	54132
田)	32100
(秋)	41100
(三)	50000
(一)	32100
(中)	41000
(右)	20010
(左)	35012
(投)	10203
(遊)	36776
(捕)	8

球振	10010
点安	21021
打点	00001
学)	41210
大)	54132
田)	32100
(秋)	41100
(三)	50000
(一)	32100
(中)	41000
(右)	20010
(左)	35012
(投)	10203
(遊)	36776
(捕)	8

【戦評】

終始緊迫した試合だった。序盤秋田大学が自慢の打力を見せ、一時、五点差まで盛岡大学を引き離すが、四回以降、盛岡大学の猛追は始まり、九回に秋田大学が二点を入れるまでは、一点差の緊迫した展開だった。惜しくも負けた盛岡大学であるが、投手の大場の気迫のこもった投球には凄まじいものがあり、持てるポテンシャルが発揮された時の投球が楽しみだ、そう思わせてくれる試合であった。

東北地区予選  
一回戦

◎9月28日 海岸公園野球場a球場	
東北学院大	000000015
宮城教育大	004000000
(教)名取―千葉	4

(学)鹿又・石垣・鈴木・佐藤(ら)―佐藤(海)  
 ☆本塁打 安藤(学)  
 ☆二塁打 山崎(教)

【戦評】  
 序盤は宮城教育大学主戦の名取を前に東北学院大学打線が沈黙。七回までヒット二本、二塁までランナーを進めない投球で、宮城教育大学が三回

にあげた四点を守り切るかに思われた。流れが変わったのは八回。東北学院大学はヒットで先頭打者が出るとそのまま一点返すことに成功する。そして迎えた九回表の東北学院大学の攻撃。ヒットと四死球により満塁のチャンスを作ると七番門脇のタイムリーで一点を追加すると、続く代打安藤の放った打球がセンターの頭を越え、「代打逆転満塁ランニングホームラン」となった。九回裏の宮城教育大学の攻撃は代わった東北学院大学の佐藤らいむを前にランナーを出せず、試合終了。東北王座決定戦東北予選の開幕戦は劇的な幕切れとなった。

◎9月28日 海岸公園野球場b球場

東北	000001000
石巻専修大	01010001x
(東)宮崎・滝村―佐々木	3
(石)千葉・佐藤(大)―斉藤	1

決勝戦

◎9月21日 雫石町営野球場

秋田大学	000001000
岩手大学	00000020x
(秋)串田―遠藤	2

(岩)佐川・畑山・緑川・柴田・杉山・佐々木(荘)―西館・竹村  
 ☆二塁打 福田(秋)・大池・川崎(岩)

球振	10010
点安	30000
打点	41100
学)	44110
大)	44110
田)	21000
(秋)	41100
(投)	10003
(中)	41010
(左)	10001
(右)	41001
(一)	21000
(二)	14300
(捕)	33515
(遊)	6

球振	10010
点安	30000
打点	44110
学)	44110
大)	44110
田)	21000
(秋)	41100
(投)	10003
(中)	41010
(左)	10001
(右)	41001
(一)	21000
(二)	14300
(捕)	33515
(遊)	6

【戦評】

お互いを意識して日々の練習をしてきた両校の戦いには、その場にいた全員が痺れたはずである。そのような両校の試合は、奥羽地区を代表する投手である秋田大学の串田と奥羽地区トップクラスの打力と決定力を誇る岩手大学との勝負になった。五回まで串田は自慢の速球とその野球センスを見せつけて、岩手大学打線を無失点に抑え、流れを秋田大学へ呼び込んだ。すると整備後の六回、秋田大学が福田のタイムリーで一点を先制した。

【戦評】  
 勝敗の予想が分かれたこの試合。東北大学は初回一死二三塁のチャンスを作るも後続が倒れ無得点。その後は三者凡退の苦しい展開が続いた。一方の石巻専修大学は序盤から終盤にかけて効果的に得点。投げては千葉、佐藤(大)の投手リレーで東北大学を寄せ付けず、危なげない試合展開で初戦を勝ち上がった。

山形大	00000000
仙台大	0100204x
(山)内田・佐藤(尚)―梅津・服部	7

☆三塁打 新城(仙)  
 ☆二塁打 持館(仙)・近藤(仙)

【戦評】  
 試合は序盤から動きを見せる。二回表の山形大学の攻撃、二死から連打で好機を作るも最後の一打が出ずに無得点に終わった。その裏の仙台大学の攻撃、二死二塁のチャンスで仙台大学先発の新城が二塁打を打ち、自らのバットで試合を優位に進めた。

仙台大学は五回にも三連打で二点を取ると、七回には相手投手の制球の乱れに乗じて最後は連打で一気に四点を取り、一気に試合を決めた。仙台大学は先発の新城、リリーフの成田が無失点に抑え、前評判通りの強さを見せた。

◎9月29日 海岸公園野球場a球場

東日本国際大	00110000
尚綱学院大	01031023x
(東)遠藤・大澤・鈴木・大類 山下・石上	10

しかし、その後の七回、ここまでその打力と決定力で勝ち進んできた岩手大学がその実力を見せた。その回に、大池などのタイムリーで二点を入れ、一気に逆転。その後、秋田大学が何とか追いつこうとするが、岩手大学の巧みな継投に振り切られ、岩手大学が優勝した。そして、コロナ禍でもこのような素晴らしい試合をできたという点では、コロナウイルスにも勝利した試合ともいえよう。その点でも、またハイレベル且つ選手の勝利への熱意を感じることができた点でも、この試合は見た人の記憶に色濃く鮮明に残るに違いない。

三位決定戦

◎9月26日 落合角館野球場

盛岡大学	000100000
弘前大学	21042030x
(盛)大場・佐藤―古郡・大場・田中	12

(弘)高橋・清水―佐々木  
 ☆三塁打 石見(弘)  
 ☆二塁打 大場(盛)・石見・齋藤(弘)

球振	10010
点安	20020
打点	30000
学)	41110
大)	30000
岡)	20000
(二)	41110
(遊)	30000
(三)	10000
(右)	20020
(左)	30000
(捕)	20001
(中)	28118
(遊)	5

球振	10010
点安	20020
打点	30000
学)	41110
大)	30000
岡)	20000
(二)	41110
(遊)	30000
(三)	10000
(右)	20020
(左)	30000
(捕)	20001
(中)	28118
(遊)	5

【戦評】

終始、弘前大学のペースで進んだ試合であった。特に長打を二本放った弘前大学の石見と、途中からマウンドに上がった清水には光るものがあった。石見の野球センスには同世代の選手の中でもトップクラスのものを感ずる。また、清水は野球経験が浅いにも拘わらず力強い真つすぐを放っており、今後の進化に期待だ。負けてしまった盛岡大学は、打線が奮わなかった。

好救援。登板した四回からヒットを一本も許さず、完璧な投球を見せた。

準決勝

◎10月5日 仙台市民球場	
尚綱学院大	01000000
東北学院大	200025x
(尚)小形―畠澤	9

(学)鹿又・石垣―佐藤(海)  
 ☆三塁打 高橋(学)  
 ☆二塁打 大尻(学)

【戦評】  
 試合は序盤から動きを見せる。初回、東北学院大学は相手のミスにも乗じて二点を先制、続く二回表には尚綱学院大学も相手のエラーで出たランナーを返し、一点を返すことに成功する。

しかしながら以降は東北学院大学鹿又、石垣の投手リレーの前に尚綱学院打線が沈黙。二塁を踏むことすら出来ない。その間に一気に流れを引き寄せた東北学院大学は五、六回に合計七得点。一気に試合を決め、決勝戦へと駒を進めた。





# 関東地区大学軟式野球大会

会期 令和2年11月9日(月)～11月12日(木)  
会場 小野路球場・ネッツ多摩昭島スタジアム・上柚木公園野球場

ことの右も左もわからない学生を、やさしくみちびいてくださり、いざ大会が成功すると「学生が頑張ったんだ」と、自分たち学生を引き立ててくださった姿に、本当の大人を感じた。大会のつくりかた、運営の仕方以外にも、大人としてのあるべき姿を教えてくださいましたことに心から感謝申し上げます。

最後に、奥羽地区連盟委員長の柳原の個人的な立場から、東北地区連盟委員長の吉永太一君には、本当にお世話になりました。太一君なしには、自分は連盟委員長としての仕事を果たせなかったと思います。いつか大人になった二人で、大学軟式野球に貢献できればと思います、本当にありがとうございます。

東北地区大学軟式野球連盟 連盟委員長

吉永太一

今年は、新型コロナウイルスの影響で全日本連盟主催の全国大会が開催できない状況であった。当連盟でも全国大会の中止を受け、春季リーグ戦の中止や予選大会の中止をしなければいけなかった。そんなときに、奥羽地区、東北地区共同で独自大会を行わないかという提案があった。当初は各大学の連盟委員達も大会開催に向けて疑問の声などが多かったが、数多くのオンラインでの会議を行っていく中で、「このコロナ禍だからこそ大会を行う必要がある」とこの状況だからこそ大会開催意義があることを各連盟委員が強く思ってくれたから大会開催に向けて準備をすることができたと思う。開催に向けて新型コロナウイルスの対応方法や開催場所の確保また、試合時の運営に関して学生が主体的に働いてくれたおかげで大会を

開催することができた。また、学生達が主体的に取り組む中で小野理事長をはじめとした当連盟の理事の方々が助力してくださったおかげでこの奥羽地区、東北地区共同の独自大会を開催し無事に終えることができた。

この独自大会に関わってくださったすべての関係者様に感謝を申し上げます。

### 一回戦

◎11月9日 小野路球場  
産業能率大学 000100000  
東京大学 11300111x  
8

(産)古藤・小山・田口・田代  
(東)木村・水田・川野輪  
☆二塁打 酒井・浜田(産)・村田・木村(東)

信州大学長野 000000000  
法政大学 011000000x  
2 0

(信)北條・藤本  
(法)久米・安間  
☆二塁打 高橋(法)

◎11月9日 ネッツ多摩昭島スタジアム  
東京経済大学 100010000  
大東文化大学 10000002x  
3 2

(東)中澤・市瀬  
(大)小柳・仲川  
☆本塁打 八木(大)  
☆二塁打 篠原(東)・柳(大)

城西国際観光 000000100  
青山学院大学 00100110x  
3 1

(城)井上・菅・久保田(虎)・山内  
(青)曾根・南林・曾根・畠山  
☆本塁打 武田(青)

◎11月9日 上柚木公園野球場  
東海大学 000001100  
獨協大学 00032010x  
6 2

(東)長谷川・大浦・金子  
(獨)清野・藤田

帝京大学 000001004  
松本大学 010000002  
3 5

(帝)小島・相澤・石川  
(末)須藤・加瀬・瀧田  
☆本塁打 百瀬(松)  
☆二塁打 石川・茂野・佐々木・相澤(帝)

赤羽(松)

### 準々決勝

◎11月10日 小野路球場  
青山学院大学 01000002  
獨協大学 00300001x  
4 3

(青)曾根・畠山  
(獨)関井・布施・藤田  
☆二塁打 須合(獨)

慶應義塾大学 1000001000  
帝京大学 000000000  
0 2

(慶)廣瀬・中村  
(帝)櫻井・橋本・石川  
☆二塁打 小林(慶)

◎11月10日 ネッツ多摩昭島スタジアム  
東京大学 010100000  
大東文化大学 00100002x  
3 2

(東)横山・川野輪  
(大)林・小柳・仲川  
☆本塁打 村田(東)  
☆三塁打 三上(大)  
☆二塁打 小泉(東)

日本体育大学 000100030  
法政大学 000000100  
1 4

(日)川内・石渡・島田  
(法)池田・田中・安間  
☆二塁打 保木平(日)

### 準決勝

◎11月11日 小野路球場  
慶應義塾大学 000030100  
大東文化大学 000000000  
0 4

(慶)金光・中村  
(大)林・小柳・仲川  
☆二塁打 中村(慶)

獨協大学 010001002  
日本体育大学 00000126x  
9 2

(獨)関井・清野・小宮・藤田  
(日)石渡・川内・島田  
☆二塁打 久保(日)

### 決勝

◎11月12日 小野路球場  
慶應義塾大学 0000002000  
日本体育大学 0100100000  
1x 3 2

(慶)廣瀬・金光・中村  
(日)大塚・川内・島田  
☆二塁打 中村(慶)・飯島(日)

◎表彰

優勝

日本体育大学(東都大学軟式野球連盟)

準優勝

慶應義塾大学(東京六大学軟式野球連盟)

三位

獨協大学(首都大学軟式野球連盟)

大東文化大学(首都大学軟式野球連盟)

関東地区大学軟式野球大会総括コメント

東京六大学軟式野球連盟委員長

平野 孔太郎

新型コロナウイルス感染症拡大による全日本大会の中止を受け、代替大会として六連盟合わせて十四チームが参加した。リーグ戦の上位校が出場している連盟もあれば、リーグ戦を行えず、トーナメントにより代表校を選出した連盟もあった。また、同じ関東地区圏内でもリーグ戦や大会を開催できず参加できない連盟もあった。

宿泊による感染拡大が懸念され全日本大会が中止となった経緯から、今大会は一切の宿泊を禁止し、遠方からの参加校の試合開始時刻を遅らせる措置をとった。加えて、参加連盟ごとに試合中の感染対策が異なっていたため、大会独自の感染対策マニュアルを作成し、感染者発生防止に努めた。

前年度東日本大会優勝校である城西国際大学観光学部をはじめとした強豪校が多く出場した。僅差の試合が多く、手に汗を握るような緊迫した好ゲームが多く見られた。特に決勝では九回裏に慶應義塾大学が二点差を同点とし、一三回裏に日本体育大学がサヨナラタイムリーを放ち優勝を決める劇的な幕切れとなった。

コロナ禍で上位大会が軒並み中止となる中で、こうした大会が開催できたことは学生にとって貴重な経験や思い出となりえたと考える。

# 西日本大学軟式野球選手権独自大会

会期 令和2年11月9日(月)～11月12日(木)

会場 くら寿司スタジアム堺

関西ブロック大会

一回戦

◎11月9日 くら寿司スタジアム堺

桃山学院教育大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
京都文教大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4x
										5

(桃)塩田、栗原―河上  
(文)西野、森―北村

(中)田上	5	0	0	0	0
(三)藤上	5	2	2	0	0
(捕)上田	4	0	0	0	1
(右)田岡	3	2	1	0	1
(一)下野	5	0	0	1	0
(左)橋口	0	0	0	0	0
(遊)飯田	3	0	0	1	0
(投)塩田	2	0	0	0	0
	1	0	0	0	0
	1	0	0	0	0
	3	1	0	0	1
(二)原田	4	0	1	2	0
(遊)西田	4	0	1	2	0
	36	5	4	4	3

(京都文教大学)打安点振球	伴	4	1	0	1	0
(中)左	大馬	3	0	0	0	1
(二)	塚	1	0	0	0	0
(右)	手	5	2	0	0	0
(三)	奥	3	1	1	1	1
(遊)中	村	4	1	1	0	0
(左)	野	4	1	2	0	1
(投)	新泉	2	1	0	0	0
(遊)	森	3	0	1	0	0
(左)	堀	1	0	0	0	1
(投)	野	1	1	0	0	0
(一)	北	4	0	0	1	0
(捕)	村	4	0	0	1	0
		35	8	5	3	4

【戦評】

両チームとも投手陣が好投を見せ、七回まで無得点。八回表、桃山学院教育大学は一アウト二、三塁から、四番沼田が犠牲フライを放ち一点先制。その裏、京都文教大学は一アウト満塁からピッチャーゴロの間に同点に追いつく。その後、延長タイブレークに入り一〇回表、桃山学院教育大学は三点を勝ち越す。その裏、京都文教大学は同点に追いつき、なおもチャンスで、内野ゴロの間にサヨナラ勝ちを取めた。

西日本独自大会

一回戦

◎11月10日 くら寿司スタジアム堺

石川県立大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同志社大学	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0
										7

(石)依田、小川、小島―斉藤  
(同)木崎―星野、水田

(石川県立大学)打安点振球	小島	3	0	0	2	0
(遊)小川	3	0	0	0	0	0
(捕)藤岡	3	1	0	2	0	0
(一)山辺	3	1	0	0	0	0
(中)渡野	3	0	0	0	0	0
(遊)柴田	2	0	0	1	0	0
(三)永田	2	1	0	1	0	0
(右)永根	0	0	0	0	0	0
(遊)依田	2	0	0	0	0	0
		24	3	0	7	0

(同志社大学)打安点振球	桐川	3	0	1	0	0
(二)片古	0	0	0	0	0	0
(遊)丸井	3	0	0	0	1	0
(右)左川	2	1	0	0	2	0
(一)二川	1	1	0	0	3	0
(投)木崎	4	1	3	0	0	0
(左)長井	3	0	2	0	0	0
(右)松井	0	0	0	0	0	0
(中)古谷	4	3	1	0	0	0
(捕)星野	2	0	0	0	1	0
打捕	1	0	0	0	0	0
(三)久保	3	1	0	0	0	0
(三)三田	0	0	0	0	0	0
		26	7	7	0	7

【戦評】

同志社大学は初回、五番木崎のタイムリーベースを皮切りに四点を先制。その後も追加点を重ねた。石川県立大学も反撃を見せたが及ばず、大会規定により七回コールドで同志社大学が勝利を取めた。

関西ブロック大会

一回戦

◎11月10日 くら寿司スタジアム堺

立命館大学	0	2	0	0	0	0	1	3	0	6
神戸医療福祉大学	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
										2

(立)栗山、荒木―岩見  
(神)本井、灰原、西村―吉澤・本井

(立命館大学)打安点振球	山木	5	1	1	1	0
(二)内	5	1	0	0	0	0
(一)荒	3	1	0	1	2	0
(遊)井	5	0	0	3	0	0
(右)太	3	1	0	1	1	0
(左)山	0	0	0	0	1	0
(三)内	3	1	0	0	0	0
(遊)渡	0	0	0	0	0	1
(中)高	0	0	0	0	0	1
(遊)酒	0	0	0	0	0	1
(一)井	1	0	0	1	0	0
(中)井	3	0	0	0	0	0
(投)見	1	0	0	0	0	0
(遊)山	2	1	1	0	2	0
	3	1	2	1	0	0
	1	0	2	0	0	0
	35	7	6	8	7	0

(神戸医療福祉大学)打安点振球	平藤	4	0	0	0	0
(右)藤	1	0	0	1	0	0
(一)藤	3	2	0	0	0	0
(二)竹	5	1	0	1	0	0
(遊)本	3	2	1	1	0	0
(左)中	3	2	1	0	0	0
(投)早	0	0	0	0	1	0
(遊)左	0	0	0	0	0	0
(中)波	3	0	0	0	0	0
(打)深	1	0	0	0	0	0
(中)山	0	0	0	0	0	0
(三)宮	4	0	0	0	0	0
(捕)吉	4	1	0	0	0	0
(投)灰	0	0	0	0	0	0
(遊)西	0	0	0	0	0	0
打捕	3	0	0	0	0	0
(三)田	1	0	0	0	0	0
(三)仲	1	0	0	0	0	0
	35	8	2	3	1	0

【戦評】

立命館大学は二回栗山の二点タイムリーヒットで先制すると、その後もタイムリーやエンドランを使い効果的に追加点を重ねた。投げては二投手でわずか一四球という見事な制球で九回を二失点に抑え見事勝利を取めた。  
神戸医療福祉大学は序盤は投手が要所で粘り一時は同点に追いつくも、終盤死四球から相手にチャンスを与えてしまう結果となった。



# 2020年度 全日本大学軟式野球連盟交流事業

◎ 2月20日 掛川市 大東北野球場  
東京エドイバパンター 0 0 0 2 0 2 1 0 0 5  
大学軟式 JAPAN 0 0 0 0 0 1 0 2 0 3

(ヴェルディ)櫛原―和田 ― 松瀬―奈良場  
(JAPAN)西野―高岡―岩田―関澤 ― 小坂  
☆三塁打 岩本(J)  
☆二塁打 小坂 梅原(J)、清水(ウ)

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
中二PH	二	PH	二三	DH	一	右遊	捕左

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
西野	高岡	岩田	関澤	準輝	周吾	裕聖	壱晴

軟式ジャパン攻撃陣もその裏、三番来田のヒットをきっかけにチャンスを作り、六番梅原のタイムリーで一点を返す。七回にもさらに一点を失うも、八回より登板した関澤は打者六人に対し三奪三振と完璧な投球を見せる。何とか反撃を試みる攻撃陣は、八回裏にも来田のヒットをきっかけにチャンスを作りパスボールと梅原のタイムリーで二点を

を返し逆転に望みを繋ぐ。迎えた九回裏、一死から持縮のヒットをきっかけにチャンスを作るも最後は途中出場の岩崎が倒れ初戦を落とした。

☆本塁打 梅原、岩本(J)、中山、本池(ウ)  
☆二塁打 三浦、神山(J)、中山、山口、本池(ウ)

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
中左	三一	右二	DH	捕	遊		

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
森	井上	名取	加藤	貴也	竜也	毅留	

四回表に三番来田のヒットをきっかけに五番梅原の二ランホームラン、ニアウトから八番神山のタイムリーで逆転に成功する。しかしその裏、二番手井上の制球が定まらず一死後、四球から二ランホームランを浴びた後、タイムリーでさらに一点を失う。相手投手が変わっ

た五回表、立ち上がり不安定なところを攻め、一番岩崎のヒットをきっかけに打線が繋がリ、五番梅原のタイムリーで同点に迫いつき、六回から登板した名取が二回を無失点に抑える力投を見せる。しかし八回から登板した加藤が二死から三番打者に二ランホームランを浴び二点を失う。二点ビハインドで迎えた最終回、一死から二番岩本の二ランホームランで同点に迫いつき引き分けに持ち込んだ。

◎ 2月21日 浜松市 浜松磐田信用金庫グラウンド  
大学軟式 JAPAN 0 0 0 3 0 0 3 0 0 6  
クーニンジズ 0 1 0 3 0 0 1 2 x 7  
(JAPAN)関澤―井上―名取―森 ― 三浦  
(クーニンジズ)前沢―若林 ― 緑川  
☆本塁打 笹口、三浦、持縮(J)  
伊海田、クーニン、上野(ク)

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
中遊	三	DH	一	右	捕	二	遊

三戦目の先発は関澤。初回は完璧な投球を見せ三者凡退に抑えるも二回、六番打者に甘く入ったスライダーをレフトに運ばれ一点を失う。三回も失策から満塁のピンチを招くものの、無失点で切り抜ける。迎えた四回表、二番門脇の四球をきっかけにチャンスを作ると五番笹口の三ランホームランで逆転に成功する。しかし、四回裏から登板

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
関澤	井上	名取	森	壱晴	竜也	毅留	

打から二点を失い逆転を許す。反撃を試みたい打線も八、九回と抑え込まれクーニンジズに初めての敗戦を喫した。

クーニンジズ 1 0 0 2 1 0 1 1 1 7  
大学軟式 JAPAN 2 0 0 0 2 0 0 0 0 4

(クーニンジズ)中須―若林 ― 関口裕  
(JAPAN)加藤―高岡―岩田―西野 ―  
☆本塁打 岩本、浜島(J)、緑川(ク)  
☆二塁打 岩本、浜島(J)、中、上野(ク)

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
中二PH	一	右遊	捕	遊	左		

## 【戦評】

最終戦の先発は加藤。初回にホームランで一点

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
加藤	高岡	岩田	西野	毅留	周吾	裕聖	壱輝

を失うも、その後は落ち着いた投球を見せ三回を一失点も投球を見せる。一番岩崎のヒットをきっかけに相手のミスから一点を返すと四番浜島に望望のホームランが飛び出し勝ち越しに成功する。迎えた四回、二番手高岡が二ランホームランを浴び逆転を許すと五回にも一点を失う。打線は六回裏、四番浜島の二ベースヒットをきっかけに五番笹口のタイムリーで一点を返すと相手バッテリーのミスで同点に迫いつく。しかし、六回から登板した三番手岩田が七回に一点を失うと、四番手で登板した西野も八回、九回に一点ずつを失い、最終戦を勝利で飾る事は出来なかった。

を返し逆転に望みを繋ぐ。迎えた九回裏、一死から持縮のヒットをきっかけにチャンスを作るも最後は途中出場の岩崎が倒れ初戦を落とした。

☆本塁打 梅原、岩本(J)、中山、本池(ウ)  
☆二塁打 三浦、神山(J)、中山、山口、本池(ウ)

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
中左	三一	右二	DH	捕	遊		

(JAPAN)	投手	球数	打者	被安打	奪三振	四球	失点
森	井上	名取	加藤	貴也	竜也	毅留	

四回表に三番来田のヒットをきっかけに五番梅原の二ランホームラン、ニアウトから八番神山のタイムリーで逆転に成功する。しかしその裏、二番手井上の制球が定まらず一死後、四球から二ランホームランを浴びた後、タイムリーでさらに一点を失う。相手投手が変わっ

## 【総括】

二〇二〇年度交流事業 総務代行 奥野 水晶

二〇二〇年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から海外への遠征が叶わず、国内での活動予定もままならない中ではあったが、静岡県軟式野球協会のご協力により無事開催することができました。また、関東圏を基盤に置いていたチームにも関わらず、今回の活動にご協力いただきました東京ヴェルディパンバタ様、クーニンジズ様にも重ねて御礼申し上げます。

選手の皆様にとっても普段の練習もままならない中、可能な限りコンディションを整え遠征に準備してくれていました。集合前からZoomなどを活用し、積極的にコミュニケーションを図るなど準備をしており、一日しかない練習を有効に活用するように選手間で話し合っていました。試合初日こそ風が強くて天候的には厳しいものとなったものの、予定していたスケジュールを無事こなすことが出来ました。

試合につきましては、相手チームのレベルも高く、三敗一分と残念な結果となりましたが、選手達は自分達の持てる力を最大限発揮し最後まで決して諦めることなく試合に望んでおりました。

また、今回はコロナ禍のため、オンラインでの野球教室を新たな試みとして取り組みました。東日本大震災からちょうど一〇年を迎える今年、このタイミングで国内での活動を行うことに縁を感じ、スタッフが仙台市の某中学校に打診。声をかけた二校にご賛同いただいで普段と違う形で実施する事が出来ました事で野球以外の経験として

選手たちにはかけがえない経験になった事と感じております。今後の継続性に課題を残しておりますが新たな試みとして、今後も継続していか検討していく内容ではないかと思っております。

参加選手の中にはこれを機に社会人チームを志す者や、翌年の代表に向けて準備を開始する者もおり、今回の事業での経験を活かし、軟式野球の普及発展に努めてくれる事を期待しております。

最後になりましたが、本事業開催にあたり、当連盟関係者はじめ多くの方々にご協力いただきました事に對しまして改めて御礼申し上げます。期間中、選手たちの為にご尽力いただきました小野監督はじめ、福島コーチ、島山コーチ、事前準備を進めてくださいました上木理事にもこの場をお借りして御礼申し上げます。コロナの早期な収束を願い、再び海外での普及活動が開始できるようになる事を祈念しております。

### 令和2年度 全日本大学軟式野球連盟交流事業 日本代表一覧

監督	30	小野 昌彦	東北地区大学軟式野球連盟 理事長 東北福祉大学軟式野球部 コーチ
投手コーチ	29	畠山 和也	奥羽地区大学軟式野球連盟 理事長代行 宮城教育大学軟式野球部 監督
野手コーチ	28	福島 慎一	全日本大学軟式野球連盟 指名理事 大学軟式日本代表 OB
総務		奥野 水晶	南関東大学軟式野球連盟 理事長

No.	ポジション	背番号	氏名	投・打	所属大学	所属連盟	学年
1	主務		森 夏美		仙台大学	東北地区	3
2			池条みちる		慶應義塾大学	東京六	3
3	投手	11	名取 竜也	右・右	宮城教育大学	東北地区	3
4		21	井上 怜音	右・右	明治大学	東京六	2
5		33	関澤 壱晴	右・右	桐蔭横浜大学	南関東	3
6		16	加藤 毅留	右・右	駒澤大学	東京新	3
7		19	岩田 裕聖	右・右	岐阜聖徳学園大学	東海	3
8		1	高岡 周吾	右・右	びわこ学院大学	京滋	3
9		17	西野 隼輝	右・右	京都文教大学	京滋	3
10		18	森 勇貴	左・左	京都文教大学	京滋	2
11	捕手	22	神山 黎也	右・右	城西国際大学	東関東	3
12		2	三浦 陸	右・左	中京学院大学	東海	2
13		53	小坂 泰斗	右・右	大阪体育大学	近畿	3
14	内野手	3	浜島 魁士	右・右	関西大学	関西六	4
15		40	笹口 大輝	右・右	東北学院大学	東北地区	3
16		5	来田 涉悟	右・右	日本体育大学	東都	3
17		25	浅野 宇海	右・右	城西国際大学	東関東	3
18		4	河合 智紀	右・左	龍谷大学	京滋	2
19		6	三橋 甫壮	右・右	びわこ成蹊スポーツ大学	京滋	2
20		7	門脇 圭哉	右・右	東北学院大学	東北地区	3
21	外野手	41	持舘 理登	右・左	仙台大学	東北地区	3
22		31	岩崎 蒼大	右・両	岐阜聖徳学園大学	東海	3
23		8	岩本 一摩	右・右	大阪体育大学	近畿	3
24		9	梅原 侑聖	右・右	大阪成蹊大学	近畿	2

#### 【オンライン野球教室】

例年の大学軟式野球国際交流事業においては、海外で現地の日本人学校等を訪問し、少年少女との交流を通して野球の楽しさを伝えていく。

しかし今年度は国内での開催、感染予防の観点から子ども達との触れ合いが出来ないという状況下で、オンラインでの交流の案が生まれた。

「東日本大震災」からちょうど一〇年を迎える今年。

このタイミングで国内での活動を行うことに縁を感じ、スタッフが仙台市の某中学校に打診。声をかけた二校にご賛同頂いた。

当日は東京ヴェルディ・バンパータとの試合を控えていた事もあり、円滑な運営を行う必要があった。

その為質問は事前に集め、選手達にも事前に周知し、回答者を決めておいた。

はじめに全員で中学生に挨拶。「大学軟式 JAPAN」の選手達が勢揃いする迫力に中学生がドキドキしている様子は画面越しからも伝わってきた。

そこから場所を移し、事前に割り当てられた者が質問ごとにカメラの前に立った。

中学生も自身の質問を改めて読み上げ、質問によつてはやり取りも行われるなど、コミュニケーションが成り立っていた。

前日には本件を担当頂いた先生から震災当時のお話も伺うことが出来た。

学生は主将、投手リーダー、野手リーダーをはじめ数名に代表して参加してもらい、その後に行われるポジション別のミーティングで伝えてもらうようにした。

学校の被災状況や当時の野球部の子ども達の様子、そこから野球を通じて子ども達も少しづつ元気を取り戻していった話など、震災当時一〇歳前後だった学生達にとっては貴重な話ばかりだった。

最後は今後大学軟式野球に期待することについてメッセージを頂き、学生達にとってこの代表チームでの活動に一層の「意味」を感じさせる経験となった。

#### 中学生コメント

「今回は貴重な機会を頂きありがとうございます。レベルの高いお話を聞いて早速試してみたいと思いましたし、継続する事の大切さを学びました。ありがとうございました」

#### 選手コメント

「今回、東北の方々のお話を伺い、自分が野球をやれている環境がとても貴重なものだと思えることが出来ました。今回の経験は必ず後輩達に伝えていきたいと思いました」



# 北海道地区大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

◎ 9月19日 江別市営球場

札幌学院大	000005
教育大旭川	7503x
<hr/>	
	15

(札幌)小菅・手塚―大沼  
(教旭)岡田・坂本―山田・奥村  
☆三塁打 鈴木旭  
☆二塁打 佐々木(旭)

◎ 9月28日 江別市営球場

教育大旭川	013222501
千歳科学技術大	112023113
<hr/>	
	14

(教旭)関口・吉田・工藤・岡田・田中―今井  
(千リ)アルテス・貴戸・岩倉・奥野・郷内―桜井  
☆本塁打 浅井(千リ)  
☆三塁打 佐々木・奥村(旭)  
☆二塁打 浅井(千リ)

◎ 9月29日 江別市営球場

札幌学院大	02003213
北星学園大	00100020
<hr/>	
	3

(札幌)山崎―大池  
(北星)井上・水野―佐藤  
☆二塁打 小綿(札幌)

◎ 9月29日 江別市営球場

北海道情報大	61400000
千歳科学技術大	10161000
<hr/>	
	9

(情報)斎藤・佐々木―原田  
(千科)菅野・駒井―行方・藤原  
☆三塁打 大井(情)  
☆二塁打 川(千科)

◎ 10月1日 野幌硬式球場

北海道大	011000001
北海道科学大	01012001x
<hr/>	
	5

(北海)高岡・高瀬―我孫子・高橋  
(北大)長―東谷・山崎  
☆三塁打 渡辺(北海)  
☆二塁打 今村・斎藤(北大)

◎ 10月3日 美瑛市営球場

札幌学院大	101000021
千歳科学技術大	62000000x
<hr/>	
	8

(札幌)三溝・鈴木・太田―鈴木・大沼・三溝  
(千リ)岩倉・郷内―桜井・大泉  
☆本塁打 大沼(札幌)・大江(千リ)  
☆二塁打 郷内(千リ)

◎ 10月5日 江別市営球場

北海道科学大	00000001
北海道大	00000000
<hr/>	
	0

(小)斎藤―石井

◎ 10月6日 江別市営球場

小樽商科大	00000000
北翔大	10000002x
<hr/>	
	3

(小)西村・小坂―種崎  
(北翔)佐藤・佐々木―大河原  
☆三塁打 太田(北翔)  
☆二塁打 今野(北翔)

◎ 10月7日 江別市営球場

教育大札幌	000001000
北星学園大	00000000
<hr/>	
	0

(教札幌)小山・井上・長崎・山崎―佐俣・板垣  
☆二塁打 溝口(教札幌)・木村(北星)

◎ 10月10日 江別市営球場

北海道大	100000000
北翔大	001000000
<hr/>	
	1

(北大)長―山崎・鷹田  
(北翔)横内―大河原  
(時間規定により10回引分け)

◎ 10月12日 江別市営球場

北海道科学大	100000010
北翔大	010100030
<hr/>	
	2

(翔)佐々木・佐藤―阿部・大河原  
(北科)稲村・美馬―岩井  
☆二塁打 菊地(北翔)・美馬(北科)

◎ 10月8日 江別市営球場

小樽商科大	002000211
北海道科学大	000040001
<hr/>	
	5

(小)柳谷―石井  
(北科)本山・佐々木―美馬  
☆二塁打 山口(小)・畠山・岩井(北科)

◎ 10月8日 江別市営球場

札幌学院大	010001200
教育大函館	20200010x
<hr/>	
	5

(札幌)大沼・手塚―鈴木・廣川  
(教函)西條・鷹崎―佐光

(北大)長―東谷

◎ 9月30日 江別市営球場

北星学園大	001011001
北海道科学大	01103110x
<hr/>	
	7

(北星)長崎・山崎・登石―佐藤・水野  
(北商)篠原・田中・大屋―坂田・岡本・沼田  
☆三塁打 清水(北商)  
☆二塁打 木村(北星)・青山・坂田(北商)

◎ 10月1日 野幌硬式球場

北海道大	011000001
北海道科学大	01012001x
<hr/>	
	4

(北海)高岡・高瀬―我孫子・高橋  
(北大)長―東谷・山崎  
☆三塁打 渡辺(北海)  
☆二塁打 今村・斎藤(北大)

◎ 10月3日 美瑛市営球場

札幌学院大	101000021
千歳科学技術大	62000000x
<hr/>	
	8

(札幌)三溝・鈴木・太田―鈴木・大沼・三溝  
(千リ)岩倉・郷内―桜井・大泉  
☆本塁打 大沼(札幌)・大江(千リ)  
☆二塁打 郷内(千リ)

◎ 10月5日 江別市営球場

北海道科学大	00000001
北海道大	00000000
<hr/>	
	0

(小)斎藤―石井

◎ 10月6日 江別市営球場

小樽商科大	00000000
北翔大	10000002x
<hr/>	
	3

(小)西村・小坂―種崎  
(北翔)佐藤・佐々木―大河原  
☆三塁打 太田(北翔)  
☆二塁打 今野(北翔)

◎ 10月7日 江別市営球場

教育大札幌	000001000
北星学園大	00000000
<hr/>	
	0

(教札幌)小山・井上・長崎・山崎―佐俣・板垣  
☆二塁打 溝口(教札幌)・木村(北星)

北海道地区大学軟式野球連盟 学生委員長 大沼諒司

北海道地区大学軟式野球連盟 秋季大会総括コメント

今回の秋季リーグは、一々四部リーグ全てで入れ替え戦なしを行った。理由として、学校側からの許可を得ることが出来ず不参加となってしまう大学があること、部活動の制限があり満足に練習をすることが出来ない大学も多かったことから、順位付けをしなかった。

大会運営に関して、コロナウイルス感染対策のために人数制限などを行ったが各大学の代表者や部員の協力があり、スムーズに進行することが出来た。日程変更の際、時間の調整時に各大学には多くの協力を頂いた。

次年度以降も全大学と協力して大会運営を行えるような運営作りを目指す。

大会期間中のほとんどの日が天候に恵まれ延期等なく大会を開催することが出来た。

秋季大会では、春季大会を行えなかったことから、四年生の引退試合とするチーム、積極的に一年生の新規加入選手を出場させるチームが見られ、大会に対して各チーム様々な取り組み方をしていた。

一日でも早く、コロナウイルスに左右されない日常に戻り、今回参加できなかった大学や選手が合わせて通常リーグ戦が行えることを願っています。

◎ 10月3日 江別市営球場

千歳科学技術大 00010010

北海道情報大 001200132

(千科)駒井・藤原―白木  
(情)柄目・稲村  
☆二塁打 駒井(千科)・宮越・根井(情)

◎ 10月3日 美瑛市営球場

札幌学院大	200020000
北海道大水産	14003200x
<hr/>	
	10

(札幌)大沼・辻・三溝―三溝・大沼  
(北水)菅原・新井―両角  
☆三塁打 斎藤(北水)  
☆二塁打 三溝(札幌)・佐藤(北水)

◎ 10月4日 美瑛市営球場

札幌学院大	101000021
千歳科学技術大	62000000x
<hr/>	
	8

(札幌)三溝・鈴木・太田―鈴木・大沼・三溝  
(千リ)岩倉・郷内―桜井・大泉  
☆本塁打 大沼(札幌)・大江(千リ)  
☆二塁打 郷内(千リ)

◎ 10月5日 江別市営球場

北海道科学大	00000001
北海道大	00320000x
<hr/>	
	5

(北海)高瀬・葛岡―我孫子・高橋  
(北翔)横内・佐々木―大河原  
☆二塁打 西村(北翔)

# 東京六大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

◎ 8月31日 小野路球場

東京大学	000110100
慶應義塾大学	00111010x
(東)木村・横山・川野輪	
(慶)廣瀬・中村	
☆本塁打 菅野(東)	
☆三塁打 三鍋(慶)	
☆二塁打 村田(東)・安井・中村(慶)	

◎ 9月10日 小野路球場

法政大学	000000100
慶應義塾大学	000100100x
(法)池田・田中・高井	
(慶)廣瀬・中村	
☆三塁打 中村(慶)	
☆二塁打 小池(法)・中村(慶)	

◎ 9月30日 上柚木球場

早稲田大学	000000101
立教大学	30000000x
(早)稲垣・橋本・坂元	
(立)佐々木・小俣	
☆本塁打 高橋(早)	
☆三塁打 金子(立)	
☆二塁打 丸山(早)	

◎ 9月3日 小野路球場

東京大学	000000000
法政大学	10111021x
(東)木村・横山・水田・川野輪	
(法)田中・池田・高井	
☆三塁打 飛田・釜島(法)	
☆二塁打 村田(東)・小池(法)	

◎ 9月16日 小野路球場

立教大学	100000011
法政大学	11020000x
(立)佐々木・山田・小俣	
(法)田中・池田・高井	
☆本塁打 小俣(立)	
☆三塁打 田中(法)	
☆二塁打 成井・小俣(立)・大貫(法)	

◎ 10月3日 ネット多摩昭島スタジアム

法政大学	000000100
東京大学	000000000
(法)田中・高井	
(東)横山・川野輪	
☆本塁打 小泉(法)	

◎ 10月19日 小野路球場

慶應義塾大学	120000002
早稲田大学	100000000
(慶)金光・廣瀬・中村	
(早)橋本・稲垣・坂元	
☆二塁打 伊藤・中村(慶)	

◎ 10月14日 小野路球場

立教大学	000020000
早稲田大学	01001010x
(立)佐々木・石川・小俣	
(早)橋本・坂元	
☆二塁打 秋野(立)・坂元・小林(早)	

◎ 11月25日 小野路球場

明治大学	001200000
慶應義塾大学	000001000
(明)井上・本田	
(慶)飯田・小杉・一ノ瀬・廣瀬・早船・安井・中村	
☆二塁打 石川(明)	

◎ 11月2日 小野路球場

法政大学	1000001000001
早稲田大学	0000002000001
(法)池田・田中・安間	
(早)橋本・稲垣・坂元	
☆三塁打 利涉(法)	
☆二塁打 安間・安間・池田(法)・橋本(早)	

◎ 11月13日 駒沢オリンピック公園総合運動場硬式野球場

早稲田大学	000120000
明治大学	020100000
(早)稲垣・橋本・坂元	
(明)木田・井上・本田	
☆二塁打 丸山(早)	

◎ 11月27日 小野路球場

立教大学	000000000
明治大学	00030000x
(立)佐々木・山田・吉田・石川・小俣	
(明)木田・井上・金子・本田	
☆二塁打 丸田(立)	

◎ 11月5日 小野路球場

早稲田大学	010000200
東京大学	010010101x
(早)橋本・稲垣・坂元	
(東)横山・木村・川野輪	
☆三塁打 菅野(東)	
☆二塁打 橋本(早)・川野輪・菊池(東)	

◎ 11月17日

明治大学	000010000
東京大学	10100002x
(明)河原・上野・金子・井上・本田	
(東)水田・鈴木・丸山・川野輪	
☆二塁打 住岡(東)	

◎ 12月2日 小野路球場

明治大学	000000005
早稲田大学	000000000
(明)木田・河原・井上・本田	
(早)橋本・稲垣・山本	
☆二塁打 菅原(明)	

◎ 11月2日 小野路球場

法政大学	1000001000001
早稲田大学	0000002000001
(法)池田・田中・安間	
(早)橋本・稲垣・坂元	
☆三塁打 菅野(東)	
☆二塁打 安間・安間・池田(法)・橋本(早)	

◎ 11月17日

明治大学	000010000
東京大学	10100002x
(明)河原・上野・金子・井上・本田	
(東)水田・鈴木・丸山・川野輪	
☆二塁打 住岡(東)	

◎ 11月30日 ネット多摩昭島スタジアム

東京大学	000100000
明治大学	000000000
(明)木田・河原・井上・本田	
(早)橋本・稲垣・山本	
☆二塁打 菅原(明)	

◎ 10月27日 小野路球場

立教大学	000000100
法政大学	100000100x
(立)佐々木・山田・原・小俣	
(慶)廣瀬・飯田・金光・中村・早船	
☆本塁打 陣川(立)	
☆三塁打 三鍋(慶)	
☆二塁打 金子(立)・小林(慶)・中村(慶)	

◎ 11月20日 小野路球場

明治大学	100000100
法政大学	00002030x
(明)井上・木田・本田	
(法)池田・田中・高井	
☆二塁打 高井・安松(法)	

◎ 12月4日 小野路球場

法政大学	000000003
明治大学	000000000
(法)池田・久米・切原・安間	
(明)井上・木田・木田・柴田	

◎ 11月11日 駒沢オリンピック公園総合運動場硬式野球場

明治大学	000000013
立教大学	001000002
(明)木田・井上・本田	
(立)吉田・山田・佐々木・小俣	
☆二塁打 中馬・天内(明)・金子・吉田(立)	

◎ 11月19日 小野路球場

慶應義塾大学	120130100
明治大学	000002001
(慶)廣瀬・金光・中村	
(明)木田・井上・上野・天内・中村	
☆二塁打 中馬(明)	

◎ 12月2日 小野路球場

明治大学	000000005
早稲田大学	000000000
(明)木田・河原・井上・本田	
(早)橋本・稲垣・山本	
☆二塁打 菅原(明)	

◎ 11月27日 小野路球場

立教大学	000000103
慶應義塾大学	10014200x
(立)佐々木・山田・原・小俣	
(慶)廣瀬・飯田・金光・中村・早船	
☆本塁打 陣川(立)	
☆三塁打 三鍋(慶)	
☆二塁打 金子(立)・小林(慶)・中村(慶)	

◎ 11月20日 小野路球場

明治大学	100000100
法政大学	00002030x
(明)井上・木田・本田	
(法)池田・田中・高井	
☆二塁打 高井・安松(法)	

◎ 12月2日 小野路球場

明治大学	000000005
早稲田大学	000000000
(明)木田・河原・井上・本田	
(早)橋本・稲垣・山本	
☆二塁打 菅原(明)	

# 首都大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

東京六大学軟式野球連盟秋季大会表彰選手

- 最優秀選手 中村 健人(慶應義塾大学)
- 優秀選手 田中 湜大(法政大学)
- 首位打者 中村 健人(慶應義塾大学)・三七八
- 本塁打王 篠田 佳希(立教大学) 二本
- 打点王 中村 健人(慶應義塾大学) 八点
- 小林 優太(慶應義塾大学) 八点
- 盗塁王 菅原 紘也(明治大学) 八個
- 最高出塁率 菅原 紘也(明治大学) 〇・四四八
- 最優秀防御率 田中 湜大(法政大学) 〇・四九
- 最多奪三振 井上 怜音(明治大学) 五〇個
- 最多勝 廣瀬 太一(慶應義塾大学) 六勝

ベストナイン

- 投手 廣瀬 太一(慶應義塾大学)
- 捕手 中村 健人(慶應義塾大学)
- 一塁手 留畑 賢太郎(明治大学)
- 二塁手 小林 優太(慶應義塾大学)
- 三塁手 伊藤 翼(慶應義塾大学)
- 遊撃手 篠田 佳希(立教大学)
- 外野手 丸田 拓実(立教大学)
- 小林 玄葵(早稲田大学)
- 菅原 紘也(明治大学)

敢闘賞

- 金光 功誠(慶應義塾大学)
- 高井 秀俊(法政大学)
- 横山 幸輝(東京大学)
- 中馬 拓海(明治大学)
- 橋本 康太(早稲田大学)
- 金子 太陽(立教大学)

東京六大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント

東京六大学軟式野球連盟 委員長 平野 孔太郎

連盟創立以来、初めてリーグ戦開催を見送った春季リーグ戦に続き、新型コロナウイルス感染症の影響が続いた今季のリーグ戦は、二大学が活動停止のまま四大学のみで開催したが、規模を縮小することはなく全三十試合が終わるまで例年の二倍以上の三ヶ月半もかかったとても長いリーグ戦となった。

来場者全員の検温や手指消毒等、新型コロナウイルス感染症対策を厳正に行いつつ大会運営を行い、結果的にリーグ戦期間中に部員のなかで感染者は発生せず、感染症による試合の中止や延期はなかった。また、全ての試合を有観客試合としたが、観客等にも感染者は発生しなかった。

コロナ禍ではあったが、新たな試みとして、設備のよい小野路球場をメイン球場として使用し、また、ジャッジのクオリティ向上のため、従来、連盟派遣の審判一名と学生審判三名という体制から連盟派遣の審判二名での二審制に変更して試合レベルの向上を試みた。

例年、全体的な傾向として投高打低であるが、今年は投打のバランスが拮抗し、また、どの大学も少ない調整期間で万全の調整をした結果、圧倒的な戦力差もなく、作戦や一つのミスなどが試合の結果を左右する見応えのある好ゲームが多かった。

また、リーグ戦期間が長く、試合間隔が長くなったことでの大学もエースピッチャーが多く先発し、好投手同士の投げ合いが多く見られた。一方で、野手は好調を長期間維持するのが難しく、多

くの選手が出場機会を得ることに繋がった。こうした点ではどの大学も采配が勝敗の鍵を握っており、より軟式野球らしさを体現できたリーグ戦であったと感じる。

以上のことを踏まえ、今リーグ戦は感染対策をしながら、新たな試みを行ったという点から極めて異例なリーグ戦であった。ただ特に問題もなくこのリーグ戦を執り行えたということは連盟にとって大きな収穫であったと考える。

首都大学軟式野球連盟 春季大会総括コメント

首都大学軟式野球連盟 委員長 山崎 佑太

今年度の春季リーグ戦は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止という形になりました。当たり前のようにリーグ戦ができる環境がそうではないことを知り、多くの学生にとって、野球をできることがいかに幸せな環境に置かれていることなのかを見つめ直す良いきっかけになったと感じます。その中で、連盟として「試合をできる機会をなんとか作り出そう」と団結し、秋に向けて準備を進めたことは、連盟として良い方向に舵を切れたと思えました。

首都大学軟式野球連盟 秋季独自大会成績

一回戦

◎10月24日 八潮北公園野球場

東京学芸大	0	0	1	0	1	0	2
明星	0	1	0	0	3	x	4

(時間制限によって6回コールド)

(東)郷右近―岩淵

(明)橋本・河野―佐野

☆本塁打 山下(明)

☆二塁打 橋本(明)

◎10月25日 越谷市民球場

嘉悦	0	0	0	0	0	0	0
獨協	1	2	2	0	1	2	x
							8

(嘉)諸橋・中村―丸山

(獨)清野―藤田

☆三塁打 藤田(獨)

◎10月31日 千間台第4公園野球場

武蔵	0	0	0	0	2	0	0	5
創価	0	0	2	1	0	0	0	0
								3

(時間制限によって8回コールド)

(武)渋井―古屋

(創)静岡・山本―三上

☆二塁打 浜津・大鐘(創)

◎10月31日 越谷市立大杉公園野球場

東京理科大	0	0	0	0	0	0	1
大東文化大	0	0	0	0	3	0	0
							3

(時間制限によって7回コールド)

(理)幸地・北野・峯田―工藤・大塚

(大)林・上村―仲川

☆二塁打 神津(理)、柳・仲田(大)

二回戦

◎10月31日 千間台第4公園野球場

武蔵	0	0	0	0	0	0	0	0
獨協	2	0	1	1	1	2	0	0
								x
								7

(武)荒井・成瀬―古屋

(獨)清野―藤田

☆本塁打 須合(獨)

☆二塁打 山崎・高橋・峯崎(獨)

◎10月31日 越谷市立大杉公園野球場

大東文化大	0	0	0	1	0	0	0	0	1
明星	0	0	0	0	0	0	0	0	0
									0

(時間制限によって8回コールド)

(大)小柳―仲川

(明)河野・加瀬―佐野

☆二塁打 大久保・倉持(大)、岩本(明)

決勝戦

◎11月22日 千年谷公園野球場

大東文化大	0	0	2	9	2	3	0	0	0
獨協	0	0	0	0	0	0	1	0	4
									5
									16

(大)大野―中道

(獨)清野・関井・清野―佐藤・藤田

☆本塁打 中道(大)、布施・須合・清野・千葉(獨)

☆二塁打 大野・金枝(大)



# 東都大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

首都大学軟式野球連盟 秋季大会総括コメント

首都大学軟式野球連盟 委員長

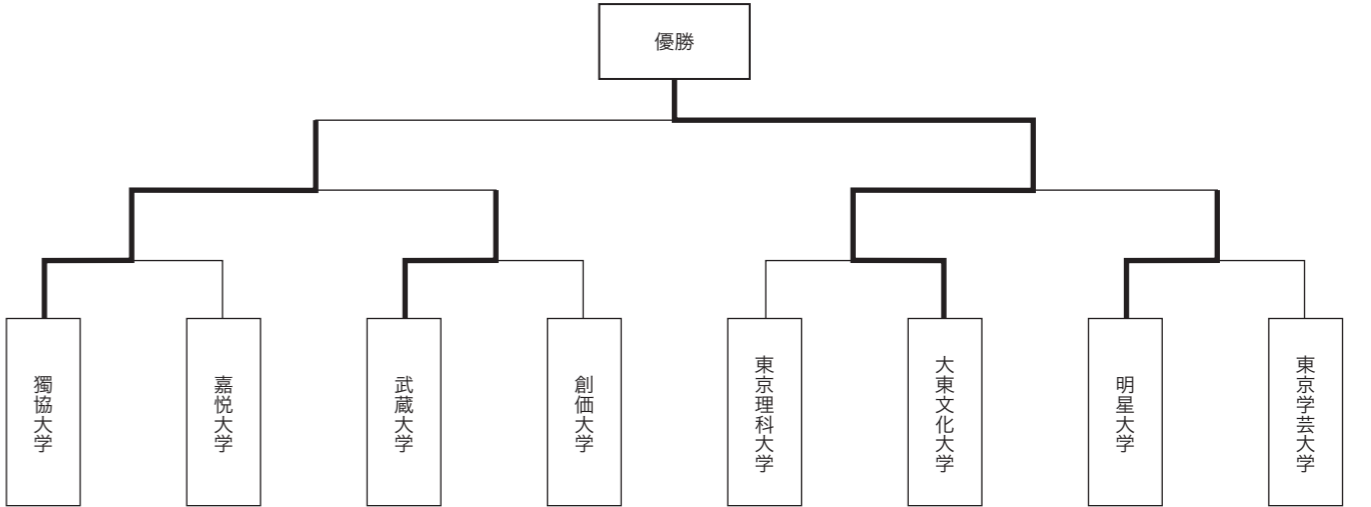
山崎佑太

今年度の秋季リーグ戦は、新型コロナウイルス感染症の影響で、一部二部リーグ合同のトーナメント方式を執りました。例年と比べ試合数は減る形となりましたが、その中でも見どころのある試合が繰り広げられました。

一回戦では二部リーグの東京理科大学や嘉悦大学、創価大学が一部リーグの大学と対戦しました。いずれも敗戦という形にはなりませんが、両チームから長打が飛び出すなど、二部リーグのレベルも年々上がっていることが感じられました。特に、東京理科大学は大東文化大学相手に善戦し、大東文化大学の強力打線を三点に抑えました。また、常勝・東京学芸大学が明星大学と対戦し、投手戦の末四対二で明星大学が勝利しました。明星大学は投打がうまく噛み合い、試合の主導権を握っていたと感じました。

二回戦では二試合とも投手戦となりましたが、獨協大学、大東文化大学が粘り勝ちを見せ、関東独自大会への切符を手に入れました。獨協大学と対戦した武蔵大学も、少人数ながら団結力があり、点を貪欲に取りに行く姿勢が素晴らしかったです。獨協大学は投手を中心に守備で流れを掴み、そこから得点を繋げていきました。大東文化大学はエース小柳が力投を見せ、明星大学の強力打線を完封し、打線もそれに応える形で得点を挙げ、勝利となりました。

最後になりますが、本年秋季リーグ戦に携わっていただいた全ての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



◎ 9月14日 横山公園野球場

東京経済大学	0	3	0	1	0	1	0	3
青山学院大学	0	0	1	0	0	1	0	0
<hr/>								
	2		8					

(東経)藤原・山田・中澤  
(青学)曾根・渡部・鈴木  
☆本塁打 伊奈(東経)

◎ 9月28日 町田市民球場

青山学院大学	0	0	0	0	0	0	0	0
日本体育大学	1	0	0	0	0	0	4	0
<hr/>								
	5		0					

(青学)森田・曾根・渡部・鈴木  
(日体)石渡・大塚・川内・島田

◎ 9月30日 町田市民球場

東京経済大学	0	0	1	1	0	0	0	2	0
二松学舎大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<hr/>									
	0		4						0

(東経)藤原(凌)・藤原(守)・中澤・市瀬  
(二松)内山・曾我・福田・中村  
☆三塁打 江口(東経)  
☆二塁打 大沼(東経)

◎ 10月12日 町田市民球場

二松学舎大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0
日本体育大学	2	0	0	1	0	0	1	2	x
<hr/>									
	6						1		

(二松)福田・内山・曾我・鈴木・中村  
(日体)大塚・波田・奥村・東・島田

◎ 10月14日 町田市民球場

東京経済大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0
日本体育大学	0	0	1	0	1	1	0	0	x
<hr/>									
	3							1	

(東経)中澤・藤原・市瀬  
(日体)川内・島田  
☆本塁打 山田(日体)

☆二塁打 新井・市瀬(東経)島田(日体)

◎ 10月16日 町田市民球場

二松学舎大学	0	0	2	0	0	0	0	0	0
青山学院大学	0	0	0	1	0	0	0	1	0
<hr/>									
	1		x					3	2

(二松)石井・内山・中村  
(青学)渡部・曾根・鈴木  
☆二塁打 佐藤・福田(二松)武田(青学)

◎ 10月21日 町田市民球場

国士館大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
東京経済大学	0	0	3	0	1	0	0	0	0	x
<hr/>										
	4									1

(国士)伊藤・白樫・片桐・大石  
(東経)中澤・山田・市瀬  
☆二塁打 江口(東経)

◎ 10月27日 横山公園球場

国士館大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青山学院大学	0	0	4	3	0	0	0	0	0	x
<hr/>										
	7									1

(国士)伊藤・石川・吉田・大石・櫛  
(青学)曾根・鈴木  
☆三塁打 曾根(青学)

☆二塁打 武田・曾根・難波・森田・多田(青学)

◎ 11月2日 町田市民球場

国士館大学	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0
二松学舎大学	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
<hr/>										
	5									9

(国士)吉田・大石  
(二松)内山・佐藤・鈴木・升成・馬屋原・中村  
☆三塁打 伊藤(国士)  
☆二塁打 大石・甲矢(国士)佐藤(二松)

◎ 11月4日 町田市民球場

国士館大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
日本体育大学	1	1	2	1	1	0	6	0	x	
<hr/>										
	12									1

(国士)伊藤・吉田・櫛  
(日体)大塚・奥村・川内・島田  
☆二塁打 山室(日体)

# 北関東大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

東都大学軟式野球連盟秋季大会表彰選手

最優秀選手	大塚倭(日本体育大学)
優秀選手	曾根大和(青山学院大学)
首位打者	江口俊介(東京経済大学)
本塁打王	山田杏太(日本体育大学)
打点王	市瀬義己(東京経済大学)
盗塁王	米田涉悟(日本体育大学)
最優秀防壁率	大塚倭(日本体育大学)
最多勝	川内雅樹(日本体育大学)
最多奪三振	曾根大和(青山学院大学)
ベストナイン	曾根大和(青山学院大学) 島田侑弥(日本体育大学) 大石知也(国士館大学) 岩永進太郎(日本体育大学) 米田涉悟(日本体育大学) 福田汰成(二松学舎大学) 飯島圭汰(日本体育大学) 武田直人(青山学院大学) 江口俊介(東京経済大学)

東都大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント

東都大学軟式野球連盟 委員長

柳澤 龍

今回のリーグ戦は優勝が日本体育大学、準優勝が東京経済大学となりました。上位大会がコロナの影響もあり、関東大会の開催になりましたが、日本体育大学、東京経済大学に加えて、青山学院大学も東都代表として出場しました。日本体育大学は関東大会で優勝することができ、十分に力を発揮できていたと思います。

今大会は、接戦となる試合が多く、各チームの投手力、守備力が向上したと考えました。各チーム、一試合ごとに先発投手を変更し、継投していくという傾向がみられました。対戦相手ごとに、分析し試合展開を考え起用して、リーグ戦を戦い抜きました。

コロナの影響で、リーグ戦の日程を少し変更したりすることもありましたが、連盟委員を中心に、日程をうまく進めることができましたのは、良かった点であります。また、東都連盟からは、コロナの感染者が出なかったことは、東都のガイドラインや連盟委員の努力、選手の協力があったこそその結果だと思えます。来年度も臨機応変に対応し、東都を活発にできるように取り組んでもらいたいと思っております。

●秋季リーグ●

順位	大学名	日本体育大学	東京経済大学	青山学院大学	国士館大学	二松学舎大学	勝	負	分	勝点
1	日本体育大学		○	○	○	○	4	0	0	12
2	東京経済大学	●		○	○	○	3	1	0	10
3	青山学院大学	●	●		○	○	2	2	0	8
4	国士館大学	●	●	●		○	1	3	0	6
5	二松学舎大学	●	●	●	●		0	4	0	4

◎ 9月19日 野木町運動公園野球場A

筑波大学	000000010
帝京大学宇都宮	204000000x
白鷲	202004x8

- (筑)鈴木・紀平・高田
- (帝)小林・関・鹿毛・高橋(亮)
- ☆本塁打 島海(帝)
- ☆二塁打 鹿毛(帝)

茨城キリスト教大学 00000000

- (茨)井坂・稲葉・木村・飛田
- (白)湯澤―上野・清水
- ☆二塁打 黒澤(茨キ)・柴田(白)

茨城大学	100000104
上武大学	000201101
白鷲	202004x8

- (茨)安良岡・大向―熊田・高橋
- (上)渡邊―石間
- ☆二塁打 奥山・村井(上)

◎ 9月22日 栃木県営B球場

作新学院大学	2500011
上武大学	0010000
(作)上野・小堀・星	1

- (上)清水・藤田―石間
- ☆二塁打 中田・長沼・川子(作)

茨城大学	001500000
帝京大学宇都宮	000000000
(茨)龍頭・酒井・大向―高橋	0

- (帝)関・鹿毛―高橋(亮)・島海
- ☆三塁打 松本(茨)
- ☆二塁打 吉田(茨)

◎ 10月3日 栃木県営C球場

白鷲	0021000414
上武大学	100001020
(白)湯澤・高久―上野・川原	4

- (上)藤田・渡邊―石間
- ☆本塁打 奥山(上)

茨城キリスト教大学 001003

- (茨)黒澤・澤島・川名・古川―飛田・荒川
- (帝)関・島海―島海・高橋(亮)
- ☆三塁打 川名(茨キ)・鹿毛(帝)
- ☆二塁打 鹿毛(帝)・澤島(茨キ)

作新学院大学	111101100
筑波大学	100000000
(作)上野・星	1

- (筑)高上・紀平―高田
- ☆三塁打 大塚(筑)・上野(作)

◎ 10月17日 栃木県営C球場

茨城大学	101000015
茨城キリスト教大学	012001003
(茨)龍頭・大向―高橋	7

- (茨)井坂・稲葉・木村・飛田
- ☆三塁打 小林(茨)
- ☆二塁打 小泉・龍頭(茨)・川名・飛田・黒澤(茨キ)

◎ 10月24日 栃木県営B球場	
作新学院大学	100010033
茨城キリスト教大学	000000100
(作)小堀・上野・星	1

- (茨)木村・稲葉・黒澤―荒川・飛田

☆本塁打 川子(作)

☆二塁打 飛田・稲葉(茨キ)・小堀(作)

上武大学	000000200
帝京大学宇都宮	000000000
(上)藤田・渡邊―杉原	0

- (帝)関・鹿毛・関・岩下―島海
- ☆二塁打 石間・岩本(上)

白鷲	31000101
茨城大学	00000003
(白)湯澤・高久―上野	6

- (白)高久・安田―川原・上野
- (茨)安良岡・大向―高橋
- ☆本塁打 高橋(茨)
- ☆二塁打 柴田(白)

◎ 10月31日 栃木県営B球場

作新学院大学	000100000
白鷲	00001010x
(白)湯澤・相田・高久―川原・上野	2

- (作)上野・星
- ☆本塁打 中田(作)
- ☆二塁打 神成(作)

筑波大学	00000020
茨城大学	000000101
(筑)紀平・高上―高田	2

- (茨)安良岡・大向―高橋
- ☆本塁打 小泉(茨)
- ☆二塁打 大塚・高上(筑)

# 東関東大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

茨城キリスト教大学	0	0	0	0	0	0
上武大学	0	2	5	0	0	1
×	8					

(茨) 井坂・稲葉―荒川  
(上) 藤田・橋本―杉原・石間  
☆二塁打 川名(茨)・石間(上)

◎11月7日 野木町運動公園野球場A	作新学院大学	0	0	0	1	0	0	0	0
茨城大学	0	0	1	0	0	0	0	0	6
×	7								

(作) 小堀―星  
(茨) 安良岡―高橋  
☆本塁打 長沼(作)  
☆二塁打 小泉(茨)

白鷗大学	0	1	0	1	0	0	0	2
帝京大学宇都宮	0	0	0	0	0	1	0	2
×	3							

(白) 安田・高久・湯澤―川原・飯島  
(帝) 関・小林・関―鳥海  
☆三塁打 長峰(白)  
☆二塁打 浅宮(帝)・川原・長谷川・長峰・柳沼(白)

◎11月14日 栃木県営B球場	筑波大学	1	0	2	1	0	0	0	0
白鷗大学	0	3	0	2	0	1	1	0	×
×	7								

(筑) 紀平・高上―高田  
(白) 湯澤・高久―川原  
☆本塁打 柴田(白)  
☆二塁打 今村・武島(筑)・柳沼・長峰(白)

帝京大学宇都宮	0	0	0	0	0	0	0	0
作新学院大学	2	0	0	0	1	0	0	1
×	4							

(帝) 関・小林・福田―鳥海  
(作) 上野―星  
☆本塁打 中田(作)

北関東大学軟式野球連盟秋季大会表彰選手

最優秀選手	長峰 悠真(白鷗大学)	○・五〇〇
首位打者	長峰 悠真(白鷗大学)	○・五〇〇
本塁打王	中田 光之介(作新学院大学)	二本
打点王	中田 光之介(作新学院大学)	一〇点
盗塁王	大川原 光将(白鷗大学)	七個
神成 汰星(作新学院大学)		七個
最優秀防御率	上野 郁也(作新学院大学)	○・五二
最多奪三振	上野 郁也(作新学院大学)	三三

投手	上野 郁也(作新学院大学)
捕手	鳥海 遥希(帝京大学宇都宮)
一塁手	小泉 遼介(茨城大学)
二塁手	大塚 亮治(筑波大学)
三塁手	清水 優斗(白鷗大学)
遊撃手	鹿毛 鷹之慎(帝京大学宇都宮)
外野手	長峰 悠真(白鷗大学) 龍頭 宝生(茨城大学) 中田 光之介(作新学院大学)

北関東大学軟式野球連盟 秋季大会総括コメント  
北関東大学軟式野球連盟 学生委員長 本間 一輝  
今年、北関東大学軟式野球連盟は通常、春と秋に二部制リーグ戦を行なっています。今年は緊急事態宣言の発令などもあり実施できず、秋は参加可能だった七大学での一部二部合同リーグ戦を行いました。

北関東大学軟式野球連盟 委員長 正岡 翔哉  
今年、北関東大学軟式野球連盟は通常、春と秋に二部制リーグ戦を行なっています。今年は緊急事態宣言の発令などもあり実施できず、秋は参加可能だった七大学での一部二部合同リーグ戦を行いました。

この状態がいつまで続くのか、まだ先が見えません。一刻も早くウイルスによる影響が収まり、今回参加できなかった大学も合わせて、リーグ戦が行えることを願っています。

◎10月8日 城西国際大学観光学部総合グラウンド	城西国際大学観光学部	0	0	0	0	0	0	2
城西国際大学	1	0	0	0	1	0	0	1
×	1							

(観) 井上・菅―久保田(虎)―山内  
(武) 山田―川村  
☆二塁打 窪田(観)

◎10月24日 旭スポーツの森公園野球場	城西国際大学観光学部	0	0	3	1	2	0	2
城西国際大学	1	0	0	0	1	0	0	2
×	2							

(観) 井上・菅―山内  
(城) 山口・濱辺・長野―神山  
☆三塁打 福田(城)  
☆二塁打 岩佐(観)・杉山・山口(城)

◎10月25日 城西国際大学観光学部総合グラウンド	杏林大学	0	0	1	1	0	0	1	0
日本大学経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
×	0								

(杏) 松井―今後  
(日) 積田・齋藤―原  
☆本塁打 久保(杏)  
☆三塁打 金子(日)  
☆二塁打 宮岡(杏)

帝京大学	0	0	0	0	4	0	0	0	4
日本大学理工学部	0	0	0	0	1	0	0	0	0
×	1								

(帝) 小島・相澤―井上  
(理) 長久保・笹尾―楠沼  
☆二塁打 金田(理)

杏林大学	0	0	0	0	0	1	0	1
帝京大学	3	0	1	1	0	0	×	6
×	6							

(杏) 今後・山田―藤本  
(帝) 橋本・櫻井・橋本・相澤―石川・富永  
☆三塁打 磯香・竹内・石川・金尾・佐々木(帝)  
☆二塁打 堀田(帝)

◎10月31日 旭スポーツの森公園野球場	城西国際大学観光学部	1	0	0	0	3	0	0	1	5
帝京大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
×	1									

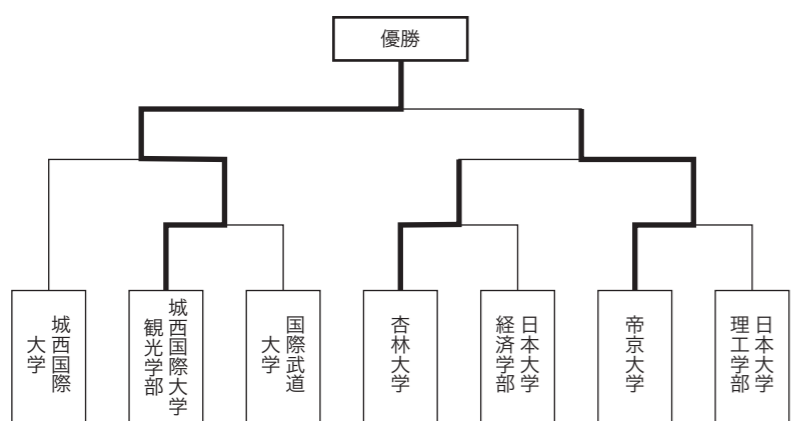
(観) 井上・久保田(虎)―山内  
(帝) 橋本・小島・相澤・櫻井―石川・井上  
☆二塁打 山内(観)・佐々木(帝)

東関東大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント  
東関東大学軟式野球連盟 委員長 正岡 翔哉

まず、このような状況の中で大会開催に携わってくださった方々に感謝しなければならぬと思う。しかしながら、今大会が最後の公式戦になる選手が大勢いた中で試合前に整列して相手校と挨拶もできず、日ごろから支えてくださったという方々に試合を観てもらうこともできなかった。それでも、連盟委員や選手たちは試合会場へ入場前の検温や消毒など徹底した感染症対策を行っていたと思う。そして、無事に大会を終えることができたことは今後の活動にもつながると感じた。今大会はこれまでとは全く違う雰囲気の中では

●秋季リーグ●												
順位	大学名	白鷗大学	茨城大学	作新学院大学	筑波大学	帝京大学宇都宮	上武大学	茨城キリスト教大学	勝	負	分	勝点
1	白鷗大学	○	○	○	○	○	○	○	6	0	0	18
2	茨城大学	●	○	○	△	○	○	○	4	1	1	13
3	作新学院大学	●	●	○	○	○	○	○	4	2	0	12
4	筑波大学	●	△	●	○	●	□	□	2	3	1	7
5	帝京大学宇都宮	●	●	●	○	○	●	○	2	4	0	6
6	上武大学	●	●	●	■	○	○	○	2	4	0	6
7	茨城キリスト教大学	●	●	●	■	●	●	○	0	6	0	0

5位帝京大学宇都宮と6位上武大学は勝ち点が並んだため、得失点差で順位付け  
帝京大学宇都宮：得失点差3、上武大学：得失点差-16



# 東京新大学軟式野球連盟

## 令和2年度 秋季大会成績

◎ 11月1日 大宮けんぼグラウンド

駒澤大学	102	000	211	
國學院大学	000	000	000	0
(駒)加藤   佐野				7
(國)中村   小池				
☆本塁打 濫川?・金子(駒)				
☆二塁打 河野(國)				
東京理科大学	000	010	000	1
専修大学	110	002	04	8
(理)小島   濱中				
(専)上之園   後藤				
☆本塁打 清水(理)・上之園(専)				
☆三塁打 井上(専)				
☆二塁打 阿部・廣江(理)				
上之園・後藤・小坂・馬瀬(専)				

東京新大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント

高松 純貴  
東京新大学軟式野球連盟 学生委員長

今回の秋季大会は上位大会もなく、新型コロナウイルスの影響で東洋大学と東京都立大学の二大学を除いた四大学での大会となりました。新型コロナウイルス対策を入念に行い、各大学一試合のみという形にはなりましたが、三年生にとっては最後の大会ということで、怪我人や感染者を出すことなく無事に試合をすることができたことが一番良かったと思います。ギリギリまで部活動を自粛せざるを得なかったり、常に新型コロナウイルスのことを考え、例年通りの日程を消化することができず不本意な一年間でしたが、各大学の連盟委員や主将の方々の協力のおかげで、連盟内で新型コロナウイルスの感染者を出すことなくこの激動の一年間を送ることができました。我々は春も秋も全日本も納得のいく形はとれませんが、二〇二一年は何事もなく無事に一年間の日程を消化できることを願っています。

# 南関東大学軟式野球連盟

## 令和2年度 秋季大会成績

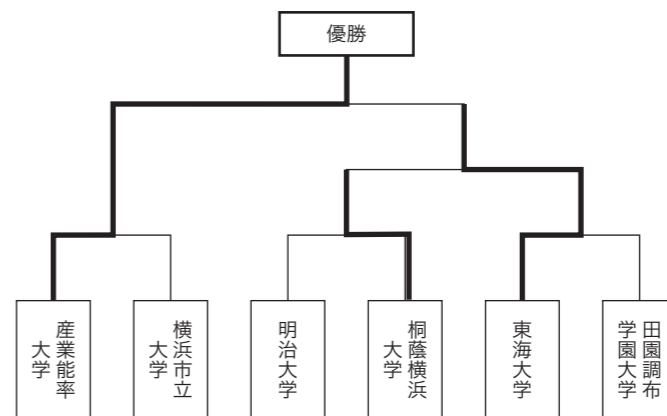
◎ 10月27日 中栄信金スタジアム秦野

東海大学	100	104	5	
田園調布学園大学	000	000	1	11
(東)大浦・山崎・矢野   金子				
(田)三川・木下   唐沢・大塚				
(☆)二塁打 天野?・赤地・金子・鈴木(東)				
明治大学	000	000	000	0
桐蔭横浜大学	010	000	00x	1
(明)長谷川   大塚				
(桐)関澤   小林(樹)				
☆二塁打 窪田(桐)				
◎ 10月29日 中栄信金スタジアム秦野				
東海大学	010	100	000	2
桐蔭横浜大学	000	000	000	0
(東)長谷川   金子				
(桐)関澤   小林(樹)				
☆二塁打 岩崎(東)				
産業能率大学	021	010	301	8
横浜市立大学	100	020	010	4
(産)古藤   諸星・小林				
(横)鈴木   清水				
☆二塁打 水嶋・小野寺(産)・佐久間(横)				
(東)矢野・山崎・森中・神倉   金子・荒井				
☆二塁打 小野寺?・田代(産)・長谷川(東)				

南関東大学軟式野球連盟 秋季大会総括コメント

伊藤雄一朗  
南関東大学軟式野球連盟 学生委員長

今回の大会は、コロナの影響で参加校数が根本的に少なかった。例年と比べると、チームの完成度も低かった。関東大会のための代表選出に無理に大会を行った側面が強くり、リーグ戦ではなく、トーナメント形式での代表選出となっていました。優勝は産業能率大学、準優勝は東海大学となりました。本来であれば、二部のチームである産業能率大学だが攻守のバランスに優れており総合力が高かった。また、東海大学、桐蔭横浜大学、明治大学は投手力に優れておりロースコアの試合が展開された。練習ができないながらも、軟式野球らしいハイレベルな試合が展開された。



# 長野県大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

◎ 9月16日 信州大学教養グラウンド  
諏訪東京理科大学 000000  
松本大学 4080x  
12

(諏)本間・浦田―竹前・稲垣  
(松)加瀬・木下―瀧田  
☆本塁打 赤羽(松)  
☆二塁打 矢嶋2(松)

信州大学松本 101010003  
信州大学長野 000201003  
(時間規定により7回終了)

(信松)田村・斉藤―情野  
(信長)宮脇・北条―藤本・関  
☆本塁打 藤山(信長)

◎ 9月19日 信州大学教養グラウンド  
松本大学 260000008  
信州大学長野 000000000

(松)須藤・加瀬―瀧田  
(信長)前原・小幡・藤本―関  
☆二塁打 山口(松)

長野大学 000000001  
諏訪東京理科大学 300000005x  
8

(長)関川・浦山・伊藤・関川―大瀧  
(諏)浦田―稲垣  
☆三塁打 渡辺(諏)  
☆二塁打 大瀧(長)

◎ 9月21日 信州新町運動場  
長野大学 0001000001  
信州大学長野 230000201x  
8

(長)浦山・日達・伊藤・関川―大瀧

(信長)宮脇・北条―川上  
☆二塁打 杉(信長)

松本大学 000020013  
信州大学松本 010100002

(松)立木・加瀬―瀧田  
(信松)田村・遠藤―情野  
☆二塁打 立木・矢嶋(松)

(時間規定のため7回終了)

◎ 9月23日 松本内田運動公園グラウンド  
信州大学松本 015102009  
諏訪東京理科大学 000000000

(信松)岡田逸・加藤・福田・遠藤―情野・大見  
(諏)本間・高野・竹前―関小田  
☆三塁打 川上(信松)  
☆二塁打 情野・加藤(信松)・恩田(諏)

長野大学 1000000001  
松本大学 10000012x  
4

(長)関川―両角  
(松)藤本・須藤・加瀬―瀧田  
☆二塁打 山口・瀧田・矢嶋(松)

(時間規定により8回終了)

長野保健医療大学 002322009  
信州大学長野 000020013

(医)松橋龍・松橋拓―小島  
(信長)宮脇・前原・小幡・北条―川上  
☆二塁打 徳竹2・内山・小島・千國(医)  
降旗(信長)

松本大学 00100000001  
信州大学松本 001000001x  
2

(松)須藤・加瀬―瀧田  
(信松)田村・遠藤―情野  
☆本塁打 岡田(信松)  
☆二塁打 立木(松)

関・中村浩(信長)

◎ 10月3日 信州大学教養グラウンド  
信州大学長野 00001000012  
信州大学松本 00000002003x  
5

(信長)宮脇・藤本・北条―関・川上  
(信松)田村・福田・遠藤―情野  
☆三塁打 岡田(信松)  
☆二塁打 川上(信松)

# 関東新大学軟式野球連盟

関東新大学軟式野球連盟総括コメント  
連盟委員長 佐藤 拓未

関東新大学軟式野球連盟は、今年コロナの影響でリーグ戦や大会は行えていません。今年度のリーグ戦や大会を円滑に進めるため前年度委員長にも協力してもらい引き継ぎを抜かりなく行うことで支障が出ないようサポートしていきたい。また、昨年度のチームは、悔しくも試合を行えずに引退となってしまったため、緊急事態宣言終了後に日程を調節して引退試合の開催を予定している。

# 新潟地区大学軟式野球連盟

新潟地区大学軟式野球連盟総括コメント  
学生委員 平澤 文

新潟地区大学軟式野球連盟は、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、全日本大会が中止になったことに伴い、新潟地区でも例年行われている春季・秋季リーグ戦は中止となりました。

選手たちの野球がやりたいという思いのもと、リーグ戦を開くために念入りな話し合いを続けていきましたが、最終的には大学からの活動停止の指示などを受けたチームが多く、参加できるチームが少ないこと、加えてすぐに感染対策の取れる試合環境を用意できないことなどを根拠に、リーグ戦を行わないという結論に至りました。

その後、選手たちの希望により、新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインを作成し、感染対策を講じたうえで、新潟地区のみで行う独自大会を実施しました。感染症流行の中、ほとんどの活動が出来なかった今年度ですが、全ての大会は揃わなかったものの、最後にこうして一つの大会を開けたことは大変嬉しく思います。

ただ、他地区では隣の地区などとも合同で大会を開いた例があることを聞き、更なる活動の広がりを望めたのではないかと、という意見も出ました。この反省は来年度に活かし、他地区との交流も増やし、更に活動の幅を広げていくことに努力していく所存です。

# 北陸地区大学軟式野球連盟

長野県大学軟式野球連盟 秋季大会表彰選手

長野県大学軟式野球連盟 秋季大会総括コメント

最優秀選手 加瀬 弘和(松本大学) 長野県大学軟式野球連盟 連盟委員長 渡邊 響  
 首位打者 矢嶋 太一(松本大学) 五三八  
 本塁打王 藤山 裕太(信州大学長野) 一本  
 打点王 矢嶋 太一(松本大学) 一〇打点  
 盗塁王 岡田 一輝(信州大学松本) 六個  
 最優秀防御率 加瀬 弘和(松本大学) 〇・〇〇  
 最多奪三振 宮脇 陸(信州大学長野) 一四個  
 ベストナイン  
 投手 加瀬弘和(松本大学)  
 捕手 情野 敦(信州大学松本)  
 一塁手 竹鼻 蒼太(諏訪東京理科大学)  
 二塁手 中村 駿仁(信州大学長野)  
 三塁手 矢嶋 太一(松本大学)  
 遊撃手 岡田 一輝(信州大学松本)  
 外野手 立木 英翔(松本大学)  
 藤山 裕太(信州大学長野)  
 渡邊 史哉(諏訪東京理科大学)

新型コロナウイルスの影響により春季大会を行えずに秋季大会に入った。大会直前に第二波が直撃したことから予定していた日程通りに進行できず、一週間ほど延期して行われた大会であった。当連盟では感染対策マニュアルを選手、審判の方々に配布して遵守していただいた。それに加え健康チェックシートを各大学の参加者全員と審判の方々に毎試合ごとに提出していただき運営の方で二週間管理を行った。明確な効果というものは出たのかは不透明ではあるが、感染対策を行って引き締めて大会を行うことが出来たため仮に次大会以降もコロナの影響があるのであれば、継続して行いたいと思った。

大会については、各大学が春季リーグを行えなかった悔しさをぶつけて全力でプレーを行っていた。しかし、人数が足りずに不戦試合が多くあったためそれをなくすことが当連盟の一番の課題である。やはり、試合数が平等にならずにあらゆる点で混乱してしまうため徹底して改善しようと考えた。また、昨年の大会の反省を踏まえてルール改正を行ったが結果的に一定の効果がみられたため継続して行いたいと思った。

コロナ禍の中で、無事に秋季大会が行えたことに関して大会関係者の方々には感謝の思いでいっぱいです。心より御礼申し上げます。

## 北陸地区連盟総括コメント

北陸地区大学軟式野球連盟 委員長

坪根昂二郎

春季においてはほとんどの大学が大学の方から課外活動禁止とされそれを考慮し連盟内で話し合った結果、公式大会を開催するのは困難と判断して公式戦を行うことができなかった。秋季においてもやはり大学の方から課外活動禁止とされた大学が多く公式戦を行うことができなかった。今年度はコロナウイルスで公式戦はできなかったものの大学によっては県内の大学のみ可能となっている大学もあったので順位を確定することはできないにしろもう少し試合の方針を変え開催できる余地があったのではないかと思った。

●秋季リーグ●											
順位	大学名	松本大学	信州大学松本	信州大学長野	長野保健医療大学	長野大学	諏訪東京理科大学	勝	負	分	勝点
1	松本大学	○	○	○	○	○	○	5	0	0	15
2	信州大学松本	●	△	○	□	□	○	3	1	1	10
3	信州大学長野	●	△	●	○	○	□	2	2	1	7
4	長野保健医療大学	■	■	○	■	■	□	2	3	0	6
5	長野大学	●	■	●	□	●	●	1	4	0	3
6	諏訪東京理科大学	●	●	■	■	○	○	1	4	0	3

「プレーオフ」信州大学松本 ○5×-4● 信州大学長野

信州大学松本 ○2-1● 松本大学

# 東海学生軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

◎ 9月22日 三好公園野球場  
 岐阜聖徳学園大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

名 城 大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

◎ 9月24日 春日井市民球場  
 岐阜聖徳学園大 0 0 0 0 0 0 0 1 7  
 名城大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (8回コールド)

(聖)久田・佐藤・鈴木・有田・井戸田  
 (城)櫻井・阪倉・小川・中西・尾河

◎ 9月28日 春日井市民球場  
 中京学院大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 岐阜聖徳学園大 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0  
 1 2

(中)野村・本山・三浦  
 (聖)佐藤・横山・井戸田

◎ 9月28日 春日井市民球場  
 中京学院大 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 岐阜聖徳学園大 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0  
 1 2

(中)野村・本山・三浦  
 (聖)佐藤・横山・井戸田

◎ 9月30日 春日井市民球場  
 名古屋学院大 0 0 1 1 0 0 0 0 0  
 東海学園大 2 0 0 2 1 2 1 0 0  
 (名学)早瀬・坪井・前田

(東)柴田・二村・奥井・尾崎・手島・大北  
 ☆三塁打 坪井・加藤(名学)  
 尾藤・二村・吉元(東)

◎ 9月30日 春日井市民球場  
 中京学院大 0 0 0 0 1 2 1 0 0 0  
 東海学園大 3 0 0 1 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 1x 5 4

(中)本山・野村・三浦  
 (東)二村・奥井・尾崎・大北  
 ☆二塁打 先山(中)・二村・手島(東)

◎ 10月2日 春日井市民球場  
 名城大 0 0 0 0 0 0  
 中京学院大 0 7 3 2 x  
 12 0  
 (5回コールド)

(城)櫻井・内藤・阪倉・尾河  
 (中)本山・三浦

◎ 10月2日 春日井市民球場  
 名城大 0 0 0 0 0 0  
 中京学院大 0 7 3 2 x  
 12 0  
 (5回コールド)

(城)櫻井・内藤・阪倉・尾河  
 (中)本山・三浦

◎ 10月3日 岐阜聖徳学園大学高桑グラウンド  
 岐阜聖徳学園大 0 0 0 0 0 0 0 3 0 0  
 名古屋大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (聖)久田・鈴木・横山・田平・土屋・有田  
 (名大)庄部・杉山  
 ☆本塁打 岩崎(聖)  
 ☆二塁打 岩崎(聖)

◎ 10月6日 三好公園野球場  
 中京学院大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋大 棄権)

◎ 10月14日 三好公園野球場  
 中京学院大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

◎ 10月14日 三好公園野球場  
 中京学院大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

◎ 10月14日 三好公園野球場  
 中京学院大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

◎ 10月14日 三好公園野球場  
 中京学院大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

◎ 10月14日 三好公園野球場  
 中京学院大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

◎ 10月14日 三好公園野球場  
 中京学院大 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 名古屋学院大 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (名古屋学院大 棄権)

## 東海学生軟式野球連盟 秋季大会表彰選手

- 最優秀選手 矢口大成(中京学院大学)
- 首位打者 矢口大成(中京学院大学) ○・五五六
- 本塁打王 鶴飼智哉(東海学園大学) 一本
- 打点王 今井周平(東海学園大学) 七点
- 盗塁王 矢口大成(中京学院大学) 五個
- 最優秀防御率 尾崎将英(東海学園大学) 一・九二
- 最多奪三振 尾崎将英(東海学園大学) 一九個
- ベストナイン
  - 投手 尾崎将英(東海学園大学)
  - 捕手 三浦陸(中京学院大学)
  - 一塁手 今井周平(東海学園大学)
  - 二塁手 鶴飼智哉(東海学園大学)
  - 三塁手 二村太基(東海学園大学)
  - 遊撃手 矢口大成(中京学院大学)
  - 外野手 甲村祐弥(名城大学)
  - 岩崎蒼大(岐阜聖徳学園大学)
  - 有田海人(岐阜聖徳学園大学)

## 東海学生軟式野球連盟秋季大会総括コメント

東海学生軟式野球連盟 連盟委員長 池田 拓人  
 本年度は、新型コロナウイルスが蔓延する中でリーグ戦を行う特別な大会となりました。選手、観客の皆様にも十分な感染対策にご理解いただき大きな問題もなくリーグ戦を終えることができました。一方、試合の方は各学校の方針により参加することができない大学もありましたが、春季のリーグ戦が中止になってしまった分、熱い展開となる試合が多く見ごたえのある試合ばかりのリーグ戦となりました。

## ●秋季リーグ●

順位	大学名	中京学院大学	岐阜聖徳学園大学	東海学園大学	名城大学	名古屋大学	名古屋学院大学	勝	負	分	得失点
1	中京学院大学	○	●	○	○	○	○	4	1	0	30
2	岐阜聖徳学園大学	●	○	○	○	○	○	4	1	0	20
3	東海学園大学	○	●	○	○	○	○	4	1	0	13
4	名城大学	●	●	●	○	○	○	2	3	0	-16
5	名古屋大学	●	●	●	●	○	○	1	4	0	-24
6	名古屋学院大学	●	●	●	●	●	○	0	5	0	-45

# 近畿学生軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

◎ 9月29日 小田南公園野球場

大阪体育大 00010001000  
神戸学院大 1000000200x  
(体)吉川・中野・大地―岡本・後藤  
☆二塁打 児島・吉田(体)

(神院)山本・春名―外尾  
☆二塁打 丸茂(阪)・沖田・泉・窪崎(成)

大阪 大 00000000  
大阪成蹊大 1200211x  
(阪)永井・内田―鈴木  
(成)泉―窪崎

◎ 10月7日 小田南公園野球場

大阪工業大 000000  
神戸 大 23302x  
(工)鳥塚―笠井  
(神)中村・吉永・中木・中村  
☆二塁打 嘉祥寺(神)

神戸医療福祉大 001500010  
兵庫県立大 000301000  
(神福)本井・西村―吉澤・本井  
(兵)林・鎌田―田中  
☆本塁打 本井・田中(神福)  
☆二塁打 深水・田中(大)(神福)

内田・鎌田・塩川(兵)

◎ 10月15日 伊丹スポーツセンター

奈良 大 000001110  
神戸医療福祉大 11110013x  
(奈)中島―井上  
(神福)西村・灰原・本井―本井・吉澤

可能だった。この結果から、ゆとりをもった試合日程を組むべきだと思った。  
今回のコロナ禍での経験を、近畿連盟の今後につなげていきたいと思った。

近畿学生軟式野球連盟秋季大会総括コメント  
近畿学生軟式野球連盟 学生委員長 坊農直紀

新型コロナウイルスの影響や、それに伴う所属大学の課外活動の停止で春季大会を開催することができなかった。このことを踏まえ、秋季大会は本年度で引退をする選手の為に開催しようと考え、形式を総当たりからトーナメント方式に切り替え、できるだけ多くの大学が参加できるように開催期間をギリギリまで伸ばして対応した。結果的に九校の参加となりトーナメントを実施した。プレー面については、課外活動停止の影響もあり例年と比較するとプレーの質は少し落ちてしまった。エラーや四球などが多い印象を受けた。しかしながら、春季大会がなかったので野球・試合ができる喜びを噛み締めながら自分が出せる最高のプレーをしようとしていたと思う。

トーナメントの結果としては、神戸医療福祉大学が優勝、大阪成蹊大学が準優勝、神戸学院大学が三位に入り二〇二〇年一月に行われた独自大会へ出場した。

今回の良かった点は、様々な方の協力によりなんと秋季大会を開催できたことである。審判、各大学の関係者、連盟委員、理事の方など近畿連盟に関わる皆様のご協力により、秋季大会を実施するという一つの目標に一丸となって取り組めたことは良かったと思う。

ただ、トーナメント実施期間を独自大会の申し込み日ギリギリに設定したことにより、日程の余裕がもてなかった。今回は雨天順延がなかったため間に合わせる事ができたが、余裕がなかったため不測の事態が起こった際に対応することが

☆本塁打 本井(神福)

☆二塁打 井上(奈)  
藤田2本井・西村・田中(神福)

大阪成蹊大 10000002000  
神戸学院大 0001000000  
(成)泉―窪崎  
☆二塁打 岡本(成)

◎ 10月19日 伊丹スポーツセンター

神戸 大 0000001000  
神戸医療福祉大 121000000x  
(神)中村・吉永・菅―中木・中村  
(神福)本井―吉澤  
☆二塁打 田中(大)(神福)

★決勝戦

◎ 10月26日 伊丹スポーツセンター

大阪成蹊大 0001000000  
神戸医療福祉大 000120100x  
(成)泉―窪崎  
(神福)西村・灰原・本井―本井・吉澤  
☆本塁打 本井(神福)  
☆二塁打 本井・田中(神福)

◎ 10月29日 尼崎ペイコム

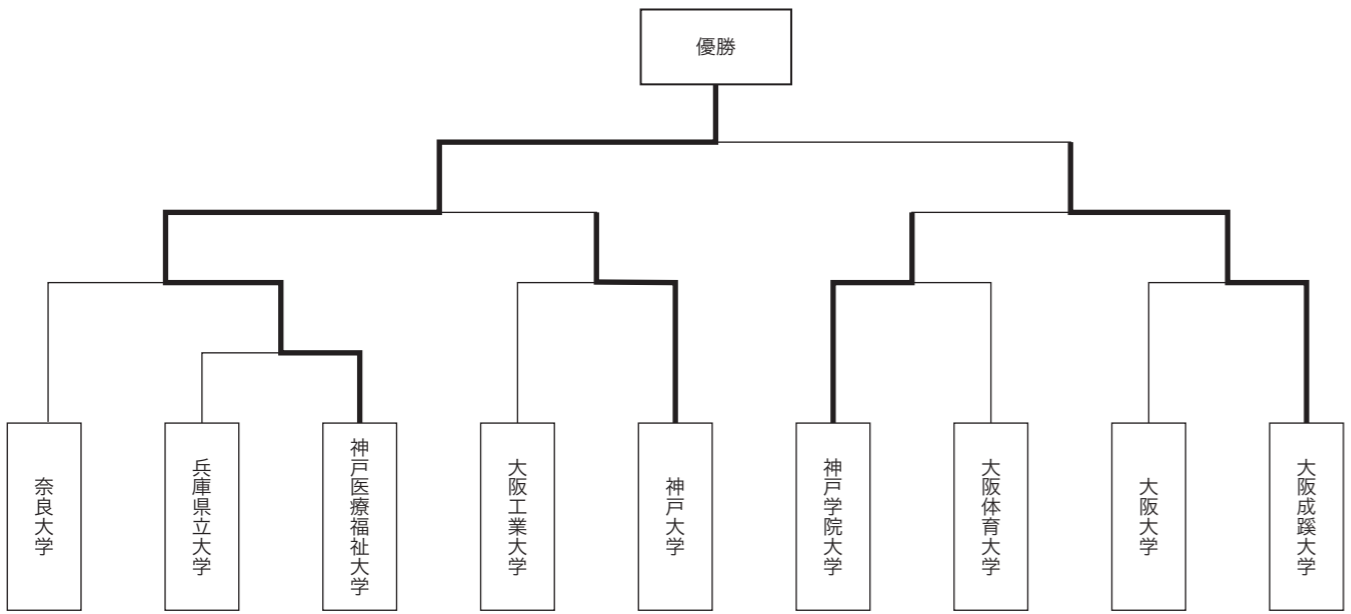
神戸 大 0001000001  
神戸学院大 0000001001  
(神)吉永・菅―中村  
(神院)山本・森―外尾  
☆二塁打 中村(神)・住野(神院)

近畿学生軟式野球連盟秋季大会表彰選手

最優秀選手 本井梢太(神戸医療福祉大学)  
首位打者 田中琉誠(神戸医療福祉大学)

本塁打王 本井梢太(神戸医療福祉大学) 三本  
打点王 本井梢太(神戸医療福祉大学) 七点  
盗塁王 沖田竜之介(大阪成蹊大学) 五個  
最優秀防衛率 泉末羽(大阪成蹊大学) 一・六六  
最多奪三振 泉末羽(大阪成蹊大学) 二・四個

ベストナイン  
投手 泉末羽(大阪成蹊大学)  
捕手 本井梢太(神戸医療福祉大学)  
一塁手 沖田竜之介(大阪成蹊大学)  
二塁手 白神樹(神戸大学)  
三塁手 田中琉誠(神戸医療福祉大学)  
遊撃手 田中大晴(神戸医療福祉大学)  
外野手 勝平駿(神戸医療福祉大学)  
梅原侑聖(大阪成蹊大学)  
見目智哉(神戸大学)





# 関西六大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

### 秋季リーグ

◎ 9月1日 豊中ロース球場

関西	大	0	1	0	0	2	0	0	0
同志社大	大	0	0	5	1	0	0	0	4x
(8回コールド)									

(関) 棚田・堀内・棚木・佐藤  
(同) 下川・宮城・木崎・星野  
☆本塁打 川邊・天内(同)  
☆三塁打 福島(関)  
☆二塁打 佐藤(関)・天内(同)

◎ 9月3日 大阪万博

関西	大	0	0	0	0	2	0	2	0
立命館大	大	0	1	5	0	0	4	x	10
(7回コールド)									

(関) 棚木・棚田・我妻・佐藤  
(立) 栗山・尾高・岩見  
☆本塁打 山下(立)  
☆二塁打 内山(立)

同志社大 1 0 0 0 0 1 4 0 0 1 7  
大阪市立大 0 0 0 0 0 1 0 0 0 1 2

(市) 横田・中西・小島・海老塚  
(同) 坂東・北澤・丸井・星野・藤原  
☆本塁打 川邊(同)  
☆二塁打 横田(市)・木崎2・天内(同)

◎ 9月4日 大阪万博

大阪市立大	大	3	0	0	2	6	2	1	14
関西	大	1	3	0	0	1	0	2	7
(7回コールド)									

(市) 中元・戎・海老塚  
(甲) 足立・宮内・上月・植田

◎ 9月28日 大阪万博

甲南	大	0	1	1	0	1	0	0	3
同志社大	大	2	0	0	0	2	2	3	1x
(8回コールド)									

(甲) 上月・植田・小柳  
(同) 坂東・東原・北澤・川端・片桐・丸井・木崎・水田  
☆二塁打 上月・松本(甲)・古川・吉田・木崎(同)

◎ 9月23日 寢屋川公園

同志社大	大	0	0	0	0	0	2	0	0	2
関西	大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(8回コールド)										

(関) 棚田・堀内・棚木・平井・佐藤  
☆本塁打 城(同)  
☆二塁打 丸井・星野・木崎(同)

◎ 10月6日 古曾部野球場

甲南	大	0	0	0	0	0	0	1	1	0
関西	大	0	0	0	2	0	1	0	0	x
(7回コールド)										

(甲) 上月・小谷・小柳  
(関) 小札・郡山・石丸・我妻・棚木・佐藤  
☆本塁打 佐藤(関)  
☆二塁打 上月・今西(甲)・棚木(関)

### 新人戦

◎ 10月14日 岡崎公園

立命館大	大	0	0	2	0	1	0	1	1	0
関西	大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(立) 唐杉・坂本・中村										

(関) 棚田・我妻・池田優  
☆二塁打 山下(立)

◎ 9月15日 豊中ロース球場

大阪市立大	大	0	0	0	0	0	2	0	0	0
同志社大	大	2	0	2	0	1	1	1	0	x
(市) 中元・中西・茶本・海老塚										

(同) 北澤・宮城・藤原・星野  
☆本塁打 木崎・天内(同)  
☆二塁打 丸井・川端(同)

◎ 9月9日 大阪万博

立命館大	大	0	0	0	2	1	1	0	0	0
同志社大	大	0	0	0	1	0	0	0	0	0
(立) 栗山・荒木・岩見										

(同) 坂東・木崎・星野  
☆二塁打 古田・山下・井上(立)・木崎(同)

◎ 9月11日 豊中ロース球場

立命館大	大	0	0	0	0	1	0	0	0	0
関西	大	0	1	0	0	0	0	3	1	x
(立) 唐杉・栗山・尾高・荒木・岩見										

(関) 棚田・堀内・棚木・佐藤  
☆本塁打 浜島(関)  
☆三塁打 岩見(立)  
☆二塁打 杉本(関)

◎ 9月14日 大阪万博

同志社大	大	5	0	3	0	2	1	10	0	
甲南	大	0	0	0	0	0	0	0	0	
(5回コールド)										

(同) 坂東・川端・宮城・星野・藤原  
(甲) 足立・上月・小柳  
☆二塁打 木崎(同)

◎ 10月16日 岡崎公園

立命館大	大	0	0	0	0	0	0	0	2	0
同志社大	大	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(立) 唐杉・坂本・尾高・中村										

(同) 坂東・星野  
☆二塁打 内山・高橋(立)

◎ 9月17日 寢屋川公園

立命館大	大	0	0	0	0	0	0	6	0	0
大阪市立大	大	0	0	1	0	0	0	0	0	0
(立) 栗山・荒木・唐杉・岩見・中村										

(市) 横田・吉田・中元・中西・小島・海老塚  
☆三塁打 岩見・井上(立)  
☆二塁打 荒木・太田・山下(立)

◎ 9月16日 寢屋川公園

大阪市立大	大	0	0	0	1	0	0	0	1	0
関西	大	1	0	0	0	0	0	2	0	x
(市) 戎村山・海老塚										

(関) 平井・堀内・棚木・佐藤  
☆二塁打 小札・杉本(関)

◎ 9月17日 寢屋川公園

立命館大	大	0	0	0	0	0	0	6	0	0
大阪市立大	大	0	0	1	0	0	0	0	0	0
(立) 栗山・荒木・唐杉・岩見・中村										

### 関西六大学軟式野球連盟 秋季大会表彰選手

最優秀選手	栗山(立命館大)	・四二一
首位打者	浜島(関西大)	三本
本塁打王	内山(立命館大)	九点
打点王	天内(同志社大)	九個
盗塁王	家城(関西大)	
内山(立命館大)		
最優秀防御率	栗山(立命館大)	一・七〇
最多奪三振	栗山(立命館大)	三五個
ベストナイン		
投手	栗山(立命館大)	
捕手	岩見(立命館大)	
一塁手	川邊(同志社大)	
二塁手	小札(関西大)	
三塁手	山下(立命館大)	
遊撃手	片桐(同志社大)	
外野手	天内(同志社大)	
	川端(同志社大)	
	福島(関西大)	

# 西都大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

関西六大学軟式野球連盟 秋季大会総括コメント

関西六大学軟式野球連盟 連盟委員長

前田 裕也

今年の秋リーグは新型コロナウイルスの影響で  
関西学院大学が抜けた五大学で行われた。

With コロナでガイドラインの周知、感染  
症対策を球場側と取りながら行われた。その結果  
として六大学の野球部のコロナ感染者の報告は出  
なかつた。今後の大会は無観客でなく、有観客へ  
段階的に戻す方向だ。

西日本大会の中止を受け、秋のリーグ戦の鼓  
舞が下がる中、西都リーグ杉山理事長考案で非  
公式で西日本大会の代替大会を開催することに  
決定、春のリーグ戦が中止になったこともあり、  
選手の気持ちもいっしょに高まったうえで開  
催された。

コロナ禍で練習の制限があり、十分な時間練習  
できなかった影響は大きく、体力の維持などにも  
影響が出ていたようだ。現に今大会で完投する投  
手が一人のみであった。

コロナで新入生を秋のリーグ戦で出せず、新戦  
力のない、少ない人数の大学もある中、全八試合  
を戦い切った。

今大会も立命館大学と同志社大学の優勝争いが  
期待された。結果としては、昨年の秋季リーグに  
続き、立命館大学が優勝を遂げた。優勝を決めた  
試合は一回に内山(二)が本塁打を打ち、栗山が  
同志社大学を完封。結果として闘いで立命館大学  
が二期連続の頂点に立った。

このような状況の中でも開催させて頂き、協力  
していただいた球場の方、審判、理事長、六大学  
の選手全員に感謝の言葉を述べたい。

順位	大学名	立命館大学	同志社大学	関西大学	大阪市立大学	甲南大学	勝	負
1	立命館大学		〇〇	〇●	〇〇	〇〇	7	1
2	同志社大学	●●		〇〇	〇〇	〇〇	6	2
3	関西大学	●〇	●●		〇〇	〇〇	5	3
4	大阪市立大学	●●	●●	●●		〇	1	6
5	甲南大学	●●	●●	●●	●		0	7

◎ 9月10日 八尾市立山本球場

流通科学大	1	0	0	1	0	0	0	0	0
桃山学院教育大	0	1	2	1	0	0	0	0	x
(制限時間を越えた為8回裏コールド)									
(流)中川・殿納	山本(淳)								
(桃)塩田	内海								
☆本塁打	下絵図・河上(桃)								

◎ 9月14日 八尾市立山本球場									
大阪国際大	0	0	0	0	0	3	0	0	
桃山学院教育大	0	2	0	0	3	3	1	x	
(国)北迫・大山―西田									
(桃)栗原・吉川	―内海・河上								
☆本塁打	右田(国)								
☆二塁打	飯田2・沼田・石津(桃)・藤塚(国)								

◎ 9月24日 八尾市立山本球場

天 理 大	0	0	0	0	2	0	0	2	
桃山学院教育大	2	0	0	0	1	0	0	1	
(制限時間を越えた為8回裏コールド)									
(天)福田	―小西								
(桃)塩田・栗原	―河上								
☆本塁打	斎藤・河上(桃)								
☆二塁打	上野・辻(天)・橋口(桃)								

大阪経済法科大	0	0	2	0	0	0	0	0	
流通科学大	0	0	2	1	0	0	0	0	
(経)上坊―川上									
(流)中川	―山本(淳)								
☆本塁打	長尾(経)・山本(淳)・野北(流)								

◎ 9月28日 八尾市立山本球場

天 理 大	0	0	0	0	0	3	0	1	
流通科学大	0	0	0	0	1	1	5	2	
(制限時間を越えた為8回裏コールド)									
(天)福田・塚本	・石原―小西								
(流)中川・殿納	―山本(淳)								
☆本塁打	日下・上野(天)・後藤(流)								
☆三塁打	山本(淳)(流)								
☆二塁打	辻(天)								

◎ 9月29日 八尾市立山本球場									
大阪経済法科大	0	0	1	0	0	0	1	0	0
大阪国際大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(経)上坊―川上									
(国)斎藤・福澤	―西田								
☆二塁打	北迫(国)								

◎ 10月6日 八尾市立山本球場									
流通科学大	2	0	0	0	0	1	0	4	
大阪国際大	0	2	6	0	0	0	0	x	
(制限時間を越えた為8回裏コールド)									
(流)藤堂	・中川―山本(淳)								
(国)福澤	・北迫―西田								
☆本塁打	中川(流)・北迫(国)								
☆二塁打	石丸(流)・藤塚3(国)								

大阪経済法科大	0	0	0	0	0	1	1	0	1
天 理 大	0	0	0	1	0	0	3	3	x
(経)上坊―川上									
(天)石原	・辻―小西								
☆本塁打	田中・藤村(経)・北村・辻・小西(天)								

◎ 10月13日 八尾市立山本球場

天 理 大	3	0	1	0	0	0	0	0	1
大阪国際大	0	0	0	2	0	0	0	0	0
(天)石原・辻―小西									
(国)北迫・福澤	―西田								
☆本塁打	上野・北村・日下(天)								
☆二塁打	上野・塚本2(天)								

大阪経済法科大	0	0	0	0	0	0	2	1	0
桃山学院教育大	0	0	0	0	3	2	0	0	x
(経)上坊・長尾―川上・山田									
(桃)栗原	・吉川―河上								

# 京滋大学軟式野球連盟 令和2年度 大会成績

西都大学軟式野球連盟 秋季大会表彰選手

- 最優秀選手 河上伊吹(桃山学院教育大学)
- 首位打者 上野悠一郎(天理大学) 四一・二
- 本塁打王 河上伊吹(桃山学院教育大学) 二本
- 上野悠一郎(天理大学)
- 打点王 山本淳平(流通科学大学) 五点
- 日下宗大(天理大学)
- 盗塁王 長尾憲伸(大阪経済法科大学) 五個
- 最優秀防御率 塩田レオ(桃山学院教育大学) 二・四〇
- 最多奪三振 中川雄大(流通科学大学) 一七個
- ベストナイン
  - 投手 塩田レオ(桃山学院教育大学)
  - 捕手 河上伊吹(桃山学院教育大学)
  - 一塁手 右田貫(大阪国際大学)
  - 二塁手 日下宗大(天理大学)
  - 三塁手 上野悠一郎(天理大学)
  - 遊撃手 梶原秀太(大阪国際大学)
  - 外野手 北村吉凱(天理大学)
  - 辻悠太(天理大学)
  - 野北伊吹(流通科学大学)

西都大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント

西都大学軟式野球連盟理事長 杉山信良

加盟一三大学のうち、参加が許されたのが五大学だった為、一部二部の垣根を払い、名称もリーグ戦とはせず秋季大会として、五チームによる総当たり一回戦制の大会を行った。全試合の球審を務めたが、コールドゲームが一試合も無く、全試合僅差の接戦であった。また、二部の天理大学が二位に入る健闘を見せ、リーグ全体に実力が拮抗しているとの印象を持っている。

順位は、一位・桃山学院教育大学三勝一分け・二位・天理大学二勝一敗一分け・三位・流通科学大学二勝二敗・四位・大阪経済法科大学一勝三敗・五位・大阪国際大学一勝三敗

※直接対決の勝敗により大阪経済法科大学が四位、秋季大会後に行われた西日本の独自大会へは、一位の桃山学院教育大学が関西四連盟の優勝校を決めるトーナメントに進出。京都文教大学と対戦し、タイプブレイクの末、サヨナラ負け。二位の天理大学が岡山県立大学との交流戦に、三位の流通科学大学は、関西四連盟の三位校同士の交流戦に出場。また、出場を辞退した金沢学院大学に替わり、急遽、大阪国際大学が交流戦に出場したが、大阪成蹊大学を一安打に抑えながらも六失点で逆転負け、西都の代表は、どのチームもデフェンス面での弱さが目に着いた。

福島指名理事のお世話で、独自大会の翌日に行った社会人チームとの交流試合に於いても、西都連盟オールスターチームは、相手チームを上回る安打を放ちながらも、終盤に失点を重ねて逆転負けを喫した。二〇二二年は、投手を中心とした

デフェンスの強化をリーグ全体の課題として取り組みたい。

## 春季大会

◎ 3月2日 大谷公園 野球場

びわこ学院大学 4 0 0 1 0 0 2 0 0  
 京都文教大学 1 0 2 0 0 0 0 0 0 0 3

(学)高岡・松井―奥村  
 (文)宮・田中・平井―北村

☆二塁打 高岡(学)  
 ☆二塁打 松村(学)北川(学)笹山(学)

龍谷大学 4 0 4 0 0 1 0 1 0 9  
 びわこ成蹊スポーツ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

(龍)畑野・佃―三宅  
 (成)味田・神田―伊崎

☆二塁打 川勝(龍)味田(成)

◎ 3月5日 岡崎公園 野球場

びわこ学院大学 3 0 0 0 1 2 0 0 0 6  
 びわこ成蹊スポーツ 0 0 0 1 1 0 0 3 0 0 4

(学)高岡・松井―奥村  
 (成)味田・神田―久保山

☆本塁打 三橋(成)奥村(学)  
 ☆二塁打 藤田(学)神田(成)石原(成)

◎ 3月7日 滋賀県立大学グラウンド

滋賀県立大学 0 0 0 0 0 0 0 0 3 1 4  
 びわこ学院大学 0 0 0 2 0 0 1 0 0 3

(県)近田・伊藤・松田―片岡  
 (学)高岡・松井―奥村

☆二塁打 高岡(学)

京都文教大学 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 2  
 びわこ成蹊スポーツ 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 1

(文)西野―北村  
 (成)神田・滝沢―伊崎

☆二塁打 古川(文)西畠(成)

◎ 3月9日 滋賀県立大学グラウンド

滋賀県立大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 10  
 京都文教大学 1 0 0 1 8 0

(県)近田・河邊・近田―片岡  
 (文)田中―北村

☆二塁打 古川(文)

龍谷大学 2 0 0 3 0 0 0 0 0 5  
 びわこ学院大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

(龍)畑野―三宅  
 (学)高岡―奥村

☆三塁打 新田(恭)龍  
 ☆二塁打 畑野(龍)

◎ 3月19日 滋賀県立大学グラウンド

京都文教大学 1 1 1 1 1 1 1 1 1 9  
 龍谷大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

(龍谷大学がメンバー表を忘れたため不戦敗)

びわこ成蹊スポーツ 1 0 1 0 0 0 0 0 1 0 3  
 びわこ学院大学 0 0 0 1 1 0 0 0 0 2

(成)松村・宇野・神田―伊崎  
 (学)高岡―奥村

☆本塁打 三橋(成)  
 ☆三塁打 三浦(成)

## ☆二塁打 三橋(成)

◎ 3月21日 滋賀県立大学グラウンド

龍谷大学 0 0 1 0 1 0 0 0 0 2  
 滋賀県立大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

(龍)嶋田・佃―三宅  
 (県)近田・松田―片岡

☆二塁打 橋本(県)嶋田(龍)

びわこ成蹊スポーツ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5  
 京都文教大学 3 2 0 0 0 0 0 0 0 0

(成)神田・松村・滝沢―伊崎  
 (文)西野―北村

☆二塁打 奥村(文)古川(文)

◎ 3月23日 滋賀県立大学グラウンド

びわこ学院大学 0 0 1 0 0 0 0 0 2 0 5  
 龍谷大学 0 0 2 0 0 0 0 1 0 0 3

(学)高岡―奥村  
 (龍)畑野・佃―三宅

☆三塁打 北川(学)  
 ☆二塁打 常陸(学)

びわこ成蹊スポーツ 0 0 0 0 0 0 1 0 0 7  
 滋賀県立大学 0 0 1 0 0 0 1 0 0 2

(成)松村・宇野・神田―久保山・伊崎  
 (県)松田・伊藤―片岡・橋本

☆本塁打 三浦(成)  
 ☆二塁打 宇野(成)三橋(成)石原(成)松田(県)

●秋季リーグ●										
順位	大学名	桃山学院教育大学	天理大学	流通科学大学	大阪経済法科大学	大阪国際大学	勝	負	分	勝点
1	桃山学院教育大学		4-4△	4-2○	5-3○	10-3○	3	0	1	7
2	天理大学	4-4△		4-9●	7-3○	5-2○	2	1	1	5
3	流通科学大学	2-4●	9-4○		3-2○	7-8●	2	2	0	4
4	大阪経済法科大学	3-5●	3-7●	2-3●		2-0○	1	3	0	2
5	大阪国際大学	3-10●	2-5●	8-7○	0-2●		1	3	0	2

◎ 3月26日 滋賀県立大学グラウンド

びわこ学院大学	1010000020
滋賀県立大学	0000000100
(学) 松村・高岡・奥村	
(県) 近田・松田・片岡	
☆三塁打 伊藤(県)	

びわこ成蹊スポーツ大学	1030000000
龍谷大学	0000010001
(成) 滝澤・伊崎	
(龍) 嶋田・三宅	
☆二塁打 小林(成石原(成))	

◎ 3月28日 滋賀県立大学グラウンド

京都文教大学	1111111111
滋賀県立大学	0000000000
(滋賀県立大学が人数不足のため棄権)	

◎ 3月30日 滋賀県立大学グラウンド

滋賀県立大学	0001000000
龍谷大学	100031000x
(県) 近田・片岡	
(龍) 嶋田・三宅・寺住	
☆三塁打 田村(龍)	
☆二塁打 新田(恭(龍))	

◎ 10月3日 滋賀県立大学グラウンド

龍谷大学	0200000000
滋賀県立大学	101010000x
(龍) 高津・新田(恭)・寺住・三宅	
(県) 松田・橋本	
☆一塁打 橋本	

◎ 10月11日 大谷公園野球場

滋賀県立大学	0012000000
びわこ成蹊スポーツ大学	0000000100
(県) 松田・橋本	
(成) 神田・新井・江馬・伊崎・久保山	

◎ 10月24日 滋賀県立大学グラウンド

びわこ学院大学	0000000000
京都文教大学	000000011x
(学) 高岡・奥村	
(文) 西野・北村	
☆三塁打 西野(文)	
☆一塁打 堀内(文)	

◎ 10月28日 湖東スタジアム

京都文教大学	0000401000
滋賀県立大学	0000000000
(文) 森・宮・西野・北村	
(県) 松田・奥田・橋本	
☆三塁打 松田(県)	

春季大会表彰選手

新型コロナウイルスの感染拡大によりリーグ戦は途中で中止したため表彰選手を決定せず。

春季大会総括コメント

京滋大学軟式野球連盟 学生委員長

大久保 輝優

リーグ戦開始時は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が少なかったためリーグ戦を行うことへの支障は少なかった。しかし、昨年と同じく人数不足による棄権を行うチームが出てしまっている点は京滋連盟内での対策が必要に感じた。

リーグ戦の試合内容については、昨年以上に軟式野球らしいプレーが増えているように感じる。

昨年までは京都文教大学が軟式野球らしい作戦をとっており、その他のチームは硬式野球に近い野球の印象があった。しかし、今春のリーグ戦では各チームが軟式野球で使われる「たたき」などの作戦面での精度を高めており、軟式野球として見ごたえのある試合が多かった。また、ここ数年京都文教大学の一強に近い状態が続いていることもあり、その他の各大学が、いかに文教に勝つかという部分にも意識を向けており、京滋連盟としてのレベルが上がっている印象を受けた。

その一方で、やはりヤジであったり、審判さんへの文句がこぼれてしまっている様子も見受けられた。また、身だしなみなどのルールもわずかながらも出てしまっている点など反省すべき点も多く見受けられた。また、学生審判の質が大学によりバラバラであったりした部分も、各大学に働き

秋季大会表彰選手

最優秀選手 西野隼輝(京都文教大学)

トーナメント戦で行ったため、最優秀選手のみ選出。

秋季大会総括コメント

京滋大学軟式野球連盟 連盟委員長

大久保輝優

今秋は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり例年とは違いトーナメント方式で試合数を大幅に削減することで西日本の独自大会までに代表校の選出も含め試合を行うことが出来た。当初は上位大会が何もないという可能性もあり選手のモチベーションの低下が懸念されたが、独自大会を行うと決まったために、各選手のモチベーションも高く試合への準備がなされていたように感じた。また、当リーグの例年の課題として相手チームや審判の方への不適切な発言が目立つという部分があった。しかし、今回は新型コロナウイルスの影響で野球をできること自体への感謝やそういった中で試合を行える喜びを感じていたこともあり、各選手が純粹に軟式野球を楽しみつつ相手や審判さんへ敬意を払った行動が目立つトーナメント戦であったと感じた。

プレー面では、練習がしばらく出来ていなかった大学も多かった中ではあったが、各選手体を仕上げてきており、練習の自粛期間を感じさせないようなプレーが多く見られた。

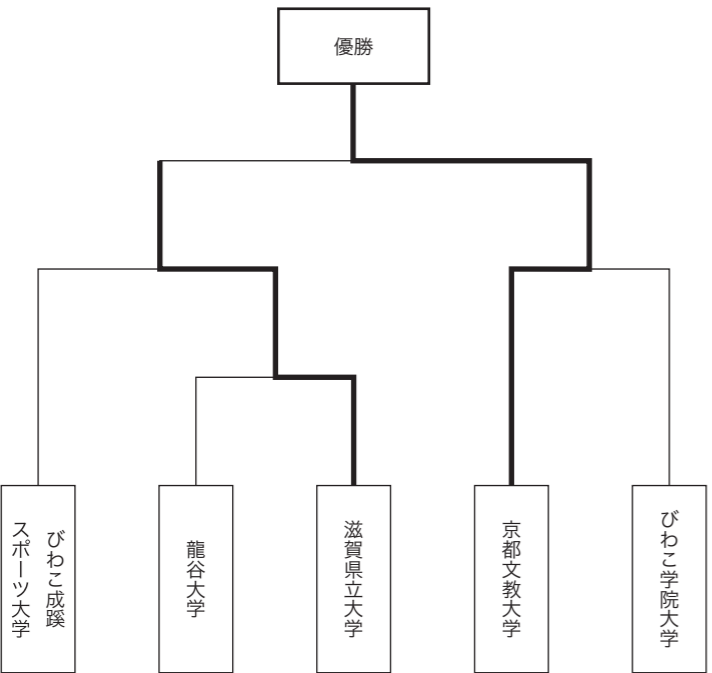
運営としての反省は日程が二転三転する中で予

かけ、練習試合などを利用して学生審判のスキル向上に努める必要も感じた。しかし、そういった反省点を改善していくことが出来れば、先にも書いたように京滋連盟としてのリーグ戦のレベルは上がってきているので、全国大会などにも自信をもって代表校を送り出せる状況であると感じた。

●春季リーグ●

順位	大学名	京都文教大学	龍谷大学	びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	滋賀県立大学	勝	負	分
1	京都文教大学	●○	□	●○	○○	○□	6	1	0
2	龍谷大学	■	●○	○●	○●	○○	4	3	0
3	びわこ学院大学	○●	●○	●○	○●	●○	4	4	0
4	びわこ成蹊スポーツ大学	●●	●○	●○	●	○	3	4	0
5	滋賀県立大学	●■	●●	○●	●	●	1	6	0

備日も含めた球場確保という点で苦労をした。また雨天中止も多く、新型コロナウイルスの影響をみて独自大会への代表校決定のギリギリに日程を組み参加大学を増やそうとしたこともあり、本来予定していなかった日に対象大学に日程調整してもらい試合を行ったこともあり、その辺の日程の計算などは反省点であった。



# 中国地区大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

中国地区大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント  
中国地区大学軟式野球連盟 委員長 荒谷 健太郎

第二五回秋季リーグは一〇月から約一か月にわたり行われました。今回は各大学、新たに新入生が加わる大学もあれば新型コロナウイルスの影響で新入生がいない中で参加する大学もあり戦力的にも差がついたリーグ戦だったと思います。

試合の方は、新型コロナウイルスの影響で開催日が一か月程遅れたり、二日連続であったりなど例年になく過密日程で消化しました。

第一代表福山平成大学は二年生山本投手が最多奪三振や最優秀防御率を獲得する好投をみせ、打点王の森谷選手や正田選手を中心とした打撃力で勝ち上がっていき六戦六勝という見事な成績を残しました。また、第二代表の岡山県立大学は初出場の西日本大会の切符を手に入れました。前年のリーグで課題だった球場の早期確保や本部運営大学の余裕をもった集合時刻を達成することができました。連盟委員を中心に動き、報連相の徹底をしてくれた結果だと思えます。

★予選リーグ  
◎10月3日 岡山県立大学  
比治山大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
美作大学 0 0 0 0 0 0 0 0 3 x  
(比)三森(直)―三森(優)  
(美)松岡、永野、山本―山本、永野  
福山平成大学 7 1 6 0 0  
岡山県立大学 0 0 0 0 x  
0 14  
(5回コールド)

(福)依岡、柴原―大森  
(岡)山本、近藤―正田  
☆二塁打 大森(岡)  
◎10月4日 広島市立大学  
美作大学 1 0 1 0 1 0 0 0 1  
広島市立大学 0 1 1 0 0 2 0 0 0  
(美)松岡―山本  
(広)森島、坂本―石山  
☆二塁打 山本(美)

比治山大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
福山平成大学 4 0 0 0 0 0 0 1 x  
(比)早田―三森(優)  
(福)近藤、山本―正田  
☆二塁打 早田(比)正田、藤川(福)  
◎10月10日 岡山県立大学  
岡山県立大学 0 0 0 0 0 0 0 0  
比治山大学 1 4 0 4 0 1  
0 10  
(6回コールド)  
(岡)柴原、依岡―中山、大森  
(比)三森(直)―三森(優)

☆三塁打 福田(比)  
☆二塁打 三森(優)勝部(比)  
広島市立大学 0 0 0 0 1 2 0 2  
福山平成大学 2 5 2 0 0 0 0 3  
(広)山口、黒瀬―石山  
(福)近藤、山本、井上―正田、佐藤(奨)  
☆三塁打 黒瀬、相原(広)  
☆二塁打 黒瀬(広)  
森谷、佐藤(奨)、佐藤(智)、三浦(福)

◎10月18日 広島市立大学  
比治山大学 1 0 0 0 0 4 0 0 2  
広島市立大学 0 0 2 0 0 0 0 0 0  
(比)三森(直)―三森(優)  
(広)坂本、森嶋―石山、坂本  
☆二塁打 竹井(比)

岡山県立大学 1 2 0 3 0 3 0  
美作大学 1 0 0 1 0 0 0 0 2  
(岡)中山―大森  
(美)松岡―山本  
☆二塁打 政次、中山(岡)  
◎10月24日 岡山県立大学  
広島市立大学 0 0 0 0 1 0 0 0 0  
岡山県立大学 0 1 0 0 1 3 0 0 x  
(広)杉本、山口―石山、坂本  
(岡)中山―大森  
☆二塁打 岡田(広)小野、前田(岡)

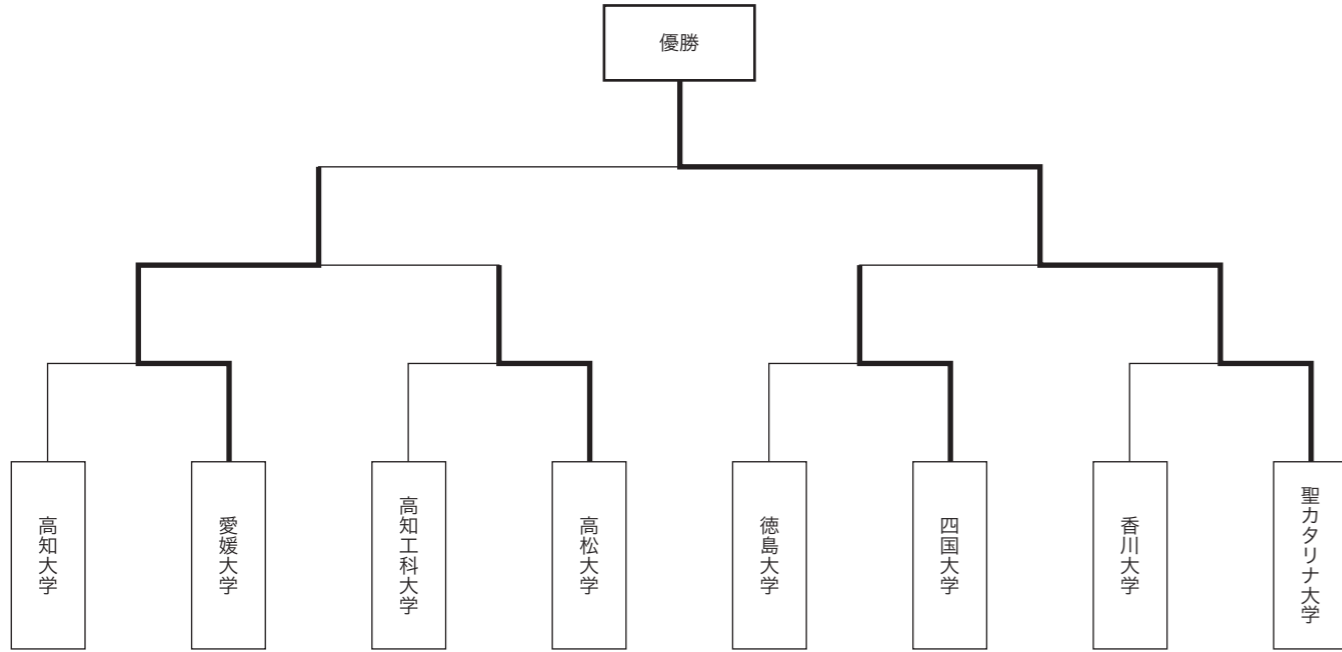
美作大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
福山平成大学 0 0 0 0 4 0 1 0 x  
(美)松岡、山本―山本、永野  
(福)山本、三角、近藤―正田

中国地区大学軟式野球連盟 秋季大会表彰選手

最優秀選手 山本陽太(福山平成大学)  
首位打者 大森卓(岡山県立大学) ・三八四  
本塁打王 該当者なし  
打点王 森谷草太(福山平成大学) 六点  
正田隼己(福山平成大学)  
盗塁王 正田隼己(福山平成大学) 三個  
永富大輔(広島市立大学)  
最優秀防御率 山本陽太(福山平成大学) 〇・五六  
最多奪三振 山本陽太(福山平成大学) 一五個

ベストナイン  
投手 山本陽太(福山平成大学)  
捕手 正田隼己(福山平成大学)  
一塁手 竹内廉(福山平成大学)  
二塁手 政次裕紀(岡山県立大学)  
三塁手 勝部悠太(比治山大学)  
遊撃手 相原健太(広島市立大学)  
外野手 森谷草太(福山平成大学)  
山田爽平(美作大学)

●秋季リーグ●										
順位	大学名	福山平成大学	比治山大学	岡山県立大学	美作大学	広島市立大学	勝	負	分	勝点
1	福山平成大学		○	○	○	○	4	0	0	12
2	比治山大学	●		○	●	○	2	2	0	6
3	岡山県立大学	●	●		○	○	2	2	0	6
4	美作大学	●	○	●		△	1	2	1	4
5	広島市立大学	●	●	●	△		0	3	1	1



# 四国地区大学軟式野球連盟

## 交流試合成績

<p>◎ 11月3日 牟礼球場</p> <p>愛媛大学 0101340 高知大学 0000000</p> <p>(愛媛)榎・青野・森 (高知)小野・青沖・小原・桑名 ☆三塁打 森(愛媛) ☆二塁打 芝・信長・阿部・川上(愛媛)</p> <p>(7回コールド)</p>	<p>◎ 11月7日 牟礼球場</p> <p>香川大学 0000001 聖カタリナ大学 301103x</p> <p>(香川)赤松・増田・島・矢島 (聖カタリナ)村上・花山・白石 ☆二塁打 坂口・藤本・米原(香川)</p> <p>(7回コールド)</p>	<p>◎ 11月14日 牟礼球場</p> <p>高松大学 0000000 愛媛大学 0050102</p> <p>(高松)信上・菊池 (愛媛)川崎・森 ☆本塁打 福崎(愛媛) ☆二塁打 田中・川崎(愛媛)</p> <p>(7回コールド)</p>	<p>◎ 11月21日 牟礼球場</p> <p>四国大学 1200000 高松大学 0000002</p> <p>(四国)樋口・桂・内村 (高松)時岡・中原・菊池・谷本 ☆二塁打 河合(高松)</p> <p>◎ 11月21日 牟礼球場</p> <p>聖カタリナ大学 0110000 愛媛大学 0000000</p> <p>(聖カタリナ)可部・光田・近藤 (愛媛)川崎・森・榎・恵谷 ☆本塁打 村上(聖カタリナ) ☆二塁打 川吾(聖カタリナ)</p>	<p>◎ 11月3日 牟礼球場</p> <p>愛媛大学 0101340 高知大学 0000000</p> <p>(愛媛)榎・青野・森 (高知)小野・青沖・小原・桑名 ☆三塁打 森(愛媛) ☆二塁打 芝・信長・阿部・川上(愛媛)</p> <p>(7回コールド)</p>	<p>◎ 11月21日 牟礼球場</p> <p>四国大学 1200000 高松大学 0000002</p> <p>(四国)樋口・桂・内村 (高松)時岡・中原・菊池・谷本 ☆二塁打 河合(高松)</p> <p>◎ 11月21日 牟礼球場</p> <p>聖カタリナ大学 0110000 愛媛大学 0000000</p> <p>(聖カタリナ)可部・光田・近藤 (愛媛)川崎・森・榎・恵谷 ☆本塁打 村上(聖カタリナ) ☆二塁打 川吾(聖カタリナ)</p>
---	---	--	--	---	--

四国地区大学軟式野球連盟秋季交流大会総括コメント

四国地区大学軟式野球連盟 学生委員長 鎌田成貴

今大会は連盟主催のリーグ戦という名目ではなく交流大会としてトーナメント方式で実施された。大学の方針によって棄権する大学も数校あり、例年通りに開催するという事はできなかった。また運営に関しては新しい代に代わり新入生も入って初めての大会であったため仕事内容の把握ができていない大学も見受けられた。そんなコロナ禍の中で理事会、学生委員会が独自にガイドラインを作成して連盟のメンバーみんなで力を合わせて開催した交流大会であった。

試合内容を目を向けると、実戦感覚の欠如、練習が不足している等プレートの質の低下が懸念されていたが特に打者の鋭いスイングが目を引きシーンが幾度も見られた。これは各自が大会開催に向け調整を進めてきた成果であろう。上位進出大学においては高い投手力を持ち、好機を確実に得点に結びつけるスタイルのチームが勝ち進んでいる印象を受けた。

大会開催の意義としては新チームになって初の大会運営を行うことで新入生や各チームの代表者にも大会がどのように進行していくのか理解してもらうことができたことが良かった。また、遅刻してくる大学や運営の仕事ができていない大学がなかったことも良かった。

# 九州地区大学軟式野球連盟 令和2年度 秋季大会成績

チームの一年生に見られた。硬式野球出身の選手が数多い中ではあるが、軟式野球というものに順応しよう、軟式野球の戦い方をしようとする姿勢が見て取れたことは、これからの九州地区にとっての大きな財産になるものであった。次の世代の九州地区を引っ張っていく一、二年生の活躍を頼もしく思った。

このように少ない試合数であったにせよ大会を開催できたことは、理事の方をはじめとする関係者の方々にご協力をいただけてこそのものである。ご尽力いただいた友重会長、上木理事長をはじめ、関係者の方々に感謝申し上げます、これからの九州地区大学軟式野球連盟のさらなる躍進を願って総括とする。

●秋季リーグ●												
順位	大学名	鹿児島国際大学	熊本県立大学	崇城大学	鹿児島大学	九州看護福祉大学	九州ルーテル学院大学	宮崎産業経営大学	勝	負	分	勝点
1	鹿児島国際大学	●	○	○	○	○	○	○	3	0	0	9
2	熊本県立大学	○	●	○	○	○	○	○	2	0	0	6
3	崇城大学	○	○	●	○	○	○	○	1	1	0	3
4	鹿児島大学	○	○	○	●	○	○	○	1	2	0	3
5	九州看護福祉大学	○	○	○	○	●	○	○	1	3	0	3
6	九州ルーテル学院大学	○	○	○	○	○	○	○	1	0	0	3
7	宮崎産業経営大学	○	○	○	○	○	○	○	0	3	0	0

◎10月25日 宮崎田野球場  
 宮崎産業経営大学 0 0 2 0 2 0 0 0 0  
 九州看護福祉大学 0 0 3 3 0 4 0 0 0 x  
 (宮)望月・渡辺・柳田・丸山  
 (看)芳崎・寄本・丁畑

熊本県立大学 1 0 0 1 0 0 0 0 1 2  
 鹿児島大学 0 2 0 0 1 0 0 0 0 0 3  
 (延長10回タイブレーク)

(県)末次・緒方・江副  
 (鹿)谷口・渡辺・手塚

◎10月31日 鹿児島国際大学グラウンド  
 崇城大学 1 0 0 0 1 0 1 1 0  
 鹿児島大学 1 0 0 0 0 0 0 0 2 0  
 (崇)松井・有村・山口・飯干・松井  
 (鹿)斎藤・後藤・寺原・若林・安楽・手塚  
 ☆本塁打 小林(崇)  
 ☆三塁打 小林・飯干(崇)  
 ☆二塁打 山口(崇)

鹿児島国際大学 0 0 0 3 3 0 0 1  
 宮崎産業経営大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 (国)宮内・福迫  
 (宮)渡辺・望月・柳田・丸山

鹿児島大学 1 3 1 6 0 5  
 宮崎産業経営大学 0 0 2 0 0 0 0  
 (鹿)岩森・手塚  
 (宮)望月・柳田・奥野・丸山  
 ☆三塁打 篠原(鹿)  
 ☆二塁打 堀添・永野(宮)

◎11月14日 始良市総合運動公園野球場  
 崇城大学 0 0 0 0 1 0 0 1 0  
 鹿児島国際大学 0 0 2 0 0 0 0 1 x  
 (崇)有村・松井・山口・飯干  
 (国)宮内・永綱・福迫  
 ☆二塁打 門之園(国)

九州看護福祉大学 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 3  
 熊本県立大学 0 1 0 0 0 1 0 0 0 2 x 4  
 (延長10回タイブレーク)  
 (看)芳崎・丁畑  
 (県)平尾・緒方・江副  
 ☆本塁打 鳥居(県)  
 ☆二塁打 芳崎(九)・中山(県)

◎12月20日 飽田運動公園野球場  
 九州ルーテル学院大学 0 0 3 0 0 5 0 0 0 8  
 九州看護福祉大学 2 0 1 0 0 0 0 0 0 3  
 (九)岩根・植村・福田・松本・福田  
 (看)中原・小山・清水・芳崎・清水・丁畑  
 ☆本塁打 横田(九)  
 ☆三塁打 岩根・塩井・光瀬(九)  
 ☆二塁打 中原(看)

九州地区大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント  
 九州地区大学軟式野球連盟 学生委員長 門田優弥

今年度は新型コロナウイルスの影響があり、春季リーグ戦の開催を断念した。その中で、せめて一つだけでも大会を開催したいという思いから、ガイドライン、生活チェックシートを作成するなど、九州地区が一丸となって秋季リーグ戦を開催できた。大会日程のすべてを消化できなかったことは痛恨であったが、少しでも試合ができたことは今年の数少ない収穫の一つであったと考えている。

大会には、一年生から四年生まで幅広い学年の選手が出場し、熱戦を繰り広げた。ほとんどのチームは、春季大会の中止と同時に新チームがスタートしたので、新主将を立ててのチームが多く見られた。今大会は、練習なども例年ほど行っていない中でチームの連携という面が難しかったのではと推察する。しかし、主将がチームを鼓舞し、引っ張ろうとする姿が印象的であった。各チームのエラー数も少なく、各自大会の開催を信じて自主的に練習に励んできた成果を発揮できたように見受けられた。

そしてもう一つ大会の中で目を引いたのは、一年生の活躍である。今年度は、新型コロナウイルスの影響で一年生がサークル活動に参加できないということも多く、部員勧誘は困難なのではないかということも危惧していた。しかし、各大学の努力もあって多くの一年生が大学軟式野球のスタートを切ることができた。前述したように練習もままならない状況であったと考えられるが、それでも軟式野球に対応して活躍する姿が多かった。

# 沖縄県大学軟式野球連盟 令和2年度 大会成績

## 春季大会

◎ 7月1日 赤間ホールパーク

沖繩 大学	0000600000	6
名 校 大 学	0000000000	0
(沖)新垣渚・仲宗根・安里―石川・伊禮		
(名)玉城―宮城		
☆二塁打 新垣(沖)		

名 校 大 学 000202  
沖繩国際大学 002709

(降雨のため5回裏コールド)

(名)仲村・菅原―宮城	
(国)伊禮―山下(明)	
☆二塁打 玉代勢・與儀(国)	

◎ 7月2日 平和の森球場

沖繩 大学	000000200	2
沖繩国際大学	000010010	2
(沖)安里・新垣渚―伊禮		
(国)知念・佐久本―山下(明)		
☆三塁打 玉代勢(国)		

◎ 7月3日 ANABALLPARK浦添

沖繩 大学	004000100	5
名 校 大 学	0010003002x	6
(沖)吉田・知念・安里―石川・伊禮		
(名)菅原・池原・安倍―山口・狩俣		
☆二塁打 中村・池原・嶺井・安倍(名)		

(国)與那嶺―伊禮  
(名)知花―山口

☆二塁打 佐久本(国)・松本(名)	
-------------------	--

沖繩 大学	000000000	0
沖繩国際大学	010000000x	1
(沖)安里(歩)―石川		
(国)佐久本―伊禮		
☆二塁打 與間・知念(沖)・平良(国)		

沖繩県大学軟式野球連盟 秋季大会表彰選手  
最優秀選手 佐久本 慎也(沖繩国際大学)

## 沖繩県大学軟式野球連盟秋季大会総括コメント

沖繩県大学軟式野球連盟 学生委員長  
大見謝 彩虹  
今回の秋季リーグは、全試合で安定感を見せた沖繩国際大学が優勝、勝てる試合を確実に取った沖繩大学が準優勝で閉幕した。

今大会の沖繩国際大学は、全試合を通して攻守ともに安定しており、安打や相手のミス、四死球から確実に得点につなげる場面が多くみられた。その得点を佐久本、知念、與那嶺の投手陣が安定したピッチングを披露し、勝利に繋げた印象があった。少人数ながら集中を切らさず試合に臨んだ印象を受けた。

沖繩大学は、春季リーグから打撃が良くなり、松田を筆頭に安打や四死球で繋いでいたが、得点に繋がる場面が少なく見えた。投手陣の新垣渚、

(名)玉城―山口

☆二塁打 伊佐・大城(国)・當路・安倍・宮原(名)	
---------------------------	--

沖繩 大学	000000100	1
沖繩国際大学	002000000x	2
(沖)仲宗根・安里・新垣渚―石川		
(国)伊禮―山下(明)		
☆二塁打 與間・知念(沖)・伊佐2(国)		

沖繩県大学軟式野球連盟 春季大会表彰選手  
最優秀選手 伊禮 歌哉(沖繩国際大学)

沖繩県大学軟式野球連盟 学生委員長  
大見謝 彩虹  
今回の春季リーグは、新型コロナウイルスの影響もあり予定していた日程より一カ月半延期での開幕となった。初日、最終日で大事な試合を勝ち取った沖繩国際大学が優勝、二日目、三日目で最後まで粘りを見せ逆転勝ちをした名校大学が準優勝で閉幕した。

今大会の沖繩国際大学は、全試合を通して打撃が好調で、三者凡退で終わるイニングは少なく、一試合目では四回裏に五者連続四死球を受けその後二本のヒットで一挙七得点を挙げるなど、相手のミスや四死球から得点につなげる場面が多くみられた。その得点を伊禮、佐久本、知念の投手陣が安定したピッチングを披露し、勝利に繋げた印象があった。

安里、仲宗根の三投手が春季大会同様、主に登板し継投で繋いだが、エラーが目立ち投手陣を援護することができなかった。チャンスで得点を取ることが出来ず準優勝という結果に終わってしまった。

名校大学は、全試合を通して安打が少なく、四死球を活かすことができず三者凡退で終わるイニングが多くみられた。春季リーグから打撃が落ちたように見えたが、代打を多く起用するなど選手層の厚さを見せた。守備では、一度崩れると引きずる場面が見受けられたが雰囲気としては明るい印象を受けた。

今年度は一度も派遣がない中でのリーグ戦となったので、来年度は全日本大学選抜大会、全日本選手権出場を目指して頑張ってもらいたい。

名校大学は、初日で二試合落としたものの、二日目、三日目の試合で打撃の調子上がり、選手層の厚さを活かし終盤での逆転で二試合勝ち取ることができた。一試合二塁打四本出るなど秋季リーグからの打撃の向上を見せた。

沖繩大学は、打撃はよかったものの繋がる場面が少なく見えた。投手陣の新垣渚、安里、仲宗根の三投手が主に登板し継投で繋いだ。今大会初登板の安里が打たせて取るピッチングでピンチをしのいだが、打撃での援護が出来ず三位という結果に終わってしまった。

派遣がかかっている中のリーグ戦だったが、全日本大会の代表決定戦をかけたリーグ戦として開催し、優勝した沖繩国際大学は代表決定戦へ駒を進め、名校大学と沖繩大学は秋季リーグで優勝を狙い代表決定戦へ向けて頑張ってもらいたい。

◎ 7月3日 ANABALLPARK浦添

名 校 大 学	00010010	2
沖繩国際大学	20010402	9

(8回コールド)



全日本大学軟式野球選手権大会戦績表

回数	開催地	戦績
第16回 (平成5年)	奈良県 県営橿原公園球場	代表13校 準決勝以降 優勝 東北福祉大学 
第17回 (平成6年)	栃木県 県総合運動公園野球場	代表19校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第18回 (平成7年)	宮城県 県営宮城球場 J T 球場	代表21校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第19回 (平成8年)	北海道 野幌総合運動公園球場 江別市営飛鳥山球場	代表21校 準決勝以降 優勝 佛教大学 
第20回 (平成9年)	千葉県 千葉マリンスタジアム 千葉県野球場	代表22校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第21回 (平成10年)	長野県 小諸市南城公園球場 佐久市営球場	代表22校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第22回 (平成11年)	奈良県 県営橿原公園球場 奈良市鴻ノ池球場	代表22校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第23回 (平成12年)	神奈川県 伊勢原球場 秦野中央公園野球場	代表23校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第24回 (平成13年)	北海道 野幌総合運動公園球場 江別市営飛鳥山球場	代表23校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第25回 (平成14年)	千葉県 千葉県営球場 青葉の森野球場 千葉公園野球場	代表24校 準決勝以降 優勝 明治大学 
第26回 (平成15年)	広島県 広島県総合グラウンド 呉二河球場 御建球場	代表23校 準決勝以降 優勝 明治大学 
第27回 (平成16年)	愛媛県 松山坊っちゃんスタジアム マドンナスタジアム 伊予市民球場	代表23校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第28回 (平成17年)	埼玉県 県営大宮公園野球場 さいたま市営大宮球場 川通公園野球場	代表22校 準決勝以降 優勝 東京経済大学 
第29回 (平成18年)	熊本県 藤崎台県営野球場 熊本市水前寺野球場 崇城大学野球場	代表22校 準決勝以降 優勝 中京学院大学 
第30回 (平成19年)	東京都 八王子市民球場 神宮球場 他	代表30校 準決勝以降 優勝 城西国際大学 

回数	開催地	戦績
第1回 (昭和53年)	東京都 昭島市営球場	代表4校 準決勝以降 優勝 國學院大学 
第2回 (昭和54年)	東京都 立川市営球場 昭島市営球場	代表8校 準決勝以降 優勝 関西学院大学 
第3回 (昭和55年)	"	代表8校 準決勝以降 優勝 京都産業大学 
第4回 (昭和56年)	"	代表8校 準決勝以降 優勝 関西学院大学 
第5回 (昭和57年)	"	代表8校 準決勝以降 優勝 文教大学 
第6回 (昭和58年)	東京都 立川市営球場	代表8校 準決勝以降 優勝 文教大学 
第7回 (昭和59年)	大阪府 住之江公園球場 伊丹球-マシナ-	代表8校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第8回 (昭和60年)	"	代表8校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第9回 (昭和61年)	東京都 立川市営球場 昭島市営球場	代表8校 準決勝以降 優勝 京都産業大学 
第10回 (昭和62年)	"	代表10校 準決勝以降 優勝 早稲田大学 
第11回 (昭和63年)	"	代表10校 準決勝以降 優勝 関西大学 
第12回 (平成元年)	愛知県 瑞穂公園野球場 名鉄阿久比野球場	代表10校 準決勝以降 優勝 日本体育大学 
第13回 (平成2年)	東京都 立川市営球場 戸田市営球場	代表10校 準決勝以降 優勝 大東文化大学 
第14回 (平成3年)	広島県 広島県営球場	代表11校 準決勝以降 優勝 慶應義塾大学 
第15回 (平成4年)	神奈川県 横浜スタジアム 保土ヶ谷球場	代表18校 準決勝以降 優勝 東海大学 

東日本大学軟式野球選手権大会戦績表

回数	開催地	戦績
第1回 (昭和55年)	東京都 立川市営球場 福生市営牛浜球場	明治大学 2 東京電機大学 1 文教大学 3 大東文化大学 0 代表8校 準決勝以降 <b>優勝 文教大学</b>
第2回 (昭和56年)	埼玉県 大宮県営球場 大宮市営球場	神奈川大学 1 東京学芸大学 5 文教大学 3 大東文化大学 0 代表8校 準決勝以降 <b>優勝 文教大学</b>
第3回 (昭和57年)	〃	法政大学 0 東京学芸大学 1 文教大学 2 早稲田大学 0 代表8校 準決勝以降 <b>優勝 東京学芸大学</b>
第4回 (昭和58年)	〃	日本体育大学 3 獨協大学 1 東北学院大学 3 早稲田大学 1 代表8校 準決勝以降 <b>優勝 東北学院大学</b>
第5回 (昭和59年)	東京都 立川市営球場 昭島市営球場	東京学芸大学 0 文教大学 9 中央大学 0 早稲田大学 1 代表8校 準決勝以降 <b>優勝 文教大学</b>
第6回 (昭和60年)	〃	宮城教育大学 4 二松学舎大学 5 中央大学 2 東京経済大学 4 代表8校 準決勝以降 <b>優勝 東京経済大学</b>
第7回 (昭和61年)	埼玉県 大宮球場 大岩槻球場	武蔵大学 0 文教大学 2 大東文化大学 1 早稲田大学 2 代表8校 準決勝以降 <b>優勝 文教大学</b>
第8回 (昭和62年)	東京都 立川市営球場 昭島市営球場	武蔵大学 1 慶應義塾大学 2 早稲田大学 0 大東文化大学 2 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 大東文化大学</b>
第9回 (昭和63年)	〃	中央大学 1 慶應義塾大学 4 明治大学 5 東京学芸大学 2 代表9校 準決勝以降 <b>優勝 明治大学</b>
第10回 (平成元年)	〃	日本体育大学 9 大東文化大学 3 明治大学 0 日本大学商学部 1 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第11回 (平成2年)	〃	日本体育大学 0 大東文化大学 3 創価大学 3 神奈川大学 4 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第12回 (平成3年)	東京都・埼玉県 立川市営球場 戸田市営球場	神奈川大学 1 慶應義塾大学 2 東北学院大学 2 日本大学商学部 6 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 慶應義塾大学</b>
第13回 (平成4年)	埼玉県 戸田市営球場 朝霞市営球場	大東文化大学 2 東北福祉大学 1 神奈川大学 0 東海大学 2 代表15校 準決勝以降 <b>優勝 大東文化大学</b>
第14回 (平成5年)	神奈川県 伊勢原球場 平塚球場	明星大学 1 神奈川大学 7 専修大学 2 東海大学 3 代表16校 準決勝以降 <b>優勝 東海大学</b>
第15回 (平成6年)	千葉県 船橋市営球場	日本体育大学 4 北海学園大学 1 東海大学 4 日本大学生産工学部 0 代表12校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>

回数	開催地	戦績
第31回 (平成20年)	富山県 高岡市営城光寺野球場 砺波市野球場 射水市歌の森運動公園野球場	明治大学 1 大阪体育大学 5 城西国際大学 6 同志社大学 0 代表22校 準決勝以降 <b>優勝 大阪体育大学</b>
第32回 (平成21年)	京都府 わかさスタジアム京都 山城総合運動公園野球場 黄檗公園野球場	神奈川大学平塚校舎 2 日本体育大学 5 作新学院大学 0 京都文教大学 6 代表22校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第33回 (平成22年)	岐阜県 夜明け前スタジアム 苗木公園野球場 椈の湖総合グラウンド	中京学院大学 0 作新学院大学 5 帝京大学 2 日本体育大学 3 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第34回 (平成23年)	熊本県 藤崎台県営野球場 合志市運動公園野球場 崇城大学野球場 他	同志社大学 2 流通経済大学 1 神奈川大学平塚校舎 7 熊本県立大学 0 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第35回 (平成24年)	秋田県 グリーンスタジアム横手 仙北球場 大森球場 他	神奈川大学平塚校舎 0 日本体育大学 1 東北福祉大学 6 関西大学 5 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第36回 (平成25年)	長野県 長野オリンピックスタジアム 長野県営野球場 松本市野球場 他	大阪体育大学 2 東北福祉大学 6 岐阜聖徳学園大学 0 神奈川大学平塚校舎 2 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 東北福祉大学</b>
第37回 (平成26年)	長野県 長野オリンピックスタジアム 長野県営野球場 県営上田野球場 他	京都文教大学 2 仁愛大学 6 福山平成大学 4 帝京大学 5 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 帝京大学</b>
第38回 (平成27年)	長野県 長野オリンピックスタジアム 長野県営野球場 県営上田野球場 他	帝京大学 2 同志社大学 4 松本大学 1 白鷗大学 3 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 白鷗大学</b>
第39回 (平成28年)	長野県 長野オリンピックスタジアム 長野県営野球場 中野市営野球場 他	新潟医療福祉大学 0 流通経済大学 2 京都文教大学 0 東海学園大学 4 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 東海学園大学</b>
第40回 (平成29年)	長野県 長野オリンピックスタジアム 長野県営野球場 中野市営野球場 他	流通科学大学 3 京都文教大学 5 作新学院大学 7 福山平成大学 2 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 京都文教大学</b>
第41回 (平成30年)	長野県 長野オリンピックスタジアム 長野県営野球場 中野市営野球場 他	中京学院大学 4 白鷗大学 3 東北福祉大学 5 新潟医療福祉大学 0 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 東北福祉大学</b>
第42回 (令和元年)	長野県 長野オリンピックスタジアム 長野県営野球場 中野市営野球場 他	中京学院大学 4 大阪体育大学 0 桐蔭横浜大学 5 同志社大学 4 代表23校 準決勝以降 <b>優勝 中京学院大学</b>
第43回 (令和2年)	コロナ禍のため中止	

回数	開催地	戦績
第31回 (平成22年)	千葉県 千葉県総合スポーツセンター野球場 青葉の森公園野球場 他	白鷗大学 1 和光大学 0 東北福祉大学 3 新潟医療福祉大学 0 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 白鷗大学</b>
第32回 (平成23年)	東日本大震災のため中止	
第33回 (平成24年)	東京都・神奈川県 大田スタジアム サテーターフォー相模原球場 他	東京経済大学 0 東京学芸大学 3 日本体育大学 1 神奈川大学平塚校舎 3 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 神奈川大学平塚校舎</b>
第34回 (平成25年)	栃木県 栃木県総合運動公園野球場 本球場、A球場、B球場、C球場	東京経済大学 3 信州大学松本 1 東海大学 4 武蔵大学 1 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 東京経済大学</b>
第35回 (平成26年)	千葉県 ナスパスタジアム 佐倉市長嶋茂雄記念岩名球場	仙台大学 3 明治大学 4 東北福祉大学 2 大東文化大学 1 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 明治大学</b>
第36回 (平成27年)	埼玉県 県営大宮公園野球場 市営大宮球場	新潟医療福祉大学 1 白鷗大学 2 日本体育大学 2 立教大学 0 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第37回 (平成28年)	埼玉県 市営浦和球場 市営大宮球場 他	日本体育大学 1 白鷗大学 5 流通経済大学 3 首都大学東京 5 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 白鷗大学</b>
第38回 (平成29年)	東京都 ダイワハウススタジアム八王子 ネット多摩昭島スタジアム 他	山形大学 2 東京学芸大学 8 日本体育大学 6 明星大学 1 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第39回 (平成30年)	千葉県 ナスパスタジアム 中台野球場 他	桐蔭横浜大学 3 新潟医療福祉大学 2 東北福祉大学 3 日本体育大学 0 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 東北福祉大学</b>
第40回 (令和元年)	神奈川県 中栄信金スタジアム秦野 いせはらサンシャインスタジアム 他	白鷗大学 4 東京学芸大学 2 日本体育大学 3 城西国際大学観光学部 4 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 城西国際大学観光学部</b>
第41回 (令和2年)	コロナ禍のため中止	

回数	開催地	戦績
第16回 (平成7年)	栃木県 日光市所野野球場 今市市運動公園野球場	日本体育大学 0 東海大学 1 関東学院大学 5 産能大学 0 代表25校 準決勝以降 <b>優勝 東海大学</b>
第17回 (平成8年)	〃	東北学院大学 0 日本体育大学 3 創価大学 4 東京理科大学 1 代表25校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第18回 (平成9年)	〃	文教大学 0 大東文化大学 1 獨協大学 1 早稲田大学 4 代表24校 準決勝以降 <b>優勝 早稲田大学</b>
第19回 (平成10年)	〃	流通経済大学 3 産能大学 2 白鷗大学 0 早稲田大学 4 代表24校 準決勝以降 <b>優勝 流通経済大学</b>
第20回 (平成11年)	〃	関東学院大学 1 獨協大学 0 産能大学 2 中央学院大学 3 代表24校 準決勝以降 <b>優勝 中央学院大学</b>
第21回 (平成12年)	〃	白鷗大学 0 中央学院大学 1 産能大学 0 日本体育大学 4 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 中央学院大学</b>
第22回 (平成13年)	〃	日本体育大学 9 白鷗大学 1 青山学院大学 13 千葉商科大学 4 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第23回 (平成14年)	〃	城西国際大学 5 東海大学 4 創価大学 0 青山学院大学 1 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 青山学院大学</b>
第24回 (平成15年)	〃	日本体育大学 2 明治大学 1 青山学院大学 1 東海大学 0 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第25回 (平成16年)	〃	東北学院大学 3 神奈川大学 0 日大法学部Ⅱ部 1 日本大学商学部 0 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 東北学院大学</b>
第26回 (平成17年)	神奈川県 中井中央公園野球場 秦野市営野球場 他	日本体育大学 1 白鷗大学 4 日本大学商学部 5 城西国際大学 1 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 日本大学商学部</b>
第27回 (平成18年)	千葉県 千葉県総合S・C野球場 千葉公園野球場 他	東海大学 1 日本体育大学 8 東京電機大学 1 千葉商科大学 5 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第28回 (平成19年)	千葉県 習志野市秋津野球場 青葉の森公園野球場 他	東北学院大学 2 慶應義塾大学 0 日本大学経済学部 5 白鷗大学 1 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 東北学院大学</b>
第29回 (平成20年)	〃	日本大学商学部 0 東北学院大学 2 日本体育大学 3 創価大学 0 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 日本体育大学</b>
第30回 (平成21年)	埼玉県 西武ドーム さいたま市営大宮球場 他	帝京大学 1 白鷗大学 4 仙台大学 1 神奈川大学平塚校舎 3 代表26校 準決勝以降 <b>優勝 神奈川大学平塚校舎</b>

西日本大学軟式野球選手権大会戦績表

回数	開催地	戦績
第16回 (平成11年)	熊本県 錦町国体記念運動公園 川上哲治記念球場	神戸学院大学 2 北陸大学 0 佛教大学 0 熊本県立大学 4 代表16校 準決勝以降 <b>優勝 神戸学院大学</b>
第17回 (平成12年)	滋賀県 県立彦根球場 彦根市荒神山球場	大阪大学 2 大阪国際大学 2 奈良産業大学 4 佛教大学 1 代表17校 準決勝以降 <b>優勝 大阪国際大学</b>
第18回 (平成13年)	〃	岐阜聖徳学園大学 0 大阪国際大学 5 同志社大学 3 熊本県立大学 0 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第19回 (平成14年)	滋賀県 県立彦根球場 荒神山公園軟式野球場 浅井町町民球場 滋賀県立大学球場	熊本県立大学 0 京都産業大学 3 大阪国際大学 2 同志社大学 1 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 京都産業大学</b>
第20回 (平成15年)	〃	大阪体育大学 1 熊本県立大学 0 大阪学院大学 4 同志社大学 2 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 大阪体育大学</b>
第21回 (平成16年)	〃	佛教大学 3 大阪国際大学 0 同志社大学 3 京都産業大学 2 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 佛教大学</b>
第22回 (平成17年)	愛媛県 松山坊っちゃんスタジアム 伊予市民球場 マドンナスタジアム	立命館大学 2 大阪体育大学 3 名城大学 0 同志社大学 3 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 大阪体育大学</b>
第23回 (平成18年)	〃	大阪体育大学 2 流通科学大学 1 京都産業大学 2 大阪国際大学 1 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 大阪体育大学</b>
第24回 (平成19年)	兵庫県 三木山総合公園野球場 三木総合防災公園野球場 他	立命館大学 4 四国学院大学 0 鹿児島国際大学 6 大阪国際大学 1 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 立命館大学</b>
第25回 (平成20年)	奈良県 県立橿原球場 奈良鴻ノ池球場 他	大阪体育大学 6 吉備国際大学 1 京都文教大学 9 甲南大学 0 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 大阪体育大学</b>
第26回 (平成21年)	兵庫県 高砂市野球場 姫路球場 他	同志社大学 2 神戸学院大学 0 天理大学 4 中京学院大学 3 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第27回 (平成22年)	広島県 東広島アクアスタジアム 呉市営二河野球場 他	立命館大学 1 大阪経済法科大学 0 同志社大学 3 京都文教大学 2 代表18校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第28回 (平成23年)	東日本大震災のため中止	
第29回 (平成24年)	滋賀県 湖東スタジアム 彦根総合運動場野球場 他	佛教大学 2 関西大学 4 九州看護福祉大学 1 大阪電気通信大学 6 代表20校 準決勝以降 <b>優勝 関西大学</b>
第30回 (平成25年)	香川県 レクザムスタジアム 香川県総合運動公園第二野球場 他	沖縄国際大学 1 同志社大学 2 金沢学院大学 2 中京学院大学 4 代表20校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>

回数	開催地	戦績
第1回 (昭和59年)		同志社大学 決勝 京都産業大学 優勝 同志社大学
第2回 (昭和60年)		同志社大学 決勝 京都産業大学 優勝 同志社大学
第3回 (昭和61年)	兵庫県 伊丹S.C.球場 久宝寺球場	広島大学 1 京都産業大学 1 同志社大学 4 徳山大学 0 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第4回 (昭和62年)	〃	京都産業大学 3 関西大学 1 大阪学院大学 3 徳山大学 0 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 大阪学院大学</b>
第5回 (昭和63年)	〃	広島工業大学 1 福山大学 3 同志社大学 4 松山商科大学 3 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第6回 (平成元年)	〃	岡山商科大学 2 同志社大学 4 関西大学 3 広島大学 1 代表10校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第7回 (平成2年)	〃	大阪国際大学 6 広島経済大学 8 中村学園大学 1 佛教大学 6 代表12校 準決勝以降 <b>優勝 佛教大学</b>
第8回 (平成3年)	〃	大阪国際大学 2 徳山大学 3 立命館大学 0 京都産業大学 4 代表12校 準決勝以降 <b>優勝 徳山大学</b>
第9回 (平成4年)	兵庫県 尼崎記念公園球場 伊丹S.C.球場	京都産業大学 4 関西大学 0 神戸学院大学 1 岡山商科大学 0 代表16校 準決勝以降 <b>優勝 神戸学院大学</b>
第10回 (平成5年)	愛知県 一宮市営球場 稲沢市営球場	関西大学 5 大阪学院大学 4 神戸学院大学 1 大阪国際大学 0 代表11校 準決勝以降 <b>優勝 関西大学</b>
第11回 (平成6年)	兵庫県 尼崎記念公園球場 伊丹S.C.球場	関西大学 3 大阪学院大学 1 奈良産業大学 0 立命館大学 4 代表15校 準決勝以降 <b>優勝 立命館大学</b>
第12回 (平成7年)	愛知県 豊田市総合運動公園 トヨタスポーツセンター	同志社大学 3 富山県立大学 2 佛教大学 0 立命館大学 1 代表15校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b>
第13回 (平成8年)	滋賀県 皇子山球場 守山市民球場	佛教大学 5 奈良産業大学 0 大阪経済大学 1 鹿児島経済大学 6 代表16校 準決勝以降 <b>優勝 鹿児島経済大学</b>
第14回 (平成9年)	兵庫県 尼崎記念公園球場 伊丹市民球場	立命館大学 0 奈良産業大学 2 大阪国際大学 3 宮崎産業大学 2 代表16校 準決勝以降 <b>優勝 奈良産業大学</b>
第15回 (平成10年)	広島県 呉二河球場 広島市民球場	関西大学 1 奈良産業大学 0 大阪国際大学 0 立命館大学 1 代表16校 準決勝以降 <b>優勝 立命館大学</b>

回数	開催地	戦績
第31回 (平成26年)	奈良県 佐藤薬品スタジアム 奈良市菅鴻ノ池球場	<p>代表20校 準決勝以降 <b>優勝 立命館大学</b></p>
第32回 (平成27年)	滋賀県 守山市民野球場 希望ヶ丘文化公園野球場	<p>代表20校 準決勝以降 <b>優勝 京都文教大学</b></p>
第33回 (平成28年)	兵庫県 ほっともっとフィールド神戸 あじさいスタジアム北神戸	<p>代表20校 準決勝以降 <b>優勝 立命館大学</b></p>
第34回 (平成29年)	愛知県 パロマ瑞穂野球場 熱田神宮公園野球場	<p>代表20校 準決勝以降 <b>優勝 東海学園大学</b></p>
第35回 (平成30年)	熊本市 リブワーク藤崎台球場 水前寺野球場	<p>代表20校 準決勝以降 <b>優勝 岐阜聖徳学園大学</b></p>
第36回 (令和元年)	大阪府、兵庫県 万博記念公園野球場 尼崎市記念公園野球場	<p>代表20校 準決勝以降 <b>優勝 同志社大学</b></p>
第37回 (令和2年)	コロナ禍のため中止	

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧  
 ■全日本大学軟式野球選手権大会 (第1回～第9回)

開催回数	開催期	開催地	主会場	北海道地区	北陸地区	東海地区	奥羽地区	東京六大学地区	首都圏	東関東	南関東	北関東	関東新	長野野	新潟地区	北陸地区	東海	中部日本	関西六大学	近畿学生	京滋	広島六大学	中国	四国	九州	南九州	出場校数
1	S 53.8	東京都	昭島市営球場					法政大学 國學院大学 中央大学											神戸商科大学								4
2	S 54.8.6～10	東京都	昭島市営球場					明治大学 日本大学 中央大学	東京学芸大学										関西学院大学 神戸商科大学			広島農業短大					8
3	S 55.8.4～6	東京都	昭島市営球場				東北学院大学	早稲田大学 日本大学	大東文化大学										大阪市立大学 京都産業大学			広島大学	松山商科大学				8
4	S 56.8.3～5	東京都	昭島市営球場				東北学院大学	早稲田大学 國學院大学	東京電機大学										関西学院大学	京都産業大学		広島大学	東亜大学				8
5	S 57.8.7～10	東京都	昭島市営球場				秋田大学	早稲田大学 文教大学	東京学芸大学										同志社大学	京都産業大学		広島大学	岡山大学				8
6	S 58.8.6～9	東京都	立川市営球場				秋田大学	法政大学 文教大学	東京学芸大学										関西学院大学	神戸商科大学		広島大学	岡山大学				8
7	S 59.8.20～23	大阪府	住之江公園球場				東北学院大学	法政大学 日本体育大学	東京学芸大学										関西学院大学	神戸商科大学		広島経済大学	岡山商科大学				8
8	S 60.8.19～21	大阪府	住之江公園球場				秋田大学	法政大学 日本体育大学	東京学芸大学										関西学院大学	大阪学院大学		広島経済大学	徳山大学				8
9	S 61.8.14～17	東京都	昭島市営球場				宮城教育大学	早稲田大学 二松学舎大学	武蔵大学										関西学院大学	京都産業大学		広島修道大学	松山商科大学				8

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧

■全日本大学軟式野球選手権大会 (第10回～第18回)

開催期	10	11	12	13	14	15	16	17	18
開催地	東京都	東京都	愛知県名古屋	東京都	広島県	横浜市	奈良県橿原市	栃木県宇都宮市	宮城県仙台市
主会場	立川市宮球場	立川市宮球場	瑞穂公園野球場	立川市宮球場	広島県宮球場	横浜アスタジアム	橿原公知球場	呉総合運動公園	呉宮城球場
北海道地区									
東北地区	東北学院大学	東北学院大学	東北学院大学	東北学院大学	東北学院大学	東北福祉大学	東北福祉大学	東北福祉大学	東北福祉大学 東北大学※
東京六大学	早稲田大学	明治大学	慶應義塾大学	早稲田大学	東京経済大学	法政大学	法政大学	法政大学	慶應義塾大学
東 都 都	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学
首都	大東文化大学	大東文化大学	武蔵大学	大東文化大学	大東文化大学	大東文化大学	明星大学	東京学芸大学	大東文化大学
東 Ⅱ 部						専修大学Ⅱ部	東洋大学Ⅱ部	東京理科大学Ⅱ部	駒沢大学Ⅱ部
北 関 東						茨城大学	帝京大学理工学部	聖学院大学 帝京大学理工学部	関東学院大学
長 野 県						信州大学工学部	信州大学	信州大学	長野大学
新 潟 地 区							新潟大学	新潟大学	新潟大学
北 陸 地 区								富山県立大学	富山県立大学
東 海	豊田工業大学	豊田工業大学	豊田工業大学	岐阜教育大学	松阪大学	岐阜教育大学	松阪大学	松阪大学	松阪大学
中 部 日 本						豊田工業大学			
関 西 六 大 学	同志社大学	関西大学	同志社大学	関西大学	関西大学	関西大学	関西学院大学	関西大学	立命館大学
近 畿 学 生 都 都	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	佛教大学	京都産業大学	京都産業大学	大阪学院大学	大阪学院大学
西 京 滋						姫路経済協大学	流通科学大学	大阪国際大学	奈良産業大学
京 滋									
広 島 六 大 学	広島大学	広島大学	広島大学	広島修進大学	広島経済大学	広島大学			
西 日 本	岡山商科大学	岡山商科大学	松山大学	長崎大学	福山大学	東亜大学			
中 国									吉備国際大学※
四 国						四国学院大学	香川大学	四国学院大学	四国学院大学
九 州	西九州大学	西九州大学	西南学院大学	西南学院大学	西九州大学	九州工業大学			鹿児島経済大学
南 九 州									
出 場 校 数	10	10	10	10	11	16	11	16	19

※推薦による出場

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧

■全日本大学軟式野球選手権大会 (第19回～第27回)

開催期	19	20	21	22	23	24	25	26	27
開催地	北海道	千葉県	長野県	奈良県	神奈川県	北海道江別市	千葉県	広島県	愛媛県
主会場	野幌総合運動公園	千葉ゆづりスタジアム	小浜南城公園球場	橿原公知球場	伊勢原球場	野幌総合運動公園	総合運動公園野球場他	広島県総合グラウンド他	松山坊っちゃんスタジアム
北海道地区	札幌大学	北海学園大学	札幌学院大学	北海学園大学	札幌学院大学	札幌学院大学	北海学園大学	北海学園大学	札幌大学
北海道地区	北海学園大学※								
東北地区	東北福祉大学	東北福祉大学	東北福祉大学	東北福祉大学	仙台大学	東北福祉大学	日本大学工学部	東北学院大学	仙台大学
奥 羽 地 区									
東京六大学	早稲田大学	早稲田大学	明治大学	早稲田大学	明治大学	早稲田大学	明治大学	明治大学	明治大学
東 都 都	日本大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	日本体育大学	二松学舎大学	日本体育大学
首都	創価大学	創価大学	創価大学	東京学芸大学	大東文化大学	東京学芸大学	東京学芸大学	創価大学	創価大学
東 関 東	日本大学経済学部	日本大学経済学部	帝京大学 筑波大学※	帝京大学	帝京大学	城西国際大学	日本大学経済学部	日本大学経済学部	帝京大学
南 関 東	産能大学	産能大学	神奈川大学	産能大学	東海大学	神奈川大学	城西国際大学	東海大学	産能大学
東 Ⅱ 部	駒澤大学Ⅱ部	東京理科大学Ⅱ部	東洋大学Ⅱ部	東京理科大学Ⅱ部	専修大学Ⅱ部	東京理科大学Ⅱ部	國學院大学Ⅱ部	東海大学	産能大学
北 関 東	聖学院大学	白鷺大学	白鷺大学	白鷺大学	白鷺大学	上武大学	上武大学	國學院大学Ⅱ部	日大法学部Ⅱ部
関 東 新	中央学院大学	東京理科大学 中央学院大学※	流通経済大学	中央学院大学	中央学院大学	千葉商科大学	千葉商科大学	国際医療福祉大学	作新学院大学
長 野 県	信州大学長野	長野大学	信州大学長野	信州大学	信州大学	長野大学	流通経済大学	流通経済大学	千葉商科大学
新 潟 地 区	新潟薬科大学	敬和学園大学	新潟国際情報大学	新潟国際情報大学	信州大学	長野大学	信州大学	新潟国際情報大学	新潟大学
北 陸 地 区	富山県立大学	富山県立大学	富山県立大学	高岡法科大学	新潟経済大学	北陸大学	新潟国際情報大学	新潟国際情報大学	新潟経営大学
東 海	松阪大学	松阪大学	松阪大学	岐阜聖徳大学	松阪大学	岐阜聖徳大学	松阪大学	福井工業大学	福井工業大学
関 西 六 大 学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	立命館大学	立命館大学	同志社大学	同志社大学	立命館大学	立命館大学
近 畿 学 生 都 都	佛教大学	大阪学院大学	佛教大学	京都産業大学	大阪学院大学	佛教大学	佛教大学	京都産業大学	大阪体育大学
西 京 滋	大阪国際大学	奈良産業大学	大阪国際大学	大阪国際大学	大阪国際大学	大阪国際大学	関西福祉科学大学	大阪国際大学	大阪国際大学
京 滋									
中 国	吉備国際大学	吉備国際大学	広島市立大学	吉備国際大学	吉備国際大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学
四 国	愛媛大学	愛媛大学	高松大学	香川大学	愛媛大学	愛媛大学	吉備国際大学	吉備国際大学	近畿大学工学部
九 州	鹿児島経済大学	鹿児島経済大学	熊本県立大学	熊本県立大学	熊本県立大学	崇城大学	熊本県立大学	熊本県立大学	愛媛大学・四国大学
南 九 州									宮崎産業経済大学
出 場 校 数	21	22	22	22	23	23	24	23	23

※推薦による出場

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧

■全日本大学軟式野球選手権大会 (第28回～第36回)

開催	期	H 17.8.13～17	H 18.8.6～10	H 19.8.6～10	H 20.8.4～8	H 21.8.7～12	H 22.8.8～13	H 23.11.19～24	H 24.8.8～12	H 25.8.10～14
開催	地	埼玉県	熊本県	東京都	富山県	京都府	岐阜県	熊本県	秋田県	長野県
主会場	県営大宮公園野球場	藤崎台県営野球場	八王子市民球場	高岡市宮城光野球場	わかさスタジアム京都	夜明け前スタジアム	藤崎台県営野球場	クリーンスタジアム横手	長野オリンピックスタジアム	
北海道地区	北海学園大学	北海学園大学	北海学園大学	北海学園大学	北海学園大学	北海学園大学	札幌学院大学	札幌学院大学	北海道大学	
東北地区	東北福祉大学	東北福祉大学	東北学院大学 東北福祉大学	東北福祉大学	東北福祉大学	東北学院大学	東北学院大学	東北福祉大学	東北福祉大学	
奥羽地区	秋田経済法科大学	秋田経済法科大学	ノーエスタジアム 山形大学	弘前大学	弘前大学	日本体育大学	日本体育大学	立教大学	秋田大学	八戸学院大学
東京六大学	明治大学	早稲田大学	慶應義塾大学 早稲田大学	明治大学	東京大学	東京大学	東京大学	立教大学	東京大学	東京大学
首都圏	創価大学	創価大学	東京学芸大学 青山学院大学 ※創価大学	東京電機大学理工学部	東京学芸大学	東京学芸大学	東京学芸大学	東京電機大学理工学部	東京学芸大学	東京学芸大学
東関東	杏林大学	城西国際大学	城西国際大学	城西国際大学	日本大学経済学部	帝京大学	日本大学経済学部	日本大学経済学部	日本大学経済学部	日本大学経済学部
南関東	神奈川大学平塚校舎	神奈川大学	神奈川大学平塚校舎	産業能率大学	神奈川大学平塚校舎	神奈川大学平塚校舎	神奈川大学平塚校舎	神奈川大学平塚校舎	神奈川大学平塚校舎	神奈川大学平塚校舎
東II部	専修大学II部	専修大学II部	日本大学法学部II部	日本大学法学部II部	日本大学法学部II部	日本大学法学部II部	日本大学法学部II部	駒澤大学II部	日本大学法学部II部	東洋大学II部
北関東	作新学院大学	作新学院大学	白鷲大学	作新学院大学	作新学院大学	作新学院大学	作新学院大学	白鷲大学	白鷲大学	白鷲大学
関東新	千葉商科大学	千葉商科大学	千葉商科大学	千葉商科大学	中央学院大学	流通経済大学	流通経済大学	流通経済大学	流通経済大学	流通経済大学
長野県	信州大学長野	長野大学	松本大学	信州大学長野	松本大学	信州大学松本	信州大学松本	信州大学長野	信州大学松本	松本大学
新潟地区	新潟大学歯学部	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学
北陸地区	福井工業大学	福井工業大学	福井工業大学	石川県立大学	仁愛大学	金沢星稷大学	仁愛大学	金沢星稷大学	金沢星稷大学	金沢星稷大学
東海	中京学院大学	中京学院大学	岐阜聖徳学園大学	中京学院大学	中京学院大学	中京学院大学	岐阜聖徳学園大学	中京学院大学	岐阜聖徳学園大学	岐阜聖徳学園大学
関西六大学	同志社大学	立命館大学	立命館大学	同志社大学	立命館大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学
近畿学生	佛敎大学	京都産業大学	佛敎大学	大阪体育大学	佛敎大学	大阪体育大学	佛敎大学	神戸学院大学	大阪体育大学	大阪体育大学
西都	大阪国際大学	近畿大学	流通科学大学 関西外国語大学	大阪国際大学	大阪国際大学	流通科学大学	大阪国際大学	天理大学	大阪国際大学	大阪電気通信大学
京滋	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学
中国	近畿大学工学部	近畿大学工学部	福山平成大学	福山平成大学	吉備国際大学	福山平成大学	福山平成大学	福山平成大学	福山平成大学	福山平成大学
四国	高松大学	香川大学	四国大学	四国学院大学	高知大学	四国学院大学	香川大学	香川大学	高知大学	高知大学
九州	筑城大学	熊本県立大学	熊本県立大学	筑城大学	鹿児島国際大学	九州看護福祉大学	熊本県立大学	宮崎産業経営大学	熊本県立大学	熊本県立大学
沖縄	琉球							沖縄国際大学	沖縄国際大学	沖縄国際大学
出場	校数	22	22	30	22	22	23	23	23	23

※推薦による出場

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧

■全日本大学軟式野球選手権大会 (第37回～第43回)

開催	期	H26.8.15～20	H27.8.14～19	H28.7.1～6	H29.8.20～25	H30.8.20～24	R 1.8.18～23	43	
開催	地	長野県	長野県	長野県	長野県	長野県	長野県		
主会場	長野オリンピックスタジアム	長野オリンピックスタジアム	長野オリンピックスタジアム	長野オリンピックスタジアム	長野オリンピックスタジアム	長野オリンピックスタジアム	長野オリンピックスタジアム		
北海道地区	札幌学院大学	小樽商科大学	北翔大学	北海道大学	北翔大学	小樽商科大学			
東北地区	仙台大学	仙台大学	東北福祉大学	東北福祉大学	東北福祉大学	東北福祉大学			
奥羽地区	岩手大学	弘前大学	盛岡大学	盛岡大学	岩手大学	弘前大学			
東京六大学	明治大学	明治大学	明治大学	法政大学	法政大学	明治大学			
東都	日本体育大学	国士館大学	日本体育大学	日本体育大学	東京経済大学	東京経済大学			
首都圏	大東文化大学	東京学芸大学	大東文化大学	武蔵大学	東京学芸大学	大東文化大学			
東関東	帝京大学	帝京大学	帝京大学	帝京大学	帝京大学	日本大学経済学部			
南関東	桐蔭横浜大学	神奈川大学	神奈川大学	桐蔭横浜大学	桐蔭横浜大学	桐蔭横浜大学			
東II部	日本大学法学部二部								
東京新		國學院大学II部	國學院大学	東洋大学II部	東洋大学II部	駒澤大学			
北関東	作新学院大学	白鷲大学	白鷲大学	作新学院大学	白鷲大学	白鷲大学			
関東新	流通経済大学	流通経済大学	流通経済大学	流通経済大学	流通経済大学	流通経済大学			
長野県	松本大学	松本大学	松本大学	信州大学長野	信州大学松本				
新潟地区	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学			
北陸地区	仁愛大学	仁愛大学	福井工業大学	富山大学	富山大学	富山大学			
東海	中京学院大学	中京学院大学	東海学園大学	中京学院大学	中京学院大学	中京学院大学			
関西六大学	甲南大学	同志社大学	立命館大学	立命館大学	立命館大学	同志社大学			
近畿学生	大阪体育大学	佛敎大学	佛敎大学	大阪体育大学	大阪体育大学	大阪体育大学			
西都	大阪電気通信大学	天理大学	流通科学大学	流通科学大学	流通科学大学	流通科学大学			
京滋	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学	京都文教大学			
中国	福山平成大学	吉備国際大学	福山平成大学	福山平成大学	広島市立大学	福山平成大学			
四国	香川大学	香川大学	愛媛大学	聖カタリナ大学	徳島大学	徳島大学			
九州	九州看護福祉大学	熊本県立大学	九州看護福祉大学	熊本県立大学	熊本県立大学	熊本県立大学			
沖縄	沖縄国際大学	沖縄国際大学	沖縄国際大学	沖縄国際大学	名桜大学	沖縄国際大学			
出場	校数	23	23	23	23	23	23		

コロナ禍のため中止

△観戦記録は全日本大学軟式野球連盟のホームページに掲載されています

△観戦記録は全日本大学軟式野球連盟のホームページに掲載されています

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧  
 ■東日本大学軟式野球選手権大会 (第1回～第9回)

開催期	1	2	3	4	5	6	7	8	9
開催地	東京都	埼玉県	埼玉県	埼玉県	東京都	東京都	埼玉県	東京都	東京都・埼玉県
主会場	立川市営球場	大宮県営球場	大宮県営球場	大宮県営球場	立川市営球場	立川市営球場	大宮球場	立川市営球場	立川市営球場
北海道地区									
北地区	東北学院大学 秋田経済大学	東北学院大学 宮城教育大学	東北学院大学 宮城教育大学	東北学院大学 宮城教育大学	東北学院大学 秋田経済大学	宮城教育大学 秋田経済法科大学	宮城教育大学 東北学院大学	東北学院大学 秋田大学	東北学院大学 宮城教育大学
奥羽地区									
東京六大学	慶應義塾大学 明治大学	法政大学 明治大学	法政大学 早稲田大学	法政大学 早稲田大学	法政大学 早稲田大学	早稲田大学 法政大学	法政大学 早稲田大学	慶應義塾大学 早稲田大学	慶應義塾大学 明治大学
東京都	文教大学 国学院大学	文教大学 神奈川大学	東京経済大学 文教大学	日本体育大学 文教大学	中央大学 文教大学	二松学舎大学 東京経済大学	文教大学 中央大学	文教大学 中央大学	東京経済大学 中央大学
首都圏	大東文化大学 東京電機大学	東京学芸大学 大東文化大学	東京学芸大学 東京電機大学	東京学芸大学 獨協大学	東京学芸大学 武蔵大学	大東文化大学 東京学芸大学	武蔵大学 大東文化大学	武蔵大学 大東文化大学	東京学芸大学 青山学院大学理工学部
関東									
南関東									
関東II部									
北関東									
関東新									
長野県									
新潟地区									
北海道地区									
東海地区								東海産業短期大学 松阪大学	岐阜大学
出場校数	8	8	8	8	8	8	8	10	9

▲ 一覧に収録されていない大学は、本大会の開催地や主催校のホームページで検索してください。

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧  
 ■東日本大学軟式野球選手権大会 (第10回～第17回)

開催期	10	11	12	13	14	15	16	17
開催地	東京都	東京都	東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県船橋市	栃木県日光市	栃木県日光市
主会場	立川市営球場	立川市営球場	立川市営球場	戸田市営球場 札幌学院大学	伊勢原球場	船橋市営球場 北海道学園大学	所野野球場	所野野球場
北海道地区							北海道学園大学 札幌学院大学	北海道学園大学 札幌学院大学
北地区	東北学院大学 日本大学工学部	東北学院大学 秋田経済法科大学	東北学院大学 秋田経済法科大学	東北福祉大学 東北福祉大学	東北福祉大学 山形大学	東北福祉大学 東北福祉大学	東北学院大学 富士大学	秋田経済法科大学 東北学院大学
奥羽地区								
東京六大学	明治大学 慶應義塾大学	明治大学 立教大学	法政大学 慶應義塾大学	明治大学 早稲田大学		明治大学 日本体育大学	明治大学 法政大学	早稲田大学 法政大学
東京都	日本体育大学 日本大学商学部	日本体育大学 神奈川大学	日本大学商学部 神奈川大学	日本大学商学部 神奈川大学		日本体育大学 日本大学商学部	日本体育大学 日本大学商学部	日本体育大学 日本大学商学部
首都圏	大東文化大学 創価大学	大東文化大学 創価大学	明星大学 東京学芸大学	明星大学 大東文化大学	明星大学 創価大学	創価大学 創価大学	武蔵大学 創価大学	大東文化大学 創価大学
関東				日本大学経済学部	日本大学生産工学部	日本大学経済学部 日本大学生産工学部	日本大学経済学部 日本大学生産工学部	日本大学生産工学部 日本大学理工学部
南関東				東海大学	東海大学 神奈川大学	東海大学	東海大学 産能大学	東海大学 関東学院大学
関東II部				駒澤大学II部	駒澤大学 専修大学	駒澤大学	駒澤大学 東京理科大学	日本大学法学部II部 駒澤大学II部
北関東				常磐大学	聖学院大学 常磐大学	関東学園大学	関東学園大学	常磐大学 帝京大学理工学部
関東新							中央学院大学 流通経済大学	東京理科大学 中央学院大学
長野県					長野大学 信州大学工学部	信州大学	長野大学 信州大学工学部	長野大学 信州大学長野
新潟地区					新潟大学 新潟大学医学部	新潟大学	新潟経営大学 新潟大学医学部	敬和学園大学 新潟国際情報大学
東海地区	松阪大学 岐阜教育大学	名城大学 岐阜教育大学	岐阜教育大学 中京大学	松阪大学 中京大学				
出場校数	10	10	10	15	16	12	25	25

▲ 一覧に収録されていない大学は、本大会の開催地や主催校のホームページで検索してください。



全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧  
 ■東日本大学軟式野球選手権大会 (第18回～第25回)

開催回数	18	19	20	21	22	23	24	25
開催期	H 9.11.8～12	H 10.11.7～11	H 11.11.6～10	H 12.11.11～15	H 13.11.10～14	H 14.11.9～13	H 15.11.8～13	H 16.11.13～18
開催地	栃木県日光市	栃木県日光市	栃木県日光市	栃木県日光市	栃木県日光市	栃木県日光市	栃木県日光市	栃木県日光市
主会場	所野野球場	所野野球場	所野野球場	所野野球場	所野野球場	所野野球場	所野野球場	所野野球場
北海道地区	北海学園大学 札幌大学	北海学園大学 札幌大学	札幌学院大学 札幌学院大学	北海学園大学 北海学園大学	札幌学院大学 北海学園大学	北海学園大学 酪農学園大学	酪農学園大学 札幌大学	札幌学院大学 北海道大学
東北地区	秋田経済法科大学 東北学院大学	東北学院大学 富士大学	秋田経済法科大学 東北福祉大学	日本大学工学部 宮城教育大学	東北学院大学 東北福祉大学	東北福祉大学 石巻専修大学	東北学院大学 日本大学工学部	東北福祉大学 東北学院大学
奥羽地区			秋田経済法科大学	秋田経済法科大学	秋田経済法科大学	八戸大学	八戸大学	秋田経済法科大学
東京六大学	明治大学 早稲田大学	明治大学 早稲田大学	早稲田大学 明治大学	早稲田大学 明治大学	明治大学 早稲田大学	法政大学 慶應義塾大学	明治大学 法政大学	東京大学 慶應義塾大学
東京都	日本体育大学 和光大学	日本体育大学 和光大学	日本体育大学 和光大学	日本体育大学 和光大学	日本体育大学 青山学院大学	青山学院大学 二松学舎大学	日本体育大学 青山学院大学	日本大学商学部 二松学舎大学
首都	獨協大学 大東文化大学	大東文化大学 創価大学	獨協大学 武蔵大学	東京学芸大学 武蔵大学	大東文化大学 東京学芸大学	淑徳大学国際コミュニケーション学部 創価大学	東京学芸大学 創価大学	東京学芸大学 創価大学
関東	筑波大学 帝京大学	杏林大学 日本大学経済学部	城西国際大学 帝京科学大学	城西国際大学 帝京大学	城西国際大学 帝京大学	城西国際大学 帝京大学	帝京大学 日本大学経済学部	東京理科大学 帝京大学
南関東	産能大学 文教大学	産能大学 文教大学	関東学院大学 産能大学	産能大学 文教大学	産能大学 神奈川大学	東海大学 神奈川大学	文教大学 東海大学	産能大学 神奈川大学
関東II部	東京理科大学II部 法政大学II部	東京理科大学II部 法政大学II部	日本大学法学部II部 法政大学II部	國學院大学II部 専修大学II部	東京理科大学II部 駒澤大学II部	國學院大学II部 日本大学法学部II部	日本大学法学部II部	國學院大学II部 日本大学法学部II部
北関東	聖学院大学 常磐大学	白鷲大学 聖学院大学	白鷲大学	白鷲大学 聖学院大学	白鷲大学 国際医療福祉大学	白鷲大学 常磐大学	上武大学 常磐大学	作新学院大学 白鷲大学
関東新	流通経済大学 東京理科大学	流通経済大学 東京理科大学	中央学院大学 流通経済大学	中央学院大学 流通経済大学	千葉商科大学 中央学院大学	千葉商科大学 流通経済大学	流通経済大学 千葉商科大学	千葉商科大学 流通経済大学
長野県	信州大学長野 長野大学	信州大学長野 信州大学長野	長野大学 信州大学長野	長野大学 信州大学長野	長野大学 信州大学長野	長野大学 信州大学	長野大学 信州大学	長野大学 信州大学
新潟地区	新潟国際情報大学 新潟経済大学	新潟国際情報大学 新潟経済大学	新潟大学 新潟経済大学	新潟国際情報大学 新潟大学	新潟国際情報大学 新潟大学歯学部	新潟大学全学部 新潟経営大学	新潟大学歯学部 新潟経営大学	新潟国際情報大学 新潟経営大学
東海地区								
出場校数	24	24	24	26	26	26	26	26

▲ 歴代出場校一覧  
 ▲ 全日本大学軟式野球連盟主催大会  
 ▲ 歴代出場校一覧

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧  
 ■東日本大学軟式野球選手権大会 (第26回～第33回)

開催回数	26	27	28	29	30	31	32	33
開催期	H 17.11.12～16	H 18.11.14～18	H 19.11.12～17	H 20.11.10～15	H 21.11.30～12.4	H 22.11.16～11.20		H 24.11.12～11.16
開催地	神奈川県	千葉県	千葉県	千葉県	埼玉県	千葉県		東京都・神奈川県
主会場	中井中央公園野球場	千葉県総合S C野球場	習志野市秋津野球場	習志野市秋津野球場	西武ドーム	千葉県総合S C野球場		大田ヌタジウム
北海道地区	北海学園大学 酪農学園大学	北海学園大学 北海道大学	北海学園大学 札幌大学	北海道大学 北海道工業大学	北海学園大学 小樽商科大学	札幌学院大学 北海学園大学		北海学園大学 北海学園大学
東北地区	東北学院大学 石巻専修大学	東北学院大学 東北福祉大学	東北学院大学 東北福祉大学	東北学院大学 東北福祉大学	仙台大学 東北学院大学	東北福祉大学 仙台大学		東北福祉大学 東北学院大学
奥羽地区	秋田経済法科大学 八戸工業大学	秋田経済法科大学 国際教養大学	ノーエスアジア大学 八戸工業大学	弘前大学 ノーエスアジア大学	国際教養大学 弘前大学	弘前大学 弘前学院大学		弘前大学 岩手大学
東京六大学	早稲田大学 慶應義塾大学	早稲田大学 法政大学	早稲田大学 慶應義塾大学	明治大学 立教大学	明治大学 立教大学	立教大学 早稲田大学		早稲田大学 東京大学
東京都	日本体育大学 日本大学商学部	日本体育大学 青山学院大学	日本大学商学部 日本体育大学	日本大学商学部 日本体育大学	日本大学商学部 日本体育大学	和光大学 日本体育大学		日本体育大学 東京経済大学
首都	創価大学 東京学芸大学	創価大学 東京電機大学	東京学芸大学 創価大学	武蔵大学 創価大学	東京学芸大学 創価大学	創価大学 東京学芸大学		東京学芸大学 武蔵大学
関東	城西国際大学 杏林大学	城西国際大学 日本大学経済学部	日本大学経済学部 帝京大学	城西国際大学 日本大学生産工学部	日本大学経済学部 帝京大学	日本大学経済学部 帝京大学		日本大学経済学部 順天堂大学さくらキャンパス
南関東	産能大学 神奈川大学	東海大学 神奈川大学	東海大学 神奈川大学	東海大学 国際医療福祉大学国際コミュニケーション	神奈川大学平塚校舎 神奈川大学平塚校舎	明治大学生田校舎 神奈川大学平塚校舎		神奈川大学平塚校舎 相模織浜大学
関東II部	専修大学II部 國學院大学II部	國學院大学II部 東洋大学II部	首都大学東京II部 専修大学II部	首都大学東京II部 日本大学法学部II部	首都大学東京II部 駒沢大学II部	國學院大学II部 日本大学法学部II部		國學院大学II部 日本大学法学部II部
北関東	白鷲大学 作新学院大学	白鷲大学 茨城キリスト教大学	白鷲大学 作新学院大学	白鷲大学 筑波大学	上武大学 白鷲大学	白鷲大学 茨城大学		作新学院大学 東京福祉大学
関東新	千葉商科大学 流通経済大学	流通経済大学 千葉商科大学	中央学院大学 千葉商科大学	千葉商科大学 流通経済大学	中央学院大学 千葉商科大学	千葉商科大学 流通経済大学		流通経済大学 中央学院大学
長野県	長野大学 信州大学長野	長野大学 松本大学	松本大学 長野大学	松本大学 信州大学松本	松本大学 信州大学長野	信州大学長野 松本大学		信州大学松本 諏訪東京理科大学
新潟地区	新潟産業大学 新潟医療福祉大学	新潟工科大学 新潟国際情報大学	新潟工科大学 新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学 新潟大学	新潟工科大学 新潟医療福祉大学	新潟医療福祉大学 新潟大学		新潟経営大学 新潟医療福祉大学
出場校数	26	26	26	26	26	26		26

東日本震災のため中止

開催期	開催地	会場	北海道地区	東北地区	奥羽地区	東京六大学	東都	首都	東関	南関	東II部	東京新	北関東	東新	長野県	新潟地区	出場校数
開催 34	H 25.11.16～21	H 26.11.14～19	H 27.11.15～20	H 28.11.13～18	H 29.11.12～17	H 30.11.17～21	R 1.11.1～11.6	41									
開催地	栃木県	千葉県	埼玉県	埼玉県	東京都	東京都	神奈川県	千葉県	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	新潟県	26
会場	栃木県総合運動公園野球場	ナスタスタスタジアム	県営大宮公園野球場	市営大宮球場	タイワハウススタジアム	ナスタスタスタジアム	中栗信金スタジアム秦野										
北海道地区	北海学園大学 札幌学院大学	小樽商科大学 酪農学園大学	北海学園大学 北海道大学	北海学園大学 北海道大学	北海学園大学 北海道大学	北海学園大学 水産学部	小樽商科大学 北海道大学										
東北地区	東北福祉大学 宮城教育大学	仙台大学 東北福祉大学	東北福祉大学 仙台大学	山形大学 仙台大学	山形大学 仙台大学	東北福祉大学 日本大学工学部	仙台大学 東北学院大学										
奥羽地区	八戸学院大学 盛岡大学	岩手大学 盛岡大学	盛岡大学 弘前大学	盛岡大学 八戸工業大学	盛岡大学 秋田大学	八戸工業大学 弘前大学	秋田大学 盛岡大学										
東京六大学	明治大学 早稲田大学	明治大学 早稲田大学	早稲田大学 立教大学	早稲田大学 立教大学	東京大学 立教大学	明治大学 慶應義塾大学	慶應義塾大学 法政大学										
東都	日本体育大学 東京経済大学	東京経済大学 日本体育大学	日本大学商学部 日本体育大学	二松学舎大学 日本体育大学	日本体育大学 二松学舎大学	日本体育大学 日本大学商学部	日本体育大学 日本大学										
首都	大東文化大学 武蔵大学	大東文化大学 武蔵大学	大東文化大学 創価大学	東京学芸大学 創価大学	東京学芸大学 創価大学	大東文化大学 大東文化大学	大東文化大学 大東文化大学										
東関	日本大学経済学部 帝京大学	城西国際大学観光学部 日本大学経済学部	帝京大学 日本大学経済学部	日本大学経済学部 日本大学理工学部	城西国際大学観光学部 日本大学経済学部	城西国際大学観光学部 帝京大学	城西国際大学 城西国際大学										
南関	東海大学 横浜桐蔭大学	神奈川大学平塚校舎 産業能率大学	神奈川大学 桐蔭横浜大学	東海大学 産業能率大学	桐蔭横浜大学 神奈川大学平塚校舎	東海大学 桐蔭横浜大学	東海大学 桐蔭横浜大学										
東II部	東京理科大学II部 東洋大学II部	國學院大学II部 首都大学東京II部															
東京新	茨城大学 東京福祉大学	白鷲大学 筑波大学	白鷲大学 茨城キリスト教大学	白鷲大学 作新学院大学	白鷲大学 作新学院大学	東京理科大学II部 専修大学神田キャンパス	専修大学 駒澤大学										
北関東	流通経済大学 東京理科大学	流通経済大学 東京理科大学理工学部	流通経済大学 中央学院大学	中央学院大学 流通経済大学	流通経済大学 中央学院大学	流通経済大学 中央学院大学	流通経済大学 中央学院大学										
東新	信州大学松本 信州大学長野	信州大学長野 松本大学	信州大学松本 信州大学長野	信州大学松本 信州大学長野	松本大学 信州大学長野	信州大学松本 信州大学長野	信州大学長野 松本大学										
新潟地区	新潟医療福祉大学 新潟大学	新潟医療福祉大学 新潟薬科大学	新潟医療福祉大学 長岡技術科学大学	新潟医療福祉大学 新潟薬科大学	新潟医療福祉大学 新潟県立大学	新潟医療福祉大学 新潟県立大学	新潟医療福祉大学 新潟大学医学部										
出場校数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26

コナ子橋のため中止

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧

開催期	開催地	会場	北海道地区	東北地区	奥羽地区	東京六大学	西都	首都	東関	南関	東II部	東京新	北関東	東新	新潟地区	出場校数
開催 1	S 59	S 60	S 61.11.17～20	S 62.11.16～19	S 63.11.14～17	H 1.11.13～16	H 2.11.12～15	H 3.11.11～14	H 4.11.17～21							
開催地			兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県							
会場			伊丹 S C 球場	伊丹 S C 球場	伊丹 S C 球場	伊丹 S C 球場	伊丹 S C 球場	伊丹 S C 球場	伊丹 S C 球場							
北海道地区																
東北地区																
奥羽地区																
東京六大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学							
西都	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学							
首都																
東関																
南関																
東II部																
東京新	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学	同志社大学							
北関東																
東新	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学	京都産業大学							
新潟地区																
出場校数	2	2	10	10	10	10	10	12	12	12	12	16				

開催期	開催地	主会場	北陸地区	東海	中部地区	関西六大学	近畿学生	西都	京滋	広島六大学	西日本	中国	四国	九州	出場校数
10	H 5.11.16～18	愛知県 兵庫県	富山県立大学 高岡法科大学	中京大学 松阪大学		立命館大学 関西大学	大阪学院大学 神戸学院大学	大阪国際大学 流通科学大学					徳島文理大学 四国学院大学	鹿児島経済大学	11
11	H 6.11.14～17	兵庫県	富山県立大学 高岡法科大学	中京大学 松阪大学		立命館大学 関西大学	大阪学院大学 佛敎大学	奈良産業大学 大阪国際大学					四国学院大学 徳島文理大学	鹿児島経済大学	15
12	H 7.11.13～16	愛知県	富山県立大学 高岡法科大学	松阪大学 中京大学		立命館大学 同志社大学	佛敎大学 京都産業大学	大阪国際大学 奈良産業大学					四国学院大学 香川大学	熊本工業大学	15
13	H 8.11.12～15	滋賀県	富山県立大学 高岡法科大学	松阪大学 中京大学		関西大学	佛敎大学 大阪経済大学	奈良産業大学 大阪国際大学					四国学院大学 香川大学	鹿児島経済大学	16
14	H 9.11.11～14	兵庫県	北陸大学 高岡法科大学	松阪大学 中京大学		立命館大学 同志社大学	佛敎大学 大阪経済大学	奈良産業大学 大阪国際大学					四国学院大学 香川大学	鹿児島経済大学 宮崎産業大学	16
15	H 10.11.12～15	広島県	北陸大学 富山県立大学	中京国際大学 岐阜聖徳学園大学		立命館大学 関西大学	京都産業大学 佛敎大学	奈良産業大学 大阪国際大学					高松大学 四国大学	熊本県立大学 鹿児島経済大学	16
16	H 11.11.13～16	熊本県	北陸大学 富山県立大学	松阪大学 中京大学		立命館大学 同志社大学	佛敎大学 神戸学院大学	大阪国際大学 近畿大学					香川大学 愛媛大学	熊本県立大学 熊本工業大学	16
17	H 12.11.10～14	滋賀県	金沢学院大学 金沢工業大学	岐阜聖徳学園大学 名城大学		同志社大学 関西大学	大阪学院大学 佛敎大学	大阪国際大学 奈良産業大学	滋賀県立大学*				香川大学 高松大学	鹿児島国際大学 熊本県立大学	17
18	H 13.11.9～13	滋賀県	高岡法科大学 北陸大学	中京大学 岐阜聖徳学園大学		同志社大学	京都産業大学 佛敎大学	大阪国際大学 近畿大学農学部	京都文教大学 滋賀県立大学				香川大学	熊本県立大学 鹿児島国際大学	18

※推薦による出場

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧  
 ■西日本大学軟式野球選手権大会 (第19回～第27回)

開催期	開催地	主会場	北陸地区	東海	関西六大学	近畿学生	西都	京滋	南九州	出場校数
19	H 14.11.9～13	滋賀県	富山県立大学 北陸大学	中京学院大学 名城大学	同志社大学 関西学院大学	京都産業大学 大阪経済大学	関西国際大学 大阪国際大学	滋賀県立大学 京都文教大学	熊本県立大学 鹿児島国際大学	18
20	H 15.11.7～12	滋賀県	福井工業大学 北陸大学	中京学院大学 中京大学	同志社大学 関西大学	大阪体育大学 大阪学院大学	大阪国際大学 関西福祉科学大学	京都文教大学 滋賀県立大学	熊本県立大学	18
21	H 16.11.5～9	滋賀県	富山県立大学 金沢学院大学	中京学院大学 岐阜聖徳学園大学	同志社大学 立命館大学	佛敎大学 京都産業大学	大阪国際大学	京都文教大学 滋賀県立大学	鹿児島国際大学 鹿児島大学	16
22	H 17.11.26～30	愛媛県	仁愛大学 金沢学院大学	中京学院大学 名城大学	同志社大学 立命館大学	大阪体育大学 佛敎大学	近畿大学	滋賀県立大学 京都文教大学	鹿児島国際大学 九州看護福祉大学	18
23	H 18.11.25～29	愛媛県	福井工業大学 金沢学院大学	岐阜聖徳学園大学 中京学院大学	立命館大学 同志社大学	京都産業大学 大阪体育大学	大阪国際大学	京都文教大学 滋賀県立大学	九州看護福祉大学 第一工業大学	18
24	H 19.11.10～14	兵庫県	石川県立大学 仁愛大学	星城大学 中京学院大学	立命館大学 関西大学	神戸学院大学 大阪体育大学	大阪国際大学	京都文教大学 滋賀県立大学	鹿児島国際大学 熊本県立大学	18
25	H 20.11.8～12	奈良県	金沢星稜大学 仁愛大学	中京学院大学 富山県立大学	同志社大学 甲南大学	大阪体育大学 佛敎大学	帝塚山大学	京都文教大学 びわこ成蹊スポーツ大学	鹿児島国際大学 崇城大学	18
26	H 21.11.8～13	兵庫県	仁愛大学 富山県立大学	中京学院大学 日本福祉大学	同志社大学 同志社大学	神戸学院大学 佛敎大学	天理大学	京都文教大学 びわこ成蹊スポーツ大学	鹿児島国際大学 鹿児島国際大学	18
27	H 22.11.6～10	広島県	仁愛大学 富山県立大学	中京学院大学	立命館大学 同志社大学	神戸学院大学 佛敎大学	大阪経済法科大学	京都文教大学 びわこ成蹊スポーツ大学	鹿児島国際大学 熊本県立大学	18

全日本大学軟式野球連盟主催大会 歴代出場校一覧  
 ■西日本大学軟式野球選手権大会 (第28回～第37回)

開催回数	開催期	開催地	主催会場	北陸地区	東海	関西六大学	近畿学生	西都	京滋	中国	四国	九州	沖縄	出場校数										
28																								
29	H.24.11.17～22	滋賀県	栗立彦根総合運動場 野球場	仁愛大学	富山大学	名城大学	中京学院大学	関西大学	立命館大学	佛敎大学	神戸学院大学	天理大学	大阪電気通信大学	京都文教大学	びわこ成蹊スポーツ大学	福山平成大学	美作大学	高知大学	徳島大学	九州看護福祉大学	熊本県立大学	沖縄国際大学	名桜大学	20
30	H.25.11.2～6	香川県	レクザムスタジアム	金沢学院大学	仁愛大学	中京学院大学	岐阜聖徳学園大学	関西大学	同志社大学	京都産業大学	大阪体育大学	流通科学大学	大阪電気通信大学	京都文教大学	滋賀県立大学	近畿大学工学部	福山平成大学	高知大学	香川大学	鹿児島大学	熊本県立大学	沖縄国際大学	沖縄大学	20
31	H.26.11.8～12	奈良県	佐藤薬品スタジアム	仁愛大学	金沢学院大学	岐阜聖徳学園大学	中京学院大学	立命館大学	同志社大学	京都産業大学	兵庫県立大学	流通科学大学	大阪教育大学	びわこ成蹊スポーツ大学	京都文教大学	美作大学	福山平成大学	高知工科大学	徳島文理大学(徳島校)	熊本県立大学	鹿児島国際大学	沖縄国際大学	沖縄大学	20
32	H.27.11.6～12	滋賀県	守山市民野球場	仁愛大学	富山県立大学	中京学院大学	東海学園大学	同志社大学	関西学院大学	佛敎大学	大阪体育大学	大阪国際大学	流通科学大学	京都文教大学	龍谷大学	福山平成大学	美作大学	徳島文理大学	愛媛大学	熊本県立大学	九州看護福祉大学	沖縄国際大学	沖縄大学	20
33	H.28.11.4～9	兵庫県	ほっともつと フイールド神戸	富山県立大学	富山大学	中京学院大学	東海学園大学	同志社大学	立命館大学	佛敎大学	大阪体育大学	流通科学大学	大阪経済法科大学	京都文教大学	龍谷大学	福山平成大学	吉備国際大学	聖カタリナ大学	香川大学	熊本県立大学	宮崎産業経営大学	沖縄国際大学	名桜大学	20
34	H.29.11.5～10	愛知県	ハピロテ瑞穂野球場	富山大学	富山工業大学	富山県立大学	福井工業大学	立命館大学	同志社大学	大阪体育大学	神戸大学	流通科学大学	神戸学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	京都文教大学	福山平成大学	近畿大学工学部	聖カタリナ大学	高知大学	熊本県立大学	鹿児島国際大学	名桜大学	沖縄国際大学	20
35	H.30.11.4～9	熊本県	リテラーテ藤崎台球場	仁愛大学	富山県立大学	岐阜聖徳学園大学	東海学園大学	同志社大学	立命館大学	佛敎大学	大阪体育大学	流通科学大学	桃山学院教育大学	京都文教大学	びわこ成蹊スポーツ大学	福山平成大学	広島市立大学	愛媛大学	聖カタリナ大学	熊本県立大学	九州ルーテル学院大学	沖縄国際大学	名桜大学	20
36	R.11.14～9	大阪府、兵庫県	万博記念公園野球場	富山大学	石川県立大学	中京学院大学	岐阜聖徳大学	立命館大学	同志社大学	大阪体育大学	京都産業大学	流通科学大学	桃山学院教育大学	京都文教大学	びわこ成蹊スポーツ大学	福山平成大学	広島市立大学	聖カタリナ大学	四国大学	熊本県立大学	崇城大学	沖縄国際大学	沖縄大学	20
37																								

コロナ禍のため中止

令和2年度 全日本大学軟式野球連盟 役員名簿

役職	氏名	所属連盟
名誉会長	古葉竹識	
顧問	長塚将	
副会長	松下聡	
副会長	友重竜一	
参与	松坂繁治	
参与	福田克俊	
理事長	中村充治	東京六
副理事長	皆巳幸也	北陸
副理事長	名古屋光彦	北関東
理事	吉崎耕太郎	北海道
理事	菅野和彦	奥羽
(代行)	畠山和也	奥羽
理事	小野昌彦	東北
理事	谷村好洋	東京六
理事	栗田友太郎	首都
理事	相場奨太	東都
理事	飛田昌邦	北関東
理事	鈴木且真	東関東
理事	奥野水晶	南関東
理事	森田俊	東京新
理事	津田好成	関東新
理事	渡部清一	新潟
理事	大石歩	長野県
理事	村上俊夫	近畿
理事	小野雅史	関西六
理事	杉山信良	西都
理事	名塩匡	京滋
理事	花谷幸太	中国
理事	高山典久	四国
理事	上木卓	九州
理事	上原将司	沖縄
指名理事	北村孝嗣	
指名理事	蛭間栄介	
指名理事	福島慎一	
指名理事	佐藤克明	
事務局員	新井大介	
事務局員	大野達太	

役職	氏名	所属連盟
学生委員長	平野孔太郎	東京六
副委員長	伊藤雄一朗	南関東
副委員長	荒谷健太郎	中国
指名連盟委員	松岡昇汰	東京六
指名連盟委員	霜田哲平	京滋
連盟委員	大沼諒司	北海道
連盟委員	柳原由堯	奥羽
連盟委員	吉永太一	東北
連盟委員	本間一輝	北関東
連盟委員	浅野宇海	東関東
連盟委員	佐藤拓未	関東新
連盟委員	山崎佑太	首都
連盟委員	高松純貴	東京新
連盟委員	柳澤龍	東都
連盟委員	渡邊馨	長野県
連盟委員	平澤文	新潟
連盟委員	池田拓人	東海
連盟委員	坪根昂二郎	北陸
連盟委員	坊農直紀	近畿
連盟委員	前田裕也	関西六
連盟委員	岡本塁	西都
連盟委員	大久保輝優	京滋
連盟委員	鎌田成貴	四国
連盟委員	門田優弥	九州
連盟委員	大見謝彩虹	沖縄

## 編集後記

熱戦譜 20 号を、ようやくのことでお届けします。

今回は、新型コロナウイルスの流行という社会的なことのみならず、連盟も特殊な状況にあったために作業の着手が遅くなったことから、理事長の命により筆者が制作にあらせていただきました。また、全日本大会や東西の大会をとりやめたり、加盟の各連盟でも一部では春秋の大会が開催できなかったりした一方で、代替の大会を開催された地区もありましたので、内容も例年とは大きく異なるものとなりました。しかし、逆境にある中でも各人、各連盟が色々な工夫や対策を行うことにより活動を継続したこと、そしてその記録を残せたことには大きな意味があると思っています。

次号からは制作の体制も確立し、内容も例年どおりのものをお届けできることを祈りつつ、本号の発行をもって特別な年を締めくりたいと思います。

2022 年 3 月 7 日

皆巳 幸也

## 『熱戦譜』 第20号

---

発 行	全日本大学軟式野球連盟 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7 軟式野球会館 5F TEL03-3401-0824
編 集 責任編集者	全日本大学軟式野球連盟 皆巳 幸也
発 行 日	令和 4 年 3 月 31 日